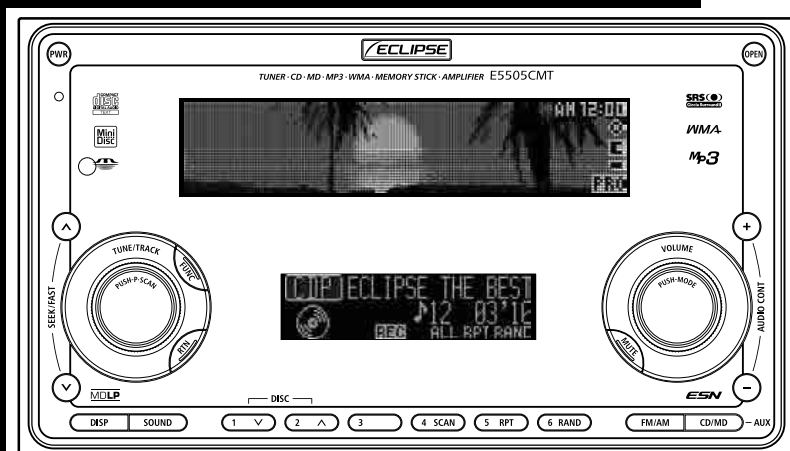




取扱説明書



E5505CMT

マルチコントロールCD/MDメインユニット



お買い上げいただきありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も、必要なときにすぐご覧になれるよう
大切に保管してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- **本機は DC12V ⊖ アース車用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しない。**
火災の原因となります。
- **事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。**
万一、お子様が飲みこんだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
- **運転者は走行中に音量調節等の操作をしない。**
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **ディスク挿入口に異物を入れない。**
火災や感電の原因となります。
- **本機を分解したり、改造しない。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。**
発煙、発火、感電の原因となります。
- **リモコンを放置しない。**
停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。
- **音が出ないなどの故障状態で使用しない。**
事故、火災、感電の原因となることがあります。



警告

- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。**
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。**
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **運転者は運転中に、CD・MD・“メモリスティック”の交換をしない。**
前方不注意となり事故などの原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **ビニール袋をかぶらない。**
大きな事故や窒息死の原因となります。



注意

- **本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。**
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- **ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まれないように注意してください。**
けがの原因となることがあります。
- **ディスク挿入口に手や指を入れないでください。**
けがの原因となることがあります。
- **アンプ放熱部(背面部)に手を触れないでください。**
放熱部(背面部)の熱でやけどをする場合があります。
- **乾電池は充電しないでください。**
電池の破裂により、けがの原因となることがあります。
- **指定の電池以外は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。**
電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



注意

- **電池を機器内に挿入する場合は、極性〈プラス+・マイナス〉に注意し、表示通りに入れてください。**
電池の極性を間違えると破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- **使い切った電池はすぐに交換してください。**
液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。
- **アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流し、また眼に入ったときはきれいな水で洗った後ただちに医師の治療を受けてください。**
- **リチウム乾電池を廃棄する場合は、プラス+・マイナス端子に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。**
他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。
- **電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れてください。**
電池の破裂、液漏れにより火災やけがの原因となることがあります。
- **リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。**
ケースの変形、内部電池の破裂、液漏れの原因となることがあります。
- **本機を車載用として以外は使用しないでください。**
感電やけがの原因となることがあります。
- **電源ON時は、ボリュームの位置に注意してください。**
電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- **音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。**
火災の原因となることがあります。
- **本機は不可視レーザー光を使用しています。本機の分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。**
本機の改造は、危険なレーザー放射の被爆(視力低下の原因)をもたせたり、事故・火災・感電の原因となることがあります。
- **万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。**
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

目次

使用上のご注意	10
本機をお使いになるうえでのお願い	10
CD について	12
CD の清掃	14
MD について	15
MD の清掃	15
“メモリースティック” について	16
“メモリースティック” の清掃	17
各部の名称	18
基本操作	20
電源を入れる / 切る	20
CD を聞く	21
MD を聞く	22
“メモリースティック” を聞く	23
ラジオを聞く	24
音量を調節する	25
瞬時に消音する	25
オーディオコントロールモードを切り換える	26
BASS モード	27
MID (MIDDLE) モード	27
TREB (TREBLE) モード	27
BAL (BALANCE) モード	28
FAD (FADER) モード	28
NON-F (Non-FADER) モード	28
SVC (Source Volume Control) モード	29
ラウドネスを切り換える	30
ディスプレイ調整モードでの設定	31
モーションピクチャーの切り換え	32
明るさの調整	34
ボタン照明色の切り換え	35
ディスプレイデータの取り込み	36
ファンクションモードでの設定	40
ガイドトーン ON/OFF	42
時計表示 ON/OFF	43
時刻の調整	44
デモモード表示 ON/OFF	45
AUX 入力感度設定	46
操作アシスト機能について	47
前面パネルの角度調整	48

CD 部 /MD 部の操作.....49

CD/MD を聞く	49
次の曲に進む / 曲の頭に戻る	50
早送り・早戻しする	50
曲の始まりを演奏する (SCAN スキャン)	51
繰り返し演奏する (REPEAT リピート)	51
曲の順番を変えて演奏する (RANDOM ランダム)	51
MDLP モードでグループ編集された MD の操作	52
次のグループに進む / 前のグループに戻る	52
曲の始まりを演奏する (グループ SCAN)	52
繰り返し演奏する (グループ REPEAT)	52
曲の順番を変えて演奏する (グループ RANDOM)	53
CD のタイトルを設定する	53
設定したタイトルを変更する	55
設定したタイトルを削除する	56
CD TEXT、MD 演奏時の表示を切り換える	57
ディスクを取り出す	58

MP3/WMA の操作60

MP3/WMA について	60
MP3/WMA とは?	60
再生可能な MP3 ファイルの規格について	60
再生可能な WMA ファイルの規格について	61
ID3 タグ、WMA タグについて	61
使用できるメディアについて	61
使用できるディスクのフォーマットについて	62
ファイル名について	63
マルチセッションについて	63
MP3/WMA の再生について	63
MP3/WMA の演奏時間表示について	64
MP3/WMA ファイル、フォルダの表示順番	64
MP3/WMA を聞く	65
次のファイルに進む / ファイルの頭に戻る	66
次のフォルダに進む / 前のフォルダに戻る	66
早送り・早戻しする	66
ルートディレクトリへ戻る	67
曲の始まりを演奏する (SCAN スキャン)	67
繰り返し演奏する (REPEAT リピート)	67
曲の順番を変えて演奏する (RANDOM ランダム)	68
MP3/WMA 演奏時の表示を切り換える	69

“メモリースティック” 部の操作.....70

“メモリースティック” を聞く	70
次の曲に進む / 曲の頭に戻る	71
早送り・早戻しする	71
曲の始まりを演奏する (SCAN スキャン)	71

繰り返し演奏する (REPEAT リピート)	71
曲の順番を変えて演奏する (RANDOM ランダム)	72
“メモリースティック” へ録音する	73
録音方式の設定	74
“メモリースティック” をフォーマットする	78
ファイルを消去する	80
“メモリースティック” 演奏時の表示を切り換える	81
“メモリースティック” を取り出す	82

ラジオ部の操作 83

ラジオを聞く	83
自動的に放送局を記憶させる	84
手で放送局を記憶させる	85
記憶させた放送局を確認する	86
放送局名を表示する (放送局のエリア設定)	86
FM 放送について	88
FM 電波の直進性	88
フェードアウト	88
FM 放送のサービスエリア	89
マルチパス	89

サウンド調整モードの操作 90

サウンド調整モードについて	90
SRS Circle Surround II	91
パラメトリックイコライザ	91
タイムアライメント	93
クロスオーバー	94
マルチハーモナイザ	95
ノンフェダーフェーズ	95
ノンフェダー出力の切り換え	95
スピーカーレイアウト切り換え	95
E-iSERV 連携音響カスタマイズ	96
サウンド調整モードの切り換え (通常モード ↔ プロモード)	98
サウンド調整モード (通常モード) での操作	99
CS II (Circle Surround II) の設定	100
パラメトリックイコライザの設定	102
記憶したイコライザモードを呼び出す	104
周波数特性 (f 特) 測定・表示	105
簡易タイムアライメントの設定 (TimeAlignment)	108
クロスオーバーの設定 (X-Over)	113
マルチハーモナイザの設定 (Harmonizer)	114
ノンフェダーフェーズの切り換え (Non-F Phase)	115
NON-FADER の出力切り換え (Non-F Output)	116
音質データの取り込み (Sound Data)	117
サウンド調整モードの切り換え (通常モード ↔ プロモード)	119

サウンド調整モード (プロモード) での操作.....	120
パラメトリックイコライザの設定 (PEQ).....	122
記憶したイコライザモードを呼び出す.....	129
周波数特性 (f 特) 測定・表示.....	130
タイムアライメントの設定 (TimeAlignment).....	133
クロスオーバーの設定 (X-Over).....	136
マルチハーモナイザの設定 (Harmonizer).....	138
ノンフェダーフェーズの切り換え (Non-F Phase).....	139
NON-FADER の出力切り換え (Non-F Output).....	140
スピーカーレイアウトの切り換え (SP Layout).....	141
音質データの取り込み (Sound Data).....	142
カスタムモードの切り換え (Custom Mode).....	145

ESN セキュリティーの操作 146

ESN について.....	146
セキュリティタイプ (Key CD セキュリティー、“メモリースティック” セキュリティ) の切り換え.....	147
ESN(Key CD セキュリティー) の操作.....	148
Key CD の登録.....	148
Key CD 登録の解除.....	149
Key CD の変更.....	149
動作ロック状態の解除.....	150
ESN (“メモリースティック” セキュリティー) の操作.....	151
暗証番号の登録.....	151
“メモリースティック” セキュリティーの解除.....	152
暗証番号の変更.....	154
動作ロック状態の解除.....	154
ACC セキュリティーの設定.....	158
セキュリティインジケータの表示.....	159
電子シリアルナンバー (Electronic Serial Number) の表示.....	159

(別売)CD オートチェンジャー /MD チェンジャーを 接続したときの操作 160

CD オートチェンジャー /MD チェンジャーモードに切り換える.....	160
次の曲に進む / 曲の頭に戻る.....	161
早送り・早戻しする.....	161
曲の始まりを演奏する (SCAN スキャン).....	161
繰り返し演奏する (REPEAT リピート).....	161
曲の順番を変えて演奏する (RANDOM ランダム).....	162
次のディスクに進む / 前のディスクに戻る.....	163
演奏するディスクを指定する.....	163
CD のタイトルを設定する.....	164
設定したタイトルを変更する.....	166
設定したタイトルを削除する.....	167
MD 演奏時の表示を切り換える.....	167

リモコンの操作	168
使用上の注意	168
清掃について	168
電源を入れる / 切る	169
音量を調節する	169
瞬時に消音する	169
機能を切り換える	169
ラジオ利用時の操作	170
FM AM を切り換える	170
放送局を選ぶ (自動・手動)	170
記憶済みの放送局を選ぶ	170
CD、MD、“メモリースティック” 利用時の操作	171
次の曲に進む / 曲の頭に戻る	171
次のディスクに進む / 前のディスクに戻る	171
ディスクモードを切り換える	171
MP3/WMA 利用時の操作	172
次のファイルに進む / ファイルの頭に戻る	172
次のフォルダに進む / 前のフォルダに戻る	172
ディスクモードを切り換える	172
電池を交換する	173
その他の操作	174
ポータブルオーディオ機器を AUX 端子に接続する	174
困ったときは	175
インフォメーションが点滅する	176
仕様について	182
アフターサービスについて	184
<商品に関するお問い合わせ先>アフターサービスについて	185

使用上のご注意



走行中のオーディオ操作は、運転に支障がないように安全には十分注意して行ってください。

本機をお使いになるうえでのお願い

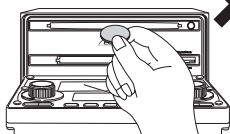
- ・安全のため運転中の音量は車外の音が聞こえる範囲でお楽しみください。



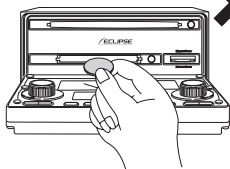
- ・本機は左のマークのついた CD のご使用をお勧めします。

- ・本機は音楽専用のCD-R(CD-Recordable)/CD-RW(CD-Rewritable)の再生が可能です。必ずファイナライズ処理したものをご使用ください。ただし、編集された機器により、再生できない場合があります。

- ・本機はMDLP(LP2モード/LP4モード)に対応しています。



- ・ディスク挿入口には、コインやキャッシュカードなどディスク以外の異物を絶対に入れないでください。特にお子さまのいたずらに注意してください。





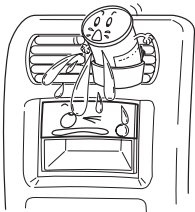
- ・ 悪路を走行中、激しく振動した場合、音が途切れる(音とび)ことがあります。このようなときは、路面のよい道路に出てからあらためて本機をご使用ください。



- ・ 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露(水滴)が生ずることがあります。(結露現象)この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。



- ・ 夏期は車内温度が高くなるので、車内の温度を下げしてから本機をお使いください。



- ・ 湿気に注意してください。本機に液体が入ったり、かかるとすると思われ故障や破損の原因となります。本機周辺にセットしてあるドリンクホルダー内の飲み物などには特にご注意ください。



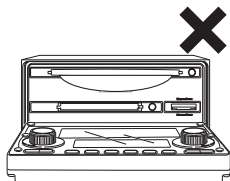
- ・ 本機内部は、精密な構造になっているので、分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。



- ・ 本機は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。

CDについて

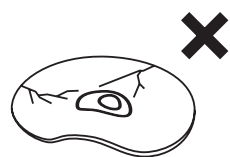
記憶された信号は、ディスクに直接触れることなくレーザー光線によって読み取ります。信号面やラベル面にキズがついていたり、大きくそったディスクは音質の低下や音とびの原因になります。いつもよい音を楽しむため、次のことを十分注意してください。



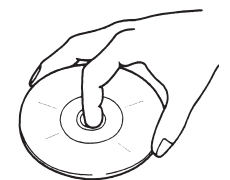
- ・ディスクをイジェクト状態のまま長時間放置しないでください。その原因になります。ディスクは必ずケースに入れて、直射日光の当たる場所や高温・多湿の場所をさけて保存してください。



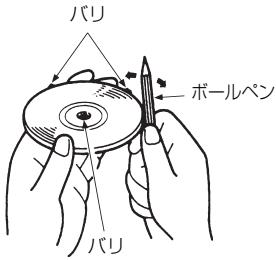
- ・信号面やラベル面に紙やシールなどを貼りつけたり、文字を書いたり、キズをつけたりしないようにしてください。



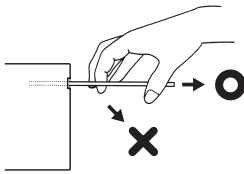
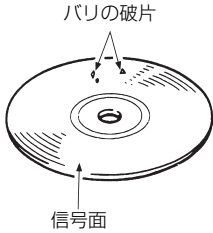
- ・CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



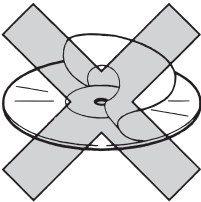
- ・ディスクはデッキ内部で高速回転します。ヒビがはいったり、そりが大きいディスクはCDデッキの故障の原因となりますので使用しないでください。
- ・信号面に触れないように取り扱ってください。



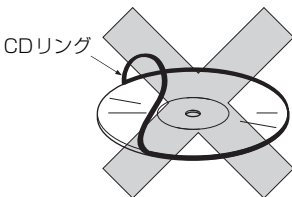
- ・新しいCDをご使用になると、CDのセンターホールや外周部にバリがあることがあります。バリがついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。バリがついているCDを使用すると、デッキに入らなかったり、使用中にバリの破片がCDの信号面に付着し、音とびをしたりする場合があります。



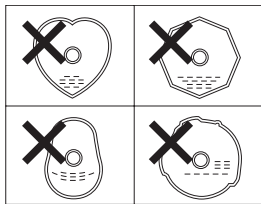
- ・本機から CD を取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながら引き出すとCD記録面にキズをつける原因となります。



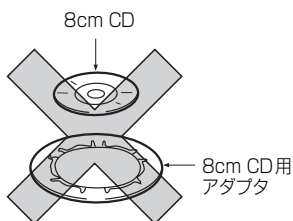
- ・音質向上や CD 保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）、またCDラベルなどは使用しないでください。CDの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。



- ・音質向上や防振効果を高める CD の保護用として市販されているアクセサリ（CDリング、プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかつたり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



- ・ハート形や八角形など特殊形状のCDは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

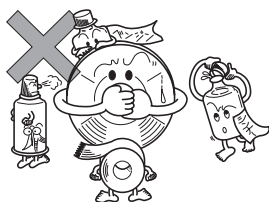


- ・本機では、8cmCD をアダプターなしで再生できません。
- ・8cmCD にシングルアダプターを付けてディスクを再生すると、誤動作することがありますので使用しないでください。

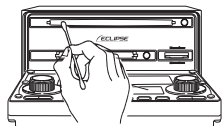
CDの清掃



- ・ディスクが汚れたときは、市販のコンパクトディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。



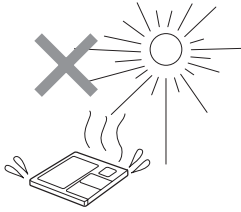
- ・ベンジン、シンナー、LP用スプレーやクリーナーなどは使用しないでください。



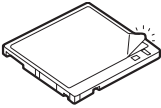
- ・ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので時々掃除してください。ホコリがたまった状態でディスクを挿入すると、ディスクにキズがつくことがあります。

MDについて

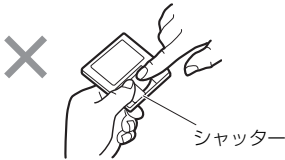
いつもよい音を楽しむため、次のことを十分注意してください。



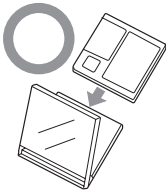
- ・ MD は直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。MDが反り、使用できなくなる恐れがあります。



- ・ ラベルがはがれかけていたり、ネームテープが貼ってあるMDは使用しないでください。



- ・ MDのシャッターは、手で開けないでください。



- ・ MDは、ケースに入れて保管してください。

MDの清掃





- ・ ベンジンやシンナーなどを使用すると、ケースや塗装が変質するので使用しないでください。
- ・ MD のカートリッジ部表面についたホコリやゴミなどは乾いた布で拭き取ってください。

- ・ ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので、ときどき掃除してください。

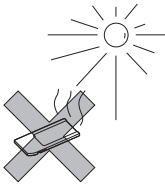
“メモリースティック”について

MAGICGATE



- ・左記のマークの付いた“MG メモリースティック”は使用できます。
- ・左記のマークの付いた“メモリースティック”は本機への音楽データ以外の書き出し、取り込みの場合に使用できます。
 “MagicGate Memory Stick”（“マジックゲートメモリースティック”） “Memory Stick”（“メモリースティック”） はソニー株式会社の商標です。
- ・静電気や電氣的ノイズを受ける恐れのある場所に、“メモリースティック”を放置しないでください。データが破損する恐れがあります。
- ・プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- ・“メモリースティック Duo”を使用する場合は、“メモリースティック Duoアダプター”をご使用ください。
- ・128MB までの容量の“メモリースティック”に対応しています。
- ・“メモリースティック PRO”には対応していません。
- ・“MG メモリースティック”の再生後および“MG メモリースティック”、“メモリースティック”へデータ転送後は、すみやかに“メモリースティック”を取り出してください。
- ・“MG メモリースティック”、“メモリースティック”の誤消去防止スイッチをロックすると録音やデータの保存などができなくなります。
- ・“MG メモリースティック”再生中、または録音中は抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- ・“MG メモリースティック”へ録音中にエンジンスイッチをOFFにしたり、エンジン始動の操作をしないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- ・“MG メモリースティック”のフォーマット(初期化)は、本機で行ってください。本機以外でフォーマットを行った場合、本機で再生、または録音できません。

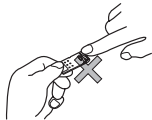
- ・ “メモリースティック” をフォーマット(初期化)すると内部のデータは全て(セキュリティーの登録内容や、E-iSERVからダウンロードしたデータも含む)消去されるので注意してください。
- ・ 新しくご購入されたばかりの“MG メモリースティック” は、そのままでは使用できない場合があります。その場合は、本機でフォーマットしてください。フォーマットの操作は、「メモリースティック」をフォーマットする」(78ページ)を参照してください。
- ・ 録音や、データを保存した機器によっては、再生、またはデータの書き出し、取り込みをすることができない場合があります。
- ・ ラベルがはがれていたり、ネームテープ(ラベル)が貼ってある“メモリースティック” は使用しないでください。



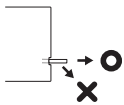
- ・ 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。“メモリースティック” が使用できなくなる場合があります。



- ・ 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。

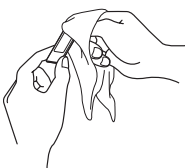


- ・ 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



- ・ 本機から“メモリースティック” を取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながら引き出すと“メモリースティック” 端子部にキズをつける原因となります。

“メモリースティック” の清掃

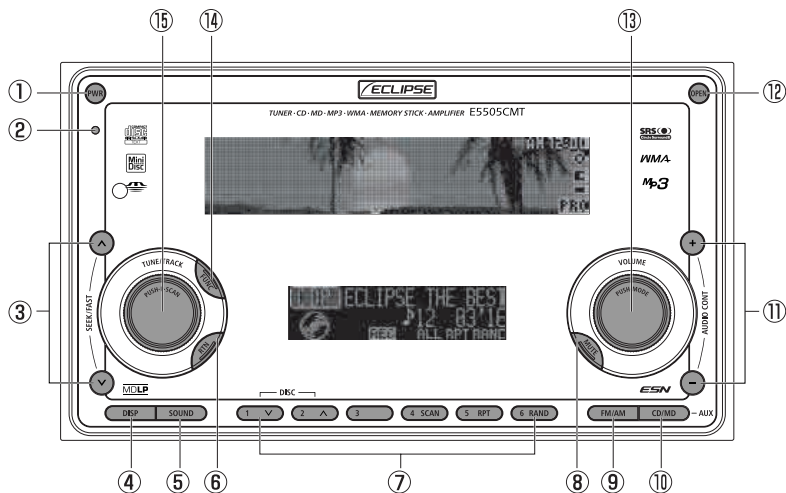


- ・ いつもよい音を楽しむため、定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- ・ “メモリースティック” 挿入口はホコリがたまりやすいので、ときどき掃除してください。

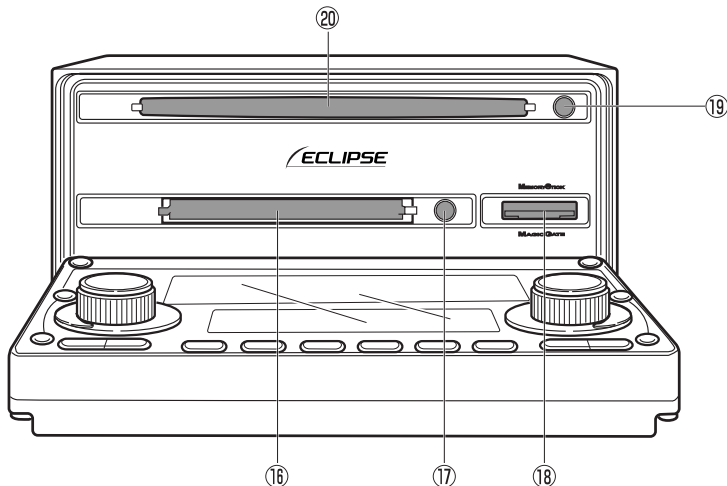
各部の名称

本機のおもなボタンを紹介します。詳細は、各操作の説明を参照してください。
 (CD部/MD部の操作 49ページ、MP3/WMAの操作 60ページ、“メモリースティック”部の操作 70ページ、ラジオ部の操作 83ページ、サウンド調整モードの操作 90ページ)

本機正面



前面パネルオープン時

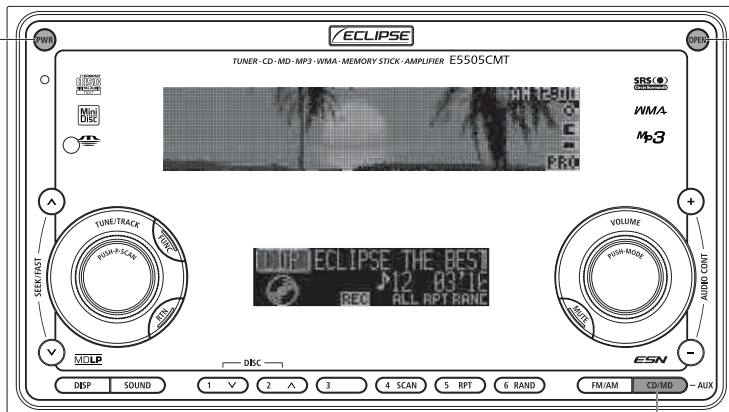


①	PWRボタン	電源のON/OFFを行います。
②	リセットボタン	記憶させた内容をすべて消去するときに使います。
③	▲/▼ (SEEK/FAST)ボタン	ラジオの放送局の選択やCD、MD、“メモリースティック”の早送り・早戻しを行います。
④	DISPボタン	ディスプレイ調整モードへの切り換えを行います。
⑤	SOUNDボタン	サウンド調整モードへの切り換えを行います。
⑥	RTNボタン	各設定モードに戻るときに使います。
⑦	番号ボタン	ラジオのプリセットチャンネルの選択やディスクモードでの操作を行います。
⑧	MUTEボタン	消音または消音の解除を行います。
⑨	FM/AMボタン	ラジオのバンドの切り換えを行います。
⑩	CD/MDボタン	ディスクモードの切り換えを行います。
⑪	+/- (AUDIO CONT)ボタン	オーディオコントロールモードでのレベル調整を行います。
⑫	OPENボタン	CD、MD、“メモリースティック”を挿入したり取り出すときに押します。
⑬	オーディオコントロールボタン	ボリュームの調整やオーディオコントロールモードへの切り換えを行います。
⑭	FUNCボタン	ファンクションモードへの切り換えを行います。
⑮	TUNE/TRACKボタン	ラジオの放送局やCD、MD、“メモリースティック”のトラックを選択するときに使います。
⑯	MD挿入口	MDを挿入します。
⑰	MDイジェクトボタン	MDを取り出すときに押します。
⑱	MS挿入口	“メモリースティック”を挿入します。
⑲	CDイジェクトボタン	CDを取り出すときに押します。
⑳	CD挿入口	CDを挿入します。

基本操作

本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。詳しくは、機能別の説明を参照してください。

[PWR]
ボタン



[OPEN]
ボタン

[CD/MD] ボタン

電源を入れる/切る

以下の手順で電源を入れたり (ON)、切ったり (OFF) します。
ACC ポジションのない車両の場合、電源を切る際注意が必要です。
電源を切るときは、手順2、または手順3にしたがって操作してください。

1 電源がOFFの状態です[PWR] ボタンを押す

電源がONになります。



ワンポイント

本機の電源を初めてONにした時、または車両の整備などでバッテリーとの接続が外されて、再度電源をONにした時は、FM1モードで電源がONになります。その後、放送局が自動で選局されて、番号ボタン[1]~[6]に記憶されます。

2 電源がONの状態です[PWR] ボタンを短く (1秒未満) 押す

電源がOFFになり、スタンバイ状態となります。

さらに[PWR] ボタンを長めに (1秒以上) 押すと、電源がALL OFFになります。

- 3** 電源がONの状態ですべてのボタンを長めに(2秒以上)押し、電源がALL OFFになります。

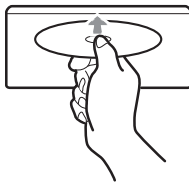


注意

欧州車などACCポジションのない車両の場合、降車の際は必ず[PWR]ボタンを長めに(2秒以上)押し、電源をOFFにしてください。バッテリーが上がる恐れがあります。

CDを聞く

- 1** [OPEN] ボタンを短く(1秒未満)押し、前面パネルが開きます。
- 2** CD挿入口にレーベル面を上にしてCDを挿入する
CDが引き込まれ、自動的に演奏が始まります。



ワンポイント

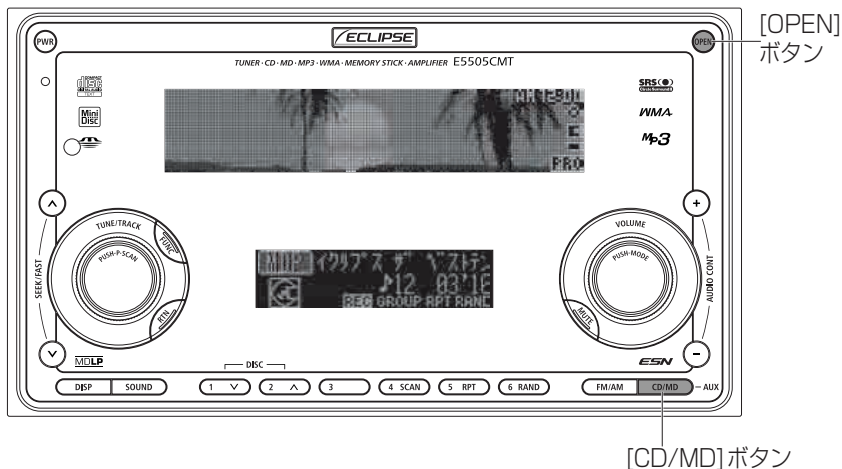
すでにCDが挿入されているときは、CDプレーヤーモードになるまで[CD/MD]ボタンを押してください。

- 3** [OPEN] ボタンを短く(1秒未満)押し、前面パネルが閉じます。



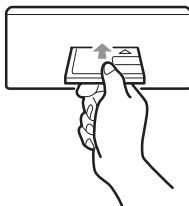
注意

- 前面パネルを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いた前面パネルに体が当たるなどして思わぬけがをすることがあります。
- 前面パネルを手で開閉しないでください。前面パネルが損傷するおそれがあります。



MDを聞く

- 1 [OPEN] ボタンを短く (1 秒未満) 押す
前面パネルが開きます。
- 2 MD 挿入口に MD を挿入する
MD が引き込まれ、自動的に演奏が始まります。



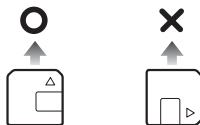
ワンポイント

すでに MD が挿入されているときは、MD プレーヤーモードになるまで [CD/MD] ボタンを押してください。



注意

MD の矢印の向きを確認し、ラベル面を上にして挿入してください。



3 [OPEN] ボタンを短く (1 秒未満) 押す

前面パネルが閉じます。



注意

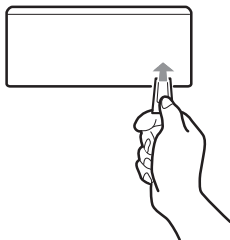
- 前面パネルを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いた前面パネルに体が当たるなどして思わぬけがをすることがあります。
- 前面パネルを手で開閉しないでください。前面パネルが損傷するおそれがあります。

“メモリースティック” を聞く

1 [OPEN] ボタンを短く (1 秒未満) 押す

前面パネルが開きます。

2 “メモリースティック” 挿入口に “メモリースティック” を挿入する



ワンポイント

- すでに“メモリースティック”が挿入されているときは、“メモリースティック”プレーヤーモードになるまで [CD/MD] ボタンを押してください。
- “メモリースティック”は▶マークを奥にして、「カチッ」と音がするまで挿入してください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は挿入できませんので、無理に力を加えないでください。（“メモリースティック”が数mmほど飛び出した状態になります。）
- “メモリースティック Duo”を挿入するときは、必ず“メモリースティック Duo”アダプターを取り付けてから挿入してください。（“メモリースティック Duo”のみを挿入すると取り出せないことがあります。）



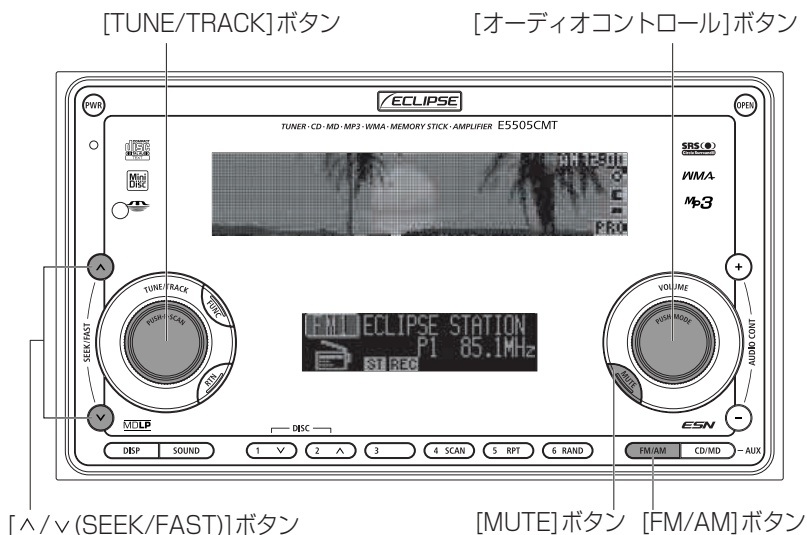
注意

“メモリースティック”の挿入途中に [OPEN] ボタンを押さないでください。けがやディスプレイ部の故障の原因になります。

3 [OPEN] ボタンを短く (1 秒未満) 押す

前面パネルが閉じます。

4 “メモリースティック” プレーヤーモードになるまで [CD/MD] ボタンを押す



ラジオを聞く

- 1** [FM/AM] ボタンを押す

ラジオモードに切り換わります。
- 2** [FM/AM] ボタンを押して、FM/AMバンドを切り換える

ボタンを押すごとにFM1 → FM2 → AM1 → AM2の順に切り換わります。
- 3** [TUNE/TRACK] ボタンを回す

任意の周波数にあわせます。

右に回す …………… 周波数の高いほうへ移る

左に回す …………… 周波数の低いほうへ移る
- 4** [^/∨(SEEK/FAST)] ボタンを押す

電波の強い放送局を自動的に受信します。

[^ (SEEK/FAST)] ボタン …… 周波数の高いほうへ選局

[∨ (SEEK/FAST)] ボタン …… 周波数の低いほうへ選局

音量を調節する

1 [オーディオコントロール] ボタンを左右に回す

右に回す ……音量が大きくなる

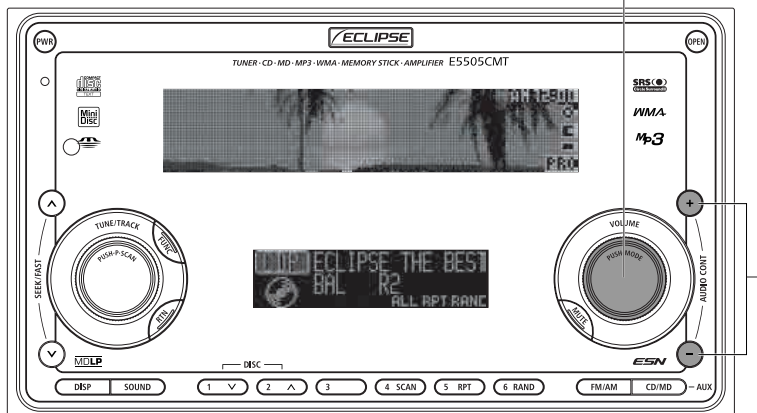
左に回す ……音量が小さくなる

瞬時に消音する

1 [MUTE] ボタンを押す

消音を解除するには、もう一度[MUTE] ボタンを押すか、
[オーディオコントロール] ボタンを右側に回します。

[オーディオコントロール]ボタン

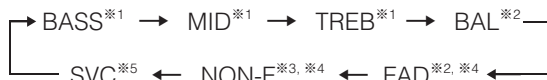


[+/- (AUDIO CONT)]ボタン

オーディオコントロールモードを切り換える

各モードの微調整をすることができます。

- 1** [オーディオコントロール]ボタンを短く(1秒未満)押す
ボタンを押すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



- ※1 サウンド調整モードが通常モードの時は、調整できません。(99ページ参照)
- ※2 サウンド調整モードがプロモードの時、または通常モードでポジションセレクトおよびCS IIがONの時は調整できません。(100, 109, 120ページ参照)
- ※3 サウンド調整モードがプロモードの時は、調整することができません。(120ページ参照)
- ※4 ノンフェーダー出力は、BASS、MID、TREBLE、ラウドネス、イコライザでの調整内容を反映しません。
- ※5 FMモード時は設定することはできません。

BASSモード

BASS(低音)を調整します。

BASSの調整値は、オーディオモード(CD/MDプレーヤー、MP3/WMA、“メモリースティック”、AM、FM)ごとに記憶されます。

[+/- (AUDIO CONT)] ボタンを押す

[+ (AUDIO CONT)] ボタン… 低音を強調する

[- (AUDIO CONT)] ボタン… 低音を弱める

MID (MIDDLE) モード

MIDDLE (中音) を調整します。

MIDDLEの調整値は、オーディオモード(CD/MDプレーヤー、MP3/WMA、“メモリースティック”、AM、FM)ごとに記憶されます。

[+/- (AUDIO CONT)] ボタンを押す

[+ (AUDIO CONT)] ボタン… 中音を強調する

[- (AUDIO CONT)] ボタン… 中音を弱める

TREB(TREBLE)モード

TREB(高音)を調整します。

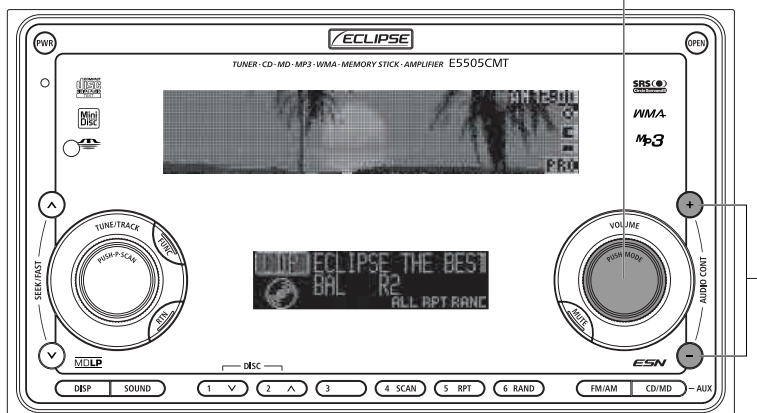
TREBLEの調整値は、オーディオモード(CD/MDプレーヤー、MP3/WMA、“メモリースティック”、AM、FM)ごとに記憶されます。

[+/- (AUDIO CONT)] ボタンを押す

[+ (AUDIO CONT)] ボタン… 高音を強調する

[- (AUDIO CONT)] ボタン… 高音を弱める

[オーディオコントロール]ボタン



[+/- (AUDIO CONT)]ボタン

BAL (BALANCE) モード

左右 (BALANCE) のスピーカーのバランスを調整します。

[+/- (AUDIO CONT)] ボタンを押す

[+ (AUDIO CONT)] ボタン・・・右のスピーカーを強調する

[- (AUDIO CONT)] ボタン・・・左のスピーカーを強調する

FAD (FADER) モード

前後 (FADER) のスピーカーのバランスを調整します。

[+/- (AUDIO CONT)] ボタンを押す

[+ (AUDIO CONT)] ボタン・・・前のスピーカーを強調する

[- (AUDIO CONT)] ボタン・・・後ろのスピーカーを強調する

NON-F (Non-FADER) モード

ノンフェーダーレベル (接続されたサブウーファなど) を調整します。

[+/- (AUDIO CONT)] ボタンを押す

[+ (AUDIO CONT)] ボタン・・・レベルが大きくなる

[- (AUDIO CONT)] ボタン・・・レベルが小さくなる

SVC (Source Volume Control) モード

オーディオモードごとに音量の差を設定することができます。初期状態のFMモードの音量(初期値:40)を基準に、各オーディオモードで設定したボリューム差が記憶されます。SVCを設定すると下記の設定例のようにボリュームレベルが変化します。

設定例：

オーディオモード	FM	AM	CD/MD	MS
初期値 (ボリュームレベル)	0 (40)	0 (40)	0 (40)	0 (40)
SVC設定 (ボリュームレベル)	基準 (40)	SVC設定値 +15 (55)	SVC設定値 -10 (30)	SVC設定値 +10 (50)
FMモードでボリューム レベルを40→45に調整 したとき	45	55→60	30→35	50→55
CDモードでボリューム レベルを35→60に調整 したとき	45→70	60→80*	60	55→80
AMモードでボリューム レベルを80→20に調整 したとき	70→5	20	60→0*	80→15

*: ボリュームレベルは最大で80、最小で0です。最大・最小値を超える場合は、それ以上、以下には、ボリュームレベルは変化しません。CD/MDチェンジャーのSVCは、CD/MDプレーヤーの設定値で調整されます。

[+/- (AUDIO CONT)] ボタンを押す

[+ (AUDIO CONT)] ボタン……SVC設定値が大きくなる

[- (AUDIO CONT)] ボタン……SVC設定値が小さくなる

SVC設定値は-10から+20の範囲で設定してください。



ワンポイント

車両の整備などにより、バッテリーとの接続が断たれた時は、SVCの設定は初期状態に戻ります。この場合、再度設定をしてください。



ラウドネスを切り換える

ラウドネスを設定すると、一定のレベルで低、高音を強調します。小さな音量でラウドネスをONにすると低、高音の不足感が補正されます。

1 「LOUD ON」と表示されるまで [オーディオコントロール] ボタンを押す



ワンポイント

- ラウドネスを解除するときは、同様の操作を行い「LOUD OFF」と表示させます。
- CS II がONのときは、ラウドネスOFFとなり、切り換えることができません。



警告

自動車の運転中に音量調整等の操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。

ディスプレイ調整モードでの設定

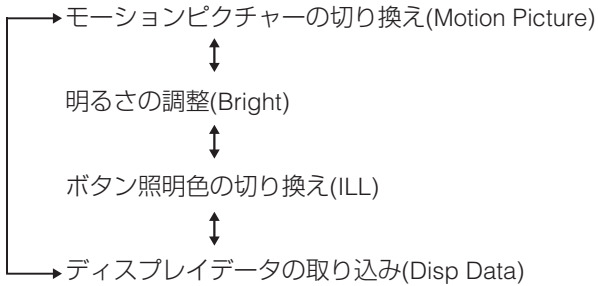
ディスプレイのさまざまな設定を変更することができます。

1 [DISP] ボタンを短く (1 秒未満) 押す

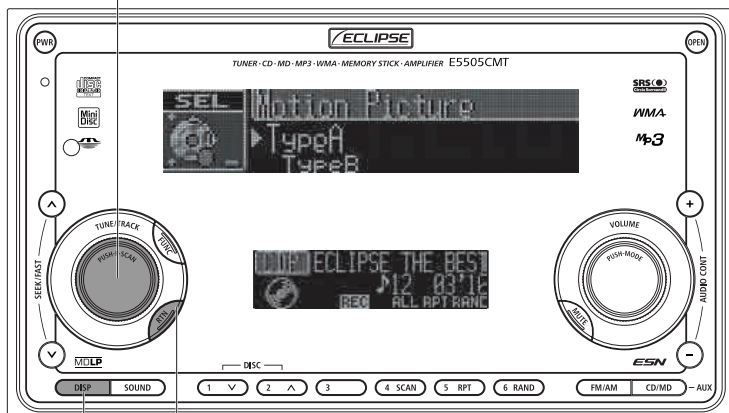
ディスプレイ調整モードに切り換わります。

2 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、設定項目を選択する

ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



[TUNE/TRACK]ボタン



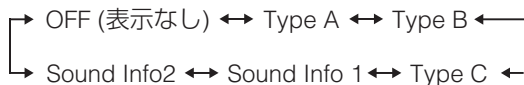
[DISP]ボタン [RTN]ボタン

モーションピクチャーの切り換え

本機にあらかじめ用意されているモーションピクチャー(動画)、またはサウンドインフォメーションディスプレイ(サウンド調整モードで調整した値)を選択して、ディスプレイに表示することができます。本機では3種類のモーションピクチャーおよび2種類のサウンドインフォメーションディスプレイが用意されています。また、ECLIPSEのWebサイトからダウンロードしたモーションピクチャーを本機に取り込み、表示することもできます。(詳細は36ページを参照してください。)

- 1** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、[Motion Picture] を選択する
- 2** [TUNE/TRACK] ボタンを押す
モーションピクチャー設定モードに切り換わります。
- 3** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、表示するモーションピクチャーを選択する

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。



4 [TUNE/TRACK] ボタンを押す※¹

設定内容が反映されます。

5 [RTN] ボタンを押す

ディスプレイ調整モードの設定項目の選択表示に戻ります。

6 [DISP]、または [RTN] ボタンを押す

ディスプレイ調整モードが解除されます。

(**5**の時に [DISP] ボタンを押してもディスプレイ調整モードは解除されません。)

※1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに [DISP] ボタン、または [RTN] ボタンでファンクションモードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

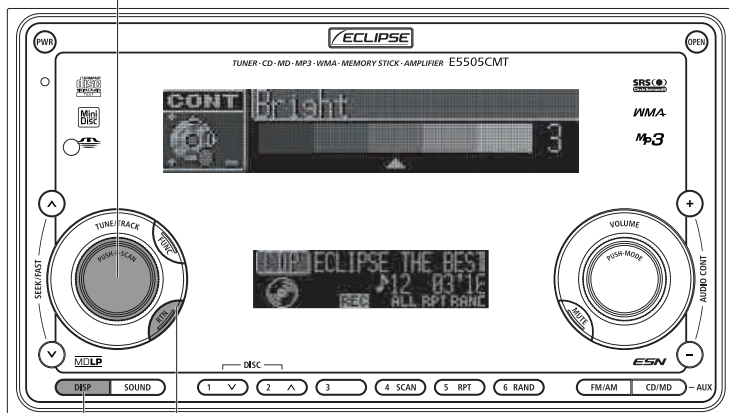


ワンポイント

Sound Info 1、または Sound Info 2 を選択した場合は、サウンド調整モードで設定した調整値などが表示されます。表示内容は、次のとおりです。

選択項目	表示画面 (例)	表示内容
Sound Info 1 (通常モード時)		<ul style="list-style-type: none"> ・周波数特性 (f 特) 測定結果 ・クロスオーバー設定値 ・タイムアライメント設定値、またはCS II 設定値
Sound Info 1 (プロモード時)		<ul style="list-style-type: none"> ・周波数特性 (f 特) 測定結果 ・クロスオーバー設定値 ・スピーカーレイアウト (4SP+SW/3-WAY) 設定値
Sound Info 2	 ↓ ↓ 	<p>10 秒ごとに次の順で表示が切り換わります。</p> <p>パラメトリックイコライザーの調整値→タイムアライメント設定値→クロスオーバー設定値→・・・</p>

[TUNE/TRACK]ボタン



[DISP]ボタン [RTN]ボタン

明るさの調整

ディスプレイの明るさを調整することができます。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、[Bright] を選択する

2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す

明るさ設定モードに切り換わります。

3 [TUNE/TRACK] ボタンを回し調整する

1～5のレベルで設定することができます。

右に回す……レベルが大きくなる

左に回す……レベルが小さくなる

4 [TUNE/TRACK] ボタンを押す※1

設定内容が反映されます。

5 [RTN] ボタンを押す

ディスプレイ調整モードの設定項目の選択表示に戻りません。

6 [DISP]、または [RTN] ボタンを押す

ディスプレイ調整モードが解除されます。

(**5**の時に [DISP] ボタンを押してもディスプレイ調整モードは解除されません。)

※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに [DISP] ボタン、または [RTN] ボタンでファンクションモードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

ボタン照明色の切り換え

ボタン照明色を切り換えることができます。



ワンポイント

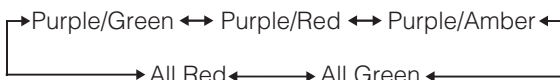
ボタンによっては照明色が切り換わらない場合があります。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、「ILL」を選択する**2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す**

ボタン照明色設定モードに切り換わります。

3 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、ボタン照明色を選択する

[TUNE/TRACK] ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。

**4 [TUNE/TRACK] ボタンを押す※ 1**

設定内容が反映されます。

5 [RTN] ボタンを押す

ディスプレイ調整モードの設定項目の選択表示に戻ります。

6 [DISP]、または [RTN] ボタンを押す

ディスプレイ調整モードが解除されます。

(**5**の時に [DISP] ボタンを押してもディスプレイ調整モードは解除されません。)

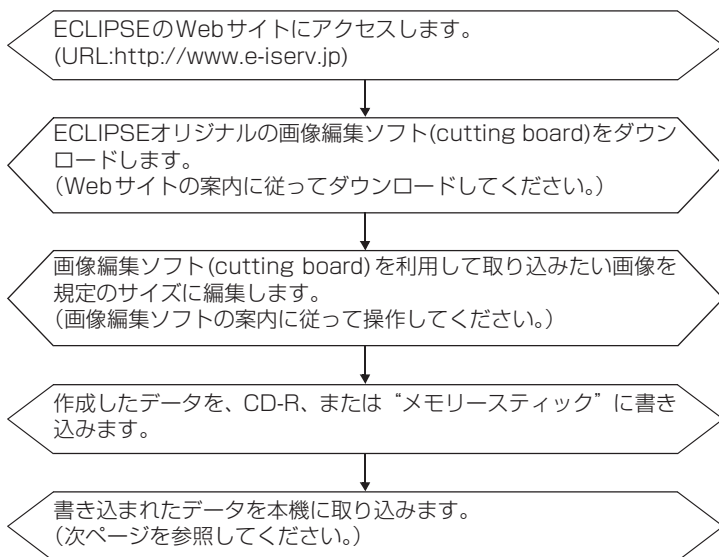
※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに [DISP] ボタン、または [RTN] ボタンでファンクションモードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

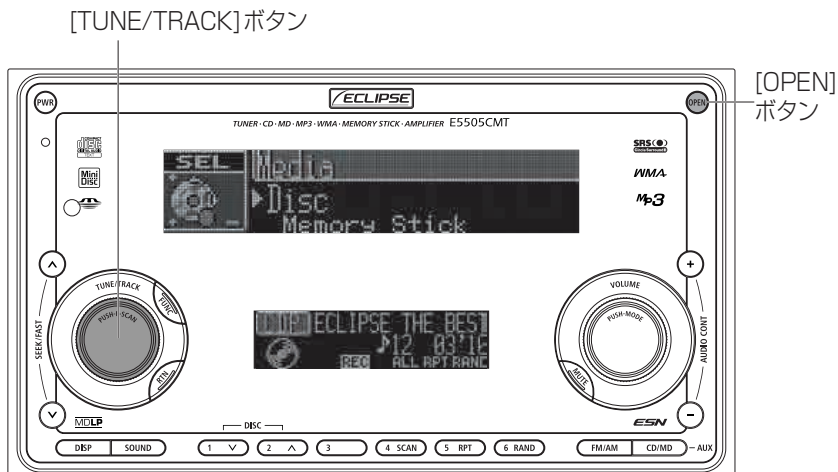
ディスプレイデータの取り込み

本機で表示されるモーションピクチャーはCD-R、または“メモリースティック”よりデータを取り込み、変更することができます。

モーションピクチャー用のデータはECLIPSEのWebサイト(E-iSERV)よりダウンロードすることができます。データのダウンロードはECLIPSEのWebサイト(E-iSERV)の案内に従って行ってください。(URL:http://www.e-iserv.jp)

また、ECLIPSEのWebサイト(E-iSERV)では、オリジナルのモーションピクチャー作成ツールをダウンロードすることもできます。オリジナルのモーションピクチャーは次の手順で設定してください。





1 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、[Disp Data] を選択する

2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す
ディスプレイデータ取り込みモードに切り換わります。

3 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、データを取り込むメディアを選択する

[TUNE/TRACK] ボタンを回すごとに、データを取り込むメディアが次の順に切り換わります。

Disc ←→ Memory Stick

4 [TUNE/TRACK] ボタンを押す
データを取り込むメディアが選択されます。

- Discを選択した場合
前面のパネルが自動的に開きます。CDが既に挿入されているときは、CDが自動で排出されます。

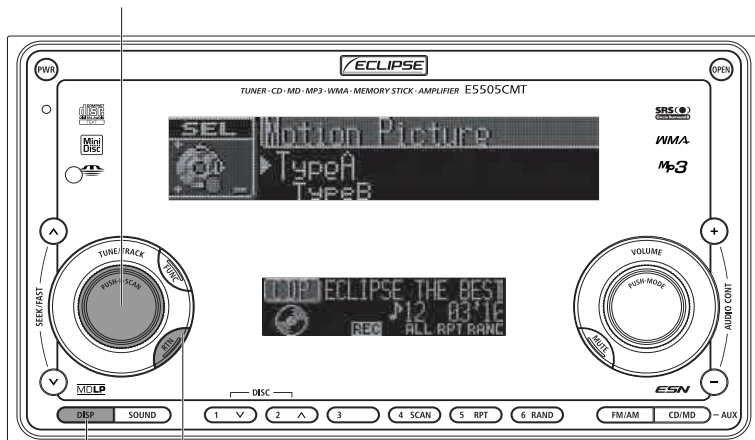
- Memory Stickを選択した場合
対象データのあった“メモリースティック”が挿入されていないときは、前面のパネルが自動的に開きます。

5 メディア (DISC、または“メモリースティック”) を挿入する

6 [OPEN] ボタンを押して、前面パネルを閉じる

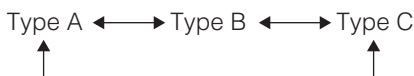
7 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、取り込むファイルを選択する

[TUNE/TRACK]ボタン



[DISP]ボタン [RTN]ボタン

- 8** [TUNE/TRACK] ボタンを押す
 モーションピクチャーモードに切り換わります。
- 9** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、データを書き込む場所を選択する
 [TUNE/TRACK] ボタンを回すごとに、項目が次の順に切り換わります。



- 10** [TUNE/TRACK] ボタンを押す
 データを書き込む場所が選択されます。
- 11** [TUNE/TRACK] ボタンを押す
 データの取り込みが始まります。既にデータが取り込まれているときは、上書きされます。
 取り込みが終わると、メディアがDISCの場合は前面のパネルが開き、CDが自動で排出されます。
 [OPEN] ボタンを押して、前面パネルを閉じてください。



注意

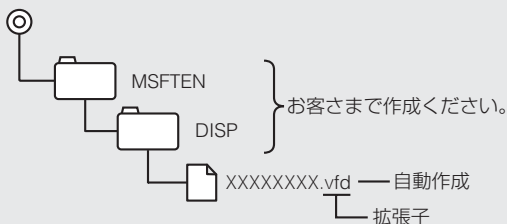
データの取り込み中にエンジンスイッチの操作を行わないでください。
 データが破損する恐れがあります。



ワンポイント

< “メモリースティック” を使用する場合 >

ECLIPSEのWebサイト (E-iSERV) からダウンロードしたデータは次のようにフォルダーを作成して、“メモリースティック” に保存してください。



- 本機に取り込みが可能なファイルは、ECLIPSEのWebサイト (E-iSERV) からダウンロードされたときに自動で作成されます。
- ファイル名は、8文字の半角英数字で変更することができます。(スペースは不可)

< CD-Rを使用する場合 >

ECLIPSEのWebサイト (E-iSERV) からダウンロードしたデータは次のようにCD-Rのルートディレクトリに保存してください。



- 本機に取り込むことのできるCD-Rのフォーマットは、次のようになります。
 - ・CD-ROM (MODE1)
 - ・CD-ROM (MODE2_FORM1)
 ※：MODE2_FORM2 で書き込みした場合は本機に取り込むことができません。
- 本機に取り込みが可能なファイルは、ECLIPSEのWebサイト (E-iSERV) からダウンロードされたときに自動で作成されます。
- ファイル名は、8文字の半角英数字で変更することができます。(スペースは不可)
- データの取り込み中、本機の電源をON/OFF、またはエンジンスイッチの操作をしないでください。データが破損する恐れがあります。
- CD-R内に他のデータが書き込まれていると、読み込み時間がかかる場合があります。

12 [RTN] ボタンを押す

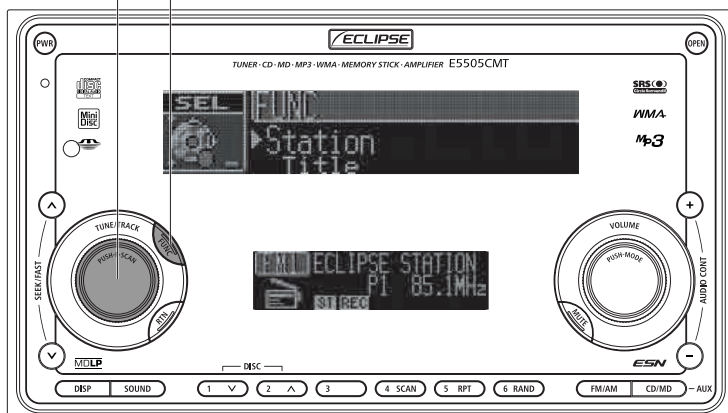
ディスプレイ調整モードに戻ります。

13 [DISP]、または[RTN] ボタンを押す

ディスプレイ調整モードが解除されます。

(12のときに[DISP] ボタンを押してもディスプレイ調整モードは解除されます。)

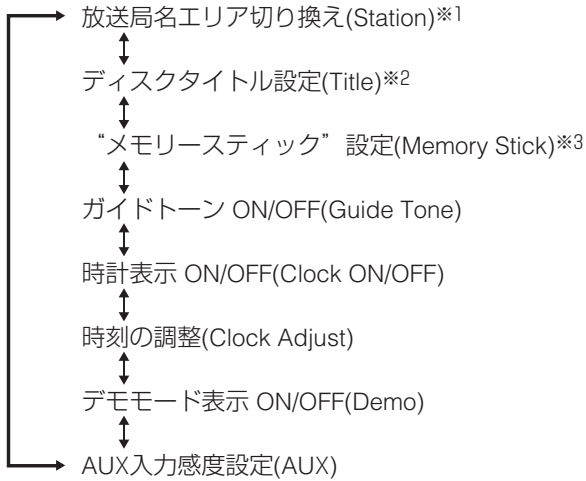
[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン



ファンクションモードでの設定

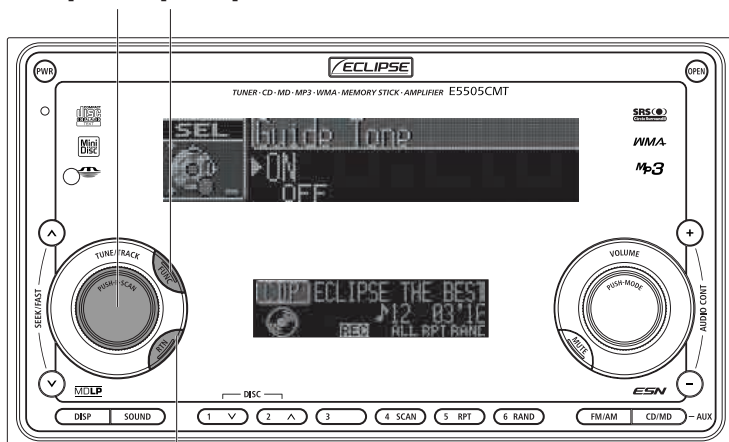
さまざまな設定を変更することができます。

- 1 [FUNC] ボタンを短く（1秒未満）押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 2 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、設定項目を選択する
ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



- ※1 ラジオ操作時以外は設定することができません。(詳細はラジオの操作 86ページを参照してください。)
- ※2 CDプレーヤ、またはCDチェンジャー操作時以外は設定することができません。(詳細はCD/MD部の操作53ページ、(別売)CDオートチェンジャー/MDチェンジャーを接続したときの操作164ページを参照してください。)
- ※3 録音中は設定することができません。(詳細は“メモリースティック”部の操作74ページを参照してください。)

[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン



[RTN]ボタン

ガイドトーン ON/OFF

ガイドトーンのON/OFFを切り換えることができます。お買い求めになったときは、本機を操作すると「ピッ」というガイドトーンが鳴るように設定されています。

- 1** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、「Guide Tone」を選択する
- 2** [TUNE/TRACK] ボタンを押す
ガイドトーン設定モードに切り換わります。
- 3** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、ON/OFFを切り換える
- 4** [TUNE/TRACK] ボタンを押す※¹
設定内容が反映されます。
- 5** [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6** [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(**5**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

※1: [TUNE/TRACK]ボタンを押さずに[FUNC]ボタン、または[RTN]ボタンでファンクションモードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

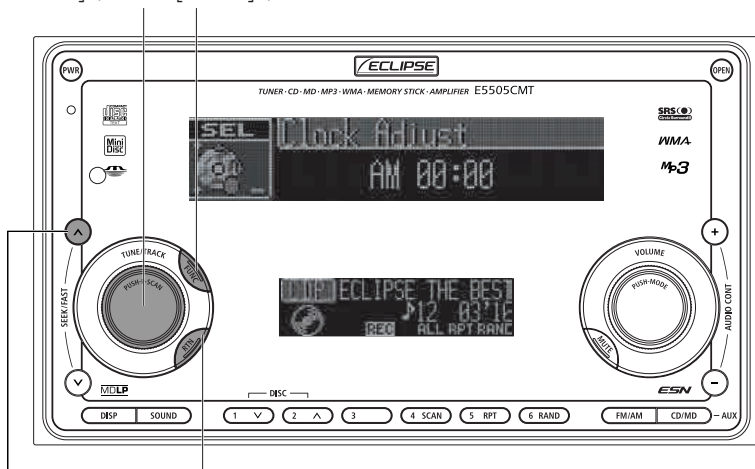
時計表示 ON/OFF

時計表示のON/OFFを切り換えることができます。

- 1** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、「Clock ON/OFF」を選択する
- 2** [TUNE/TRACK] ボタンを押す
時計表示選択モードに切り換わります。
- 3** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、ON/OFFを切り換える
ボタンを回すごとに、ON/OFFが切り換わります。
- 4** [TUNE/TRACK] ボタンを押す※¹
設定内容が反映されます。
- 5** [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6** [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(**5**の時に [FUNC] ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに [FUNC] ボタン、または [RTN] ボタンでファンクションモードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン



[∧(SEEK/FAST)]ボタン [RTN]ボタン

時刻の調整

本機は、12時間表示になっています。

- 1 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、「Clock Adjust」を選択する
- 2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す
時刻調整モードに切り換わります。
- 3 [∧(SEEK/FAST)] ボタンを押して、調整する項目を選択する
ボタンを押すたびに、時、分が切り換わります。
- 4 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、調整する
右に回す……選択されている時間または分が増える
左に回す……選択されている時間または分が減る
- 5 [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6 [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(5の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

デモモード表示 ON/OFF

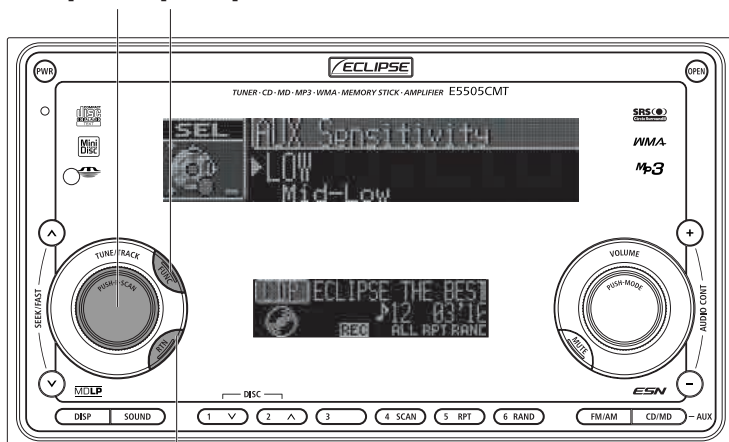
この機能をONにすると、電源をONにした時、各オーディオ操作画面やモーションピクチャー（動画）が繰り返しデモモードとして表示されます。

オープニング画面→FM画面→CD画面→MP3/WMA画面→
“メモリースティック”操作画面→
CDオートチェンジャー操作画面→サウンド調整モード画面→
モーションピクチャー A→モーションピクチャー B→
モーションピクチャー C→エンディング画面→
オープニング画面→…

- 1** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、「Demo」を選択する
- 2** [TUNE/TRACK] ボタンを押す
デモモード設定モードに切り換わります。
- 3** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、ON/OFFを切り換える
ボタンを回すごとに、ON/OFFが切り換わります。
- 4** [TUNE/TRACK] ボタンを押す※¹
設定内容が反映されます。
- 5** [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6** [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(**5**の時に [FUNC] ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに [FUNC] ボタン、または [RTN] ボタンでファンクションモードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン



[RTN]ボタン

AUX入力感度設定

本機のAUX端子にポータブルオーディオ機器を接続したときの入力感度を設定することができます。

- 1 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、「AUX」を選択する
- 2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す
AUX入力感度設定モードに切り換わります。
- 3 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、設定する感度を選択する

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。

Low ↔ Mid Low ↔ Mid ↔ Hi

入力感度の目安は次のようになります。

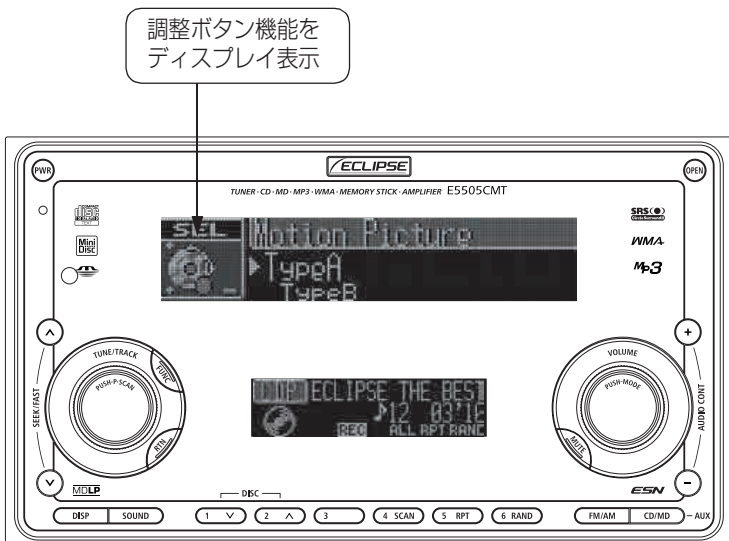
Low 2Vrms
 Mid Low 960mVrms
 Mid 480mVrms
 Hi 240mVrms

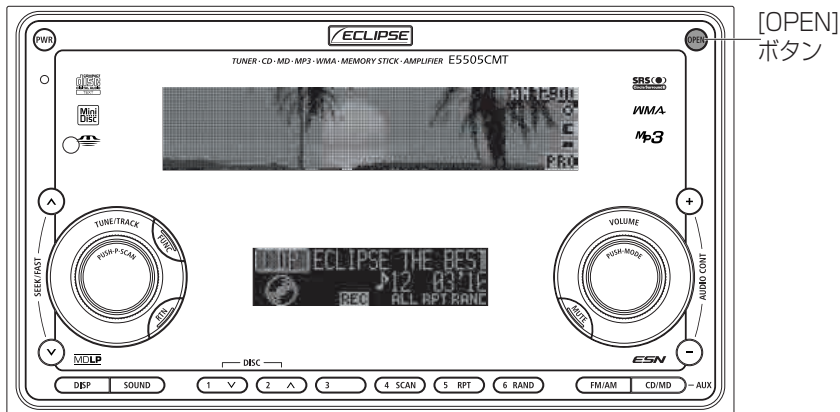
- 4 [TUNE/TRACK] ボタンを押す※¹
設定内容が反映されます。
- 5 [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6 [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(5の時に[FUNC] ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに [FUNC] ボタン、または [RTN] ボタンでファンクションモードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

操作アシスト機能について

ディスプレイ調整モード、ファンクションモード、サウンド調整モードでは、画面表示で操作をガイドします。





前面パネルの角度調整

車外からの光などで画面が見えにくいときに、前面パネルの角度を6段階に調整することができます。

1 [OPEN] ボタンを長めに（2秒以上）押す

ボタンを押すごとに、1段階ずつ傾きます。傾きが6段階のとき[OPEN]ボタンを長めに（2秒以上）押すと、前面パネルがもとの角度（0°）に戻ります。



ワンポイント

- 前面パネルを傾けた状態で[OPEN]ボタンを短く（1秒未満）押すと、前面パネルが開きます。CDなどの挿入・排出後、[OPEN]ボタンを短く（1秒未満）押すと、調整した角度で前面パネルは閉じます。
- 前面パネルを傾けた状態でエンジンスイッチをOFFにすると、自動的に傾いていない状態になります。再度エンジンスイッチをACC、またはONにすると傾いた状態に戻ります。

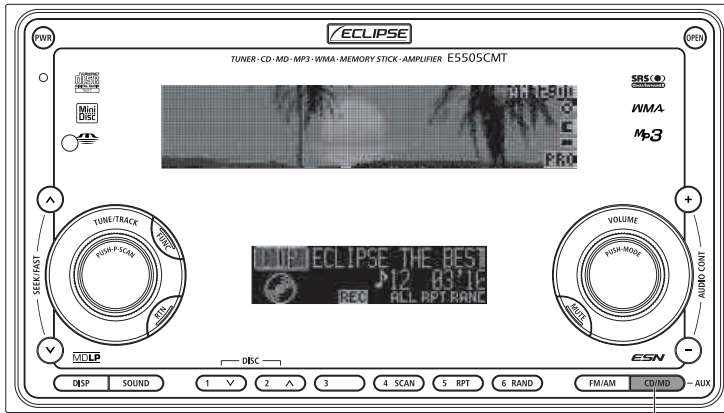


注意

- 前面パネルの角度調整をするときは、手などを挟まないように注意してください。けがの原因や、故障の原因となります。
- 前面パネルの角度調整をするときは、下記に注意してください。
 - <A/T車> 前面パネルの角度を調整するときは、PまたはNレンジで手などが干渉しないように設定してください。（走行レンジで干渉する場合は、前面パネルの角度調整はしないでください。）
 - <M/T車> 前面パネルの角度を調整するときは、1・3・5・Rポジションで手などが干渉しないように調整してください。（干渉する場合は、前面パネルの角度調整はしないでください。）
- MDが半装填のまま角度調整を行わないでください。故障の原因となります。

CD部/MD部の操作

ここでの操作は、すでにCDやMDが挿入されていることを前提に説明します。
特に指定がない場合、操作はCD、MDで共通しています。



[CD/MD]ボタン

CD/MDを聞く

- 1 [CD/MD] ボタンを短く（1秒未満）押して、CDモードまたはMDモードに切り換える

ディスクモードに切り換わり、演奏が始まります。

[CD/MD] ボタンを押すごとに、CDプレーヤー (CDP) → CDオートチェンジャー (CDC) → MDプレーヤー (MDP) → MDチェンジャー (MDC) → “メモリースティック” プレーヤー (MS) の順に切り換わります。

ディスクが挿入されていないモードまたは接続されていない機器は、飛ばして切り換わります。

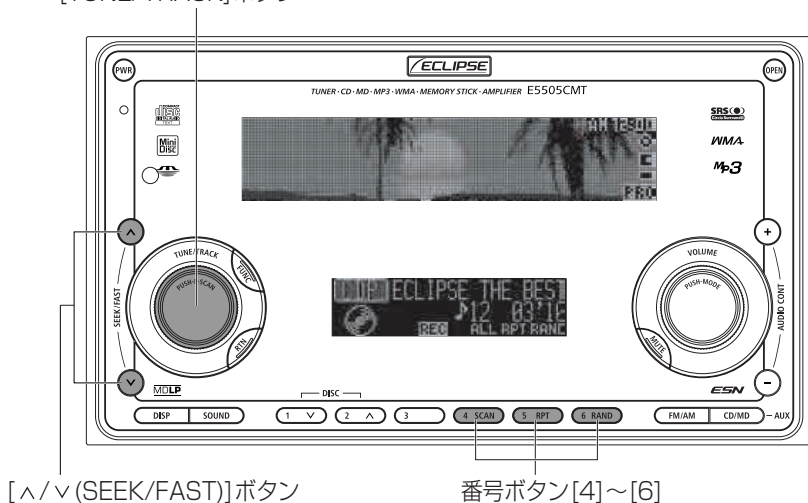
別売のCDオートチェンジャーやMDチェンジャーを接続している場合は、(別売)CDオートチェンジャー/MDチェンジャーを接続したときの操作(160ページ)を参照してください。



注意

CDやMDにキズや汚れがあると、演奏中に音が途切れることがあります。

[TUNE/TRACK]ボタン



次の曲に進む/曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回す

右に回す … 次の曲に進む

左に回す … 演奏中の曲の頭(繰り返し押し出すと前の曲)に戻る

早送り・早戻しする

1 [^/∨(SEEK/FAST)] ボタンを押しつづける

[^ (SEEK/FAST)] ボタン … 早送りする

[∨ (SEEK/FAST)] ボタン … 早戻しする

スキャン

曲の始まりを演奏する (SCAN)

1 番号ボタン[4]を押す

演奏しているディスク全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。
再度番号ボタン[4]を押すと解除されます。

リピート

繰り返し演奏する (REPEAT)

1 番号ボタン[5]を押す

演奏中の曲を繰り返し演奏します。
再度番号ボタン[5]を押すと解除されます。

ランダム

曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)

1 番号ボタン[6]を押す

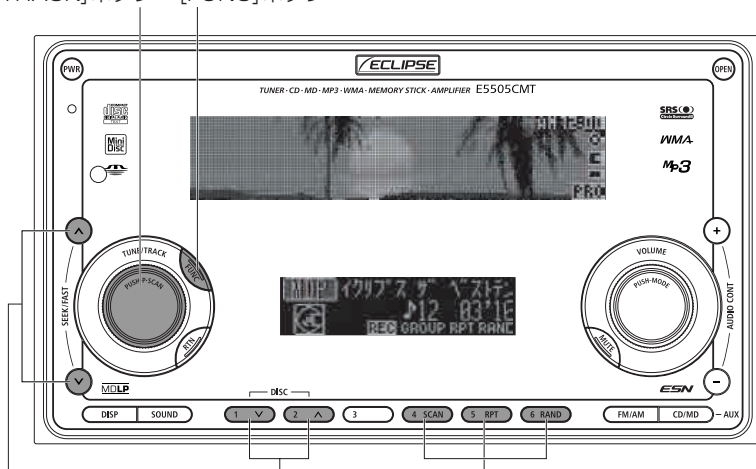
演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。
再度番号ボタン[6]を押すと解除されます。



ワンポイント

- 「RANDOM」を選択中に、番号ボタン[5]を押すと、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度番号ボタン[5]を押すと、「RANDOM」に戻ります。
繰り返し再生される曲は下記になります。
 - ・ 曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
 - ・ 次の曲に切り換わるとき：切り換わる次の曲を演奏します。
- まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- 「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「RPT」、「RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン



[^/∨(SEEK/FAST)]ボタン 番号ボタン[1]、[2] 番号ボタン[4]～[6]

MDLPモードでグループ編集されたMDの操作

MDLPモードのグループ編集機能で、グループに分けて録音されたMDの場合、次のような操作をすることができます。(ただし、編集・録音された機器によって、動作しないことがあります。)

次のグループに進む/前のグループに戻る

- 番号ボタン[1]または[2]を押す
番号ボタン[1] …… 前のグループに戻る
番号ボタン[2] …… 次のグループに進む

曲の始まりを演奏する(グループSCAN)

- 番号ボタン[4]を長めに(2秒以上)押す
「GROUP SCAN」と表示され、MD内の全グループの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

繰り返し演奏する(グループREPEAT)

- 番号ボタン[5]を長めに(2秒以上)押す
「GROUP RPT」と表示され、演奏中のグループ内の曲を繰り返し再生します。

曲の順番を変えて演奏する (グループRANDOM)

1 番号ボタン [6] を長めに (2秒以上) 押す

「GROUP RAND」と表示され、演奏中のグループ内の曲を順不同に演奏します。



ワンポイント

- まれに同じ曲が続けて演奏 (選択) されることがありますが、故障ではありません。
- 「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「REPEAT」、「RANDOM」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

CDのタイトルを設定する

CDにタイトルをつけ、表示させることができます。



ワンポイント

- 最大で30枚分のタイトルを記憶させることができます。
- タイトルは、最大15文字まで入力できます。
- CD TEXTにタイトルまたは曲名が記録されているときは、この機能はご使用になれません。

タイトルを設定したいディスクを選んでから以下の動作を行ってください。

1 [FUNC] ボタンを短く (1秒未満) 押す

ファンクションモードに切り換わります。

2 [TUNE/TRACK] ボタンを回し「Title」を選択して、[TUNE/TRACK] ボタンを押す

ディスクタイトル設定モードになります。

3 [^ (SEEK/FAST)] ボタンを押して、入力する文字の種類を選択する

ボタンを押すごとに、「ABC」(大文字アルファベット)、「アイウ」(カナ)、「123」(数字)、「! ” #」(記号)の順に表示が切り換わります。

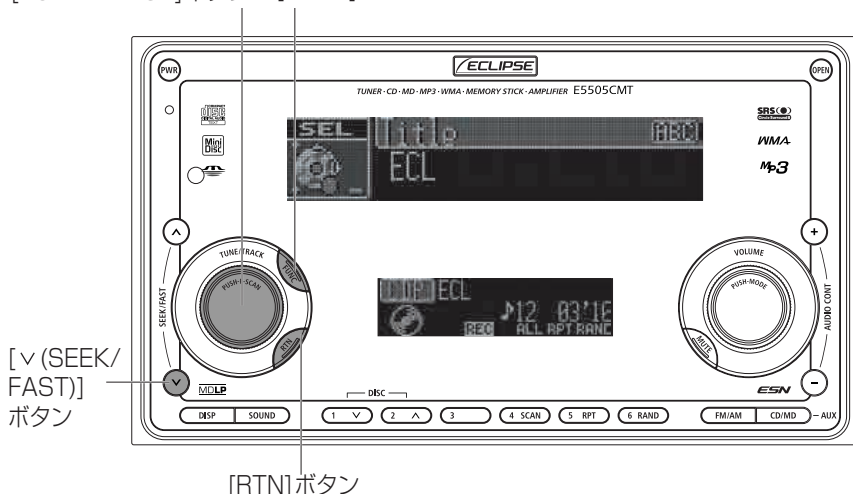
4 [TUNE/TRACK]、または [v (FAST)] ボタンを押して、入力する文字位置を選択する

点滅している位置に文字が入力されます。

[TUNE/TRACK] ボタン …… 1文字進む

[v (SEEK/FAST)] ボタン …… 1文字削除

[TUNE/TRACK] ボタン [FUNC] ボタン

**5** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、文字を選択する

右に回す …… 次の文字に進む
左に回す …… 前の文字に戻る

[大文字/アルファベット]初期値[A] 【右方向】

A → B → C → … X → Y → Z

[カタカナ]初期値[A] 【右方向】

ア → イ → ウ → エ → オ → … ワ → ヲ → キ → ア → イ → ウ → エ → オ → ヤ → ユ → ヨ → ツ → …

[数字]初期値[1] 【右方向】

1 → 2 → 3 → … 8 → 9 → 0

[記号]初期値[!] 【右方向】

! → * → # → \$ → % → & → ' → (→) → * → + → , → - → . → / → : → ; → < → = → > → ? → @ → ' → _



- 入力する文字の種類を変更するときは、**3**～**5**の手順を繰り返してください。
- 文字は最大15文字まで入力できます。

6 [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

7 [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す

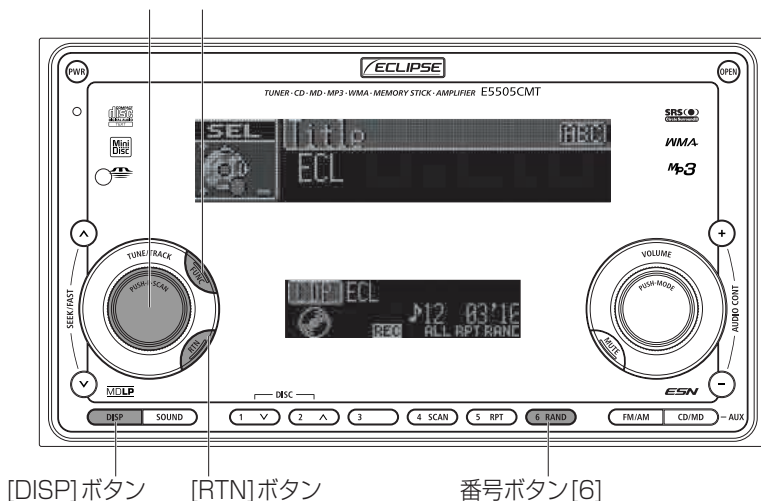
ファンクションモードが解除されます。

(**6**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されます。)

設定したタイトルを変更する

- 1 [FUNC] ボタンを短く (1 秒未満) 押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 2 [TUNE/TRACK] ボタンを回し「 Title 」を選択して、[TUNE/TRACK] ボタンを押す
ディスクタイトル設定モードになります。
- 3 [TUNE/TRACK]、または [V(SEEK/FAST)] ボタンを押して、変更したい文字を点滅させる
[TUNE/TRACK] ボタン …… 1 文字進む
[V(SEEK/FAST)] ボタン …… 1 文字削除
- 4 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、入力する文字を選択する
右に回す …… 次の文字に進む
左に回す …… 前の文字に戻る
- 5 [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6 [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(5の時に [FUNC] ボタンを押してもファンクションモードは解除されず。)

[TUNE/TRACK] ボタン [FUNC] ボタン



設定したタイトルを削除する

- 1 [FUNC] ボタンを短く (1 秒未満) 押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 2 [TUNE/TRACK] ボタンを回し「Title」を選択して、[TUNE/TRACK] ボタンを押す
ディスクタイトル設定モードになります。
- 3 「DELETE」と表示されるまで番号ボタン[6]を押しつづける
タイトルが削除されて、ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 4 [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。

CD TEXT、MD演奏時の表示を切り換える

CD TEXT、MDにタイトル名や曲名などが記録されているときは、それらを表示させることができます。表示部には、最大15文字まで表示されます。

ディスクタイトルやトラックタイトルが記録されていない場合、何も表示されません。

1 [DISP] ボタンを長めに（1秒以上）押す

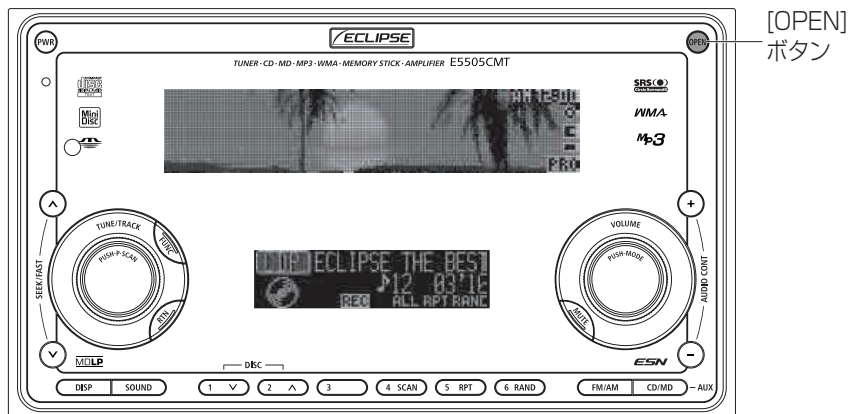
ディスクタイトルがスクロール表示された後にトラックタイトルがスクロール表示されます。

トラックタイトルがスクロール表示された後、固定表示になります。



注意

- 本機の表示部にCD TEXT、MDのタイトルまたはトラックタイトルが表示されないときは、この機能はご使用になれません。
- 入力した機器によって、タイトルが正常に表示されない場合があります。
- 本機で表示することができる文字は、次のようになります。
CD TEXT……半角英数字、記号
MD ……………半角英数字、半角カナ、記号
上記以外の文字は*（アスタリスク）で表示されます。



ディスクを取り出す

- 1 [OPEN] ボタンを短く (1 秒未満) 押す
前面パネルが開きます。



注意

“メモリースティック” に録音中は、前面パネルは開きません。

- 2 [CDイジェクト]、または[MDイジェクト]ボタンを押す
挿入されていたディスクが排出されます。
[CDイジェクト]ボタン……………CDが排出される
[MDイジェクト]ボタン……………MDが排出される

3 ディスクを取り出し、[OPEN] ボタンを押す

前面パネルが閉じます。15秒以上CDが取り出されなかった場合、ブザーが鳴り、CDが再び引き込まれ、前面パネルが閉じます。



注意

- 前面パネルを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いた前面パネルに体が当たるなどして思わぬケガをするおそれがあります。
- 前面パネルを手で開閉しないでください。前面パネルが損傷するおそれがあります。
- CDが排出された状態で前面パネルを閉じると、CDおよび前面パネルが損傷するおそれがあります。必ず取り出してから閉じてください。

MP3/WMA の操作

MP3/WMA について



注意

MP3/WMA ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

MP3/WMA とは？

MP3(MPEG Audio レイヤ3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

WMA(Windows Media™ Audio)は音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。本機で使用できるMP3/WMAファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットに制限があります。

再生可能なMP3ファイルの規格について

- 対応規格 : MPEG-1 Audio レイヤ3
- 対応サンプリング周波数 : 44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート : 64、80、96、112、128、160、192、224、256、288、320 (kbps)
 - ※VBRに対応しています。(64～320kbps)
 - ※フリーフォーマットには対応していません。
- 対応チャンネルモード : ステレオ

再生可能なWMAファイルの規格について

- 対応規格 : WMA Ver. 7、8、9
- 対応サンプリング周波数 : 44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート : 48、64、80、96、128、160、192、256、320 (kbps)

※VBRに対応しています。(48～192 kbps)

※可逆圧縮(ロスレス圧縮)には対応していません。

※サンプリング周波数48 kHz、ビットレート48kbpsの組み合わせで記録されたWMAファイルは、再生することができません。

ID3タグ、WMAタグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

本機は、ID3v.1.0、ID3v.1.1 およびID3タグに対応しています。WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-ROM、CD-R およびCD-RWです。

なお、CD-Rは通常の音楽CDに使用されているCD-ROMに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-Rは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合、再生できない場合や音飛びする場合があります。

一部のCD-Rは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-Rは紫外線に弱いいため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

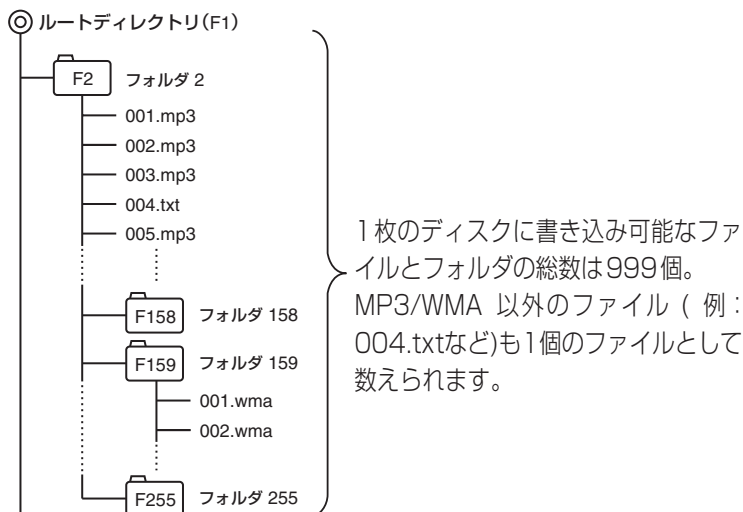
使用できるディスクのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2です。

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは正常に再生できなかつたり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名/ファイル名文字数 : 半角32文字(区切り文字“.” + 拡張子3文字を含む)
- フォルダ名/ファイル名使用可能文字 : A～Z、0～9、_(アンダースコア)
- 1枚のディスクに書き込み可能なファイルとフォルダの総数 : 999個

< MP3/WMA対応CDの構造例 >



- 一枚のディスクに書き込み可能なフォルダの総数 : 255個
- 本機で認識できるフォルダ数の上限 : 256個※

※ルートディレクトリも1個のフォルダとして数えられます。

ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“.mp3” / “.wma” が付いたものだけです。MP3 ファイルには、“mp3” の拡張子を付けて保存してください。WMA ファイルには、“wma” の拡張子を付けて保存してください。拡張子名 “mp” / “wma” は大文字でも小文字でもかまいません。



注意

MP3/WMA 以外のファイルに “mp3” / “wma” の拡張子を付けると、MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA 以外のファイルに、“mp3” / “wma” の拡張子を付けしないでください。

マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMA ファイルを追記したCD-RおよびCD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once” で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

また、セッション毎にフォーマットを変更しないで、統一したフォーマットで作成してください。

MP3/WMAの再生について

MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMA ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

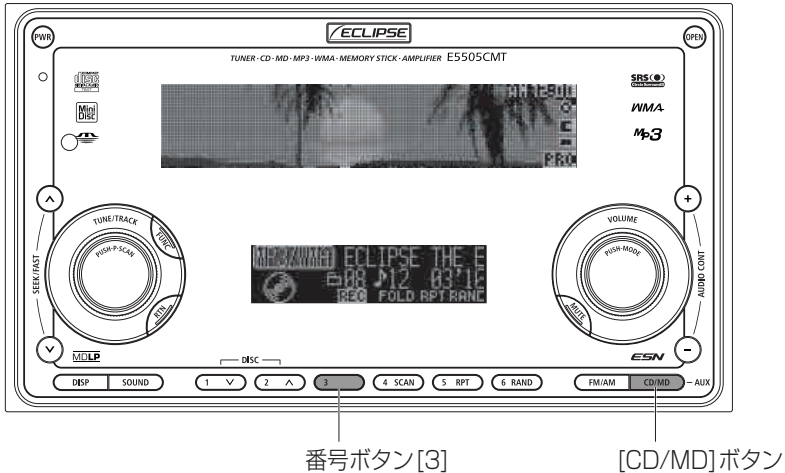
※VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMA ファイル、フォルダの表示順番

MP3/WMA フォルダおよびファイルは、同一階層内にあるMP3/WMA フォルダ、ファイルを次のように表示します。

1. フォルダを数字、アルファベットの昇順に表示
2. 次にファイルを数字、アルファベットの昇順に表示

ここでの操作は、すでにMP3/WMAファイルが収録されているCDが挿入されていることを前提に説明します。



MP3/WMA を聞く

1 [CD/MD] ボタンを短く (1秒未満) 押しCDモードに切り換える

ディスクモードに切り換わり、演奏が始まります。

[CD/MD] ボタンを押すごとに、CD プレーヤー (CDP) → CD オートチェンジャー (CDC) → MD プレーヤー (MDP) → MD チェンジャー (MDC) → “メモリースティック” プレーヤー (MS) の順に切り換わります。

ディスクが挿入されていない、または接続されていない機器は、飛ばして切り換わります。



ワンポイント

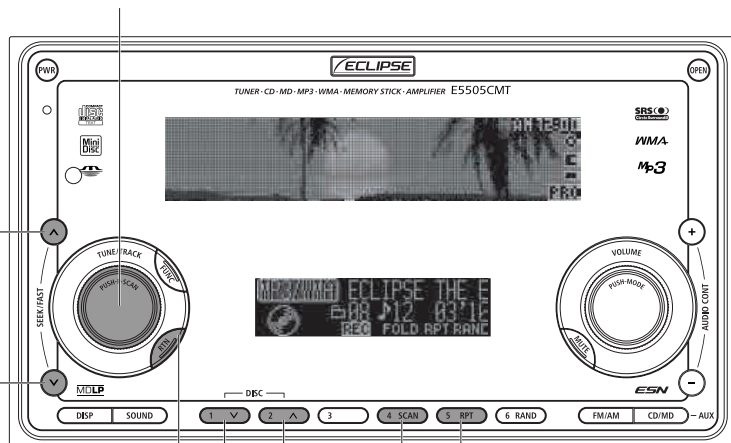
- 通常に録音された音楽データ (CD-DA) と MP3/WMA 音楽ファイルが混在している時は、通常に録音された音楽データを再生します。MP3/WMA 音楽ファイルを再生する時は、番号ボタン [3] を長めに (1 秒以上) 押ししてください。
- 対応していない MP3/WMA ファイルは、再生されません。ディスク内の MP3/WMA ファイルが全て対応されていない場合は、「NO SUPPORT」が表示されます。
- プロテクト録音 (ライセンス管理) された WMA ファイルは再生されません。ディスク内の WMA ファイルが全てプロテクト録音されている場合は、「PROTECT」が表示されます。
- 別売の CD オートチェンジャーで MP3/WMA ファイルを再生することはできません。



注意

CD にキズや汚れがあると、演奏中に音が途切れることがあります。

[TUNE/TRACK]ボタン

[∧/∨(SEEK/
FAST)]ボタン

[RTN]ボタン 番号ボタン[1]、[2] 番号ボタン[4]、[5]

次のファイルに進む/ファイルの頭に戻る

次のファイルや演奏中のファイルの頭へ移動します。

1 [TUNE/TRACK]ボタンを回す

右に回す … 次のファイルに進む

左に回す … 演奏中のファイルの頭(繰り返し回すと前のファイル)に戻る

次のフォルダに進む/前のフォルダに戻る

次のフォルダや前のフォルダへ移動します。

1 番号ボタン[1]または[2]を押す

番号ボタン[1] … 前のフォルダに戻る

番号ボタン[2] … 次のフォルダに進む

早送り・早戻しする

1 [∧/∨(SEEK/FAST)]ボタンを押しつづける

[∧(SEEK/FAST)]ボタン … 早送りする

[∨(SEEK/FAST)]ボタン … 早戻しする

ルートディレクトリへ戻る

ルートディレクトリに再生可能なファイルがない場合は、再生可能な一番最初のファイルに戻ります。(MP3/WMA対応CDの構造例の場合、フォルダ2の001.mp3ファイルに戻ります。62ページ参照)

1 [RTN] ボタンを押す

曲の始まりを演奏する (SCAN)^{スキャン}

1 番号ボタン[4]を押す

短く(1秒未満)押すと、演奏中のフォルダにある全ファイルを曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。

長めに(1秒以上)押すと、全フォルダの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

再度番号ボタン[4]を押すと解除されます。

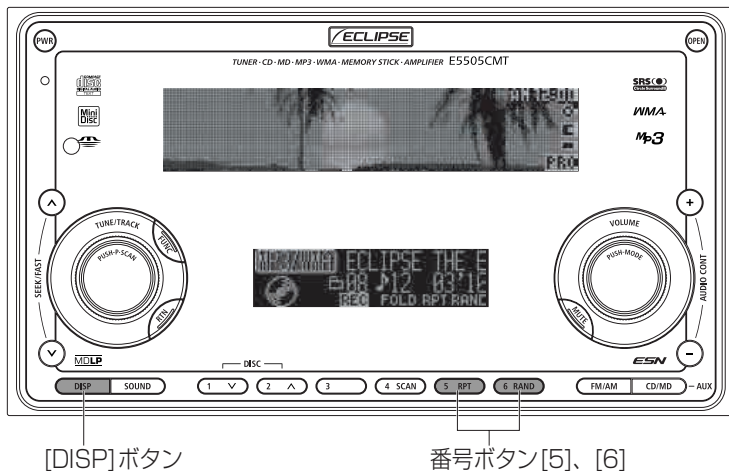
繰り返し演奏する (REPEAT)^{リピート}

1 番号ボタン[5]を押す

短く(1秒未満)押すと、演奏中のファイルを繰り返し演奏します。

長めに(1秒以上)押すと、演奏中のフォルダにある全ファイルを繰り返し演奏します。

再度番号ボタン[5]を押すと解除されます。



ランダム 曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)

1 番号ボタン [6] を押す

短く (1 秒未満) 押すと、演奏中のフォルダにあるファイルを順不同に演奏します。

長めに (1 秒以上) 押すと、全フォルダのファイルを順不同に演奏します。

再度番号ボタン [6] を押すと解除されます。



ワンポイント

- RANDOM を選択中に、番号ボタン [5] を押すと、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度番号ボタン [5] を押すと、RANDOM に戻ります。

繰り返し再生される曲は下記になります。

- ・ 曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
- ・ 次の曲に切り換わるとき：切り換わる次の曲を演奏します。

- まれに同じ曲が続けて演奏 (選択) されることがありますが、故障ではありません。

- 「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「FOLD SCAN」、「RPT」、「FOLD RPT」、「RAND」、「ALL RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

MP3/WMA 演奏時の表示を切り換える

1 [DISP] ボタンを長めに (1 秒以上) 押す

ボタンを押すごとに、次のように表示を切り換えることができます。

フォルダ名/ファイル名^{*1} → ID3/WMAタグ

- ※ 1 : フォルダ名がスクロール表示された後にファイル名がスクロール表示されます。
ファイル名がスクロール表示された後、固定表示になります。



本機で表示することができる文字は、英数字および記号です。それ以外の文字は、* (アスタリスク) で表示されます。

“メモリースティック”部の操作

本機は、ATRAC3(オーディオ圧縮技術)で“MGメモリースティック”に記録された音楽データを再生することができます。

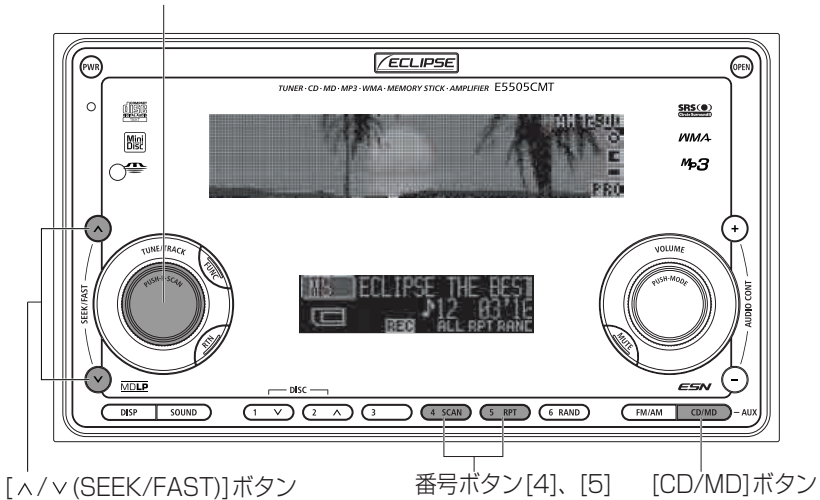
ここでの操作は、すでに“メモリースティック”が挿入されていることを前提に説明します。



ワンポイント

- “MGメモリースティック”にアーティスト名や曲名(トラック名称)などが記録されているときは表示することができます。また、表示文字数は12文字まで表示できます(英数のみ)。
- ATRAC3 Plusで記録された音楽データは再生することができません。
- MP3/WMAで記録された音楽データは再生することができません。

[TUNE/TRACK]ボタン



[△/▽(SEEK/FAST)]ボタン

番号ボタン[4]、[5]

[CD/MD]ボタン

“メモリースティック”を聞く

1 [CD/MD]ボタンを短く(1秒未満)押し“メモリースティック”モードに切り換える

“メモリースティック”モードに切り換わり、演奏が始まります。
[CD/MD]ボタンを押すごとにCDプレーヤー(CDP)→CDオートチェンジャー(CDC)→MDプレーヤー(MDP)→MDチェンジャー(MDC)→“メモリースティック”(MS)の順に切り換わります。

ディスクが挿入されていない、または接続されていない機器は、飛ばして切り換わります。

次の曲に進む/曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回す

右に回す … 次の曲に進む

左に回す … 演奏中の曲の頭(繰り返し回すと前の曲)に戻る

早送り・早戻しする

1 [∧/∨(SEEK/FAST)] ボタンを押しつづける

[∧(SEEK/FAST) ボタン] …… 早送りする

[∨(SEEK/FAST) ボタン] …… 早戻しする

曲の始まりを演奏する (SCAN^{スキャン})

1 番号ボタン[4] を押す

演奏している“メモリースティック”全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。

再度番号ボタン[4]を押すと解除されます。

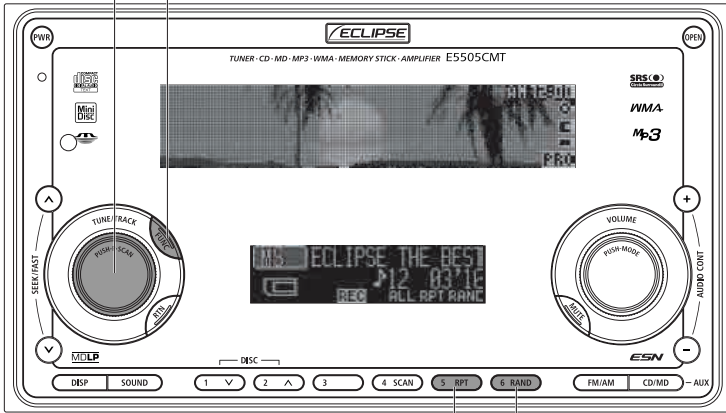
繰り返し演奏する (REPEAT^{リピート})

1 番号ボタン[5] を押す

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

再度番号ボタン[5]を押すと解除されます。

[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン



番号ボタン[5]、[6]

ランダム

曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)

1 番号ボタン[6]を押す

演奏中の“メモリースティック”内の曲を順不同に演奏します。
再度番号ボタン[6]を押すと解除されます。



ワンポイント

- RANDOM を選択中に、番号ボタン[5]を押すと、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度番号ボタン[5]を押すと、RANDOMに戻ります。
繰り返し再生される曲は下記になります。
 - ・ 曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
 - ・ 次の曲に切り換わるとき：切り換わる次の曲を演奏します。
- まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- 「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「RPT」、「RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

“メモリースティック” へ録音する

本機は、内蔵のCDプレーヤー、ラジオおよび別売のCDオートチェンジャーからの音声をATRAC3圧縮技術で圧縮して、“MGメモリースティック”に録音することができます。内蔵のCDプレーヤーからは、デジタルで録音されて、それ以外のオーディオモードでは、アナログで録音されます。アナログ録音中にMUTEやボリュームを0にすると無音で録音されます。ノンストップCDなどを録音した場合は、トラックが正確に区切れない場合があります。

SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、音楽CDなどからデジタル録音したもの（CD-R、CD-RWなど）を“MGメモリースティック”に録音することはできません。また、録音が禁止されている音楽CDからも録音することはできません。



ワンポイント

MP3/WMA ファイルからは録音することはできません。



注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽・音声データについては保証できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽・音声データが正しく録音されていることを確認してください。
- 録音中に本機の電源をOFF、またはエンジンスイッチの操作を行わないでください。データが破損する恐れがあります。
本機の電源をOFF、またはエンジンスイッチの操作を行うときは必ず録音を中止([FUNC]ボタンを1秒以上押し)してから操作してください。

1 録音する“MGメモリースティック”と音楽CDを挿入する

音楽CDから録音する場合は、CDを挿入します。
ラジオから録音する場合は、オーディオモードを切り換えます。

2 CDモードで[FUNC]ボタンを長めに(1秒以上)押す

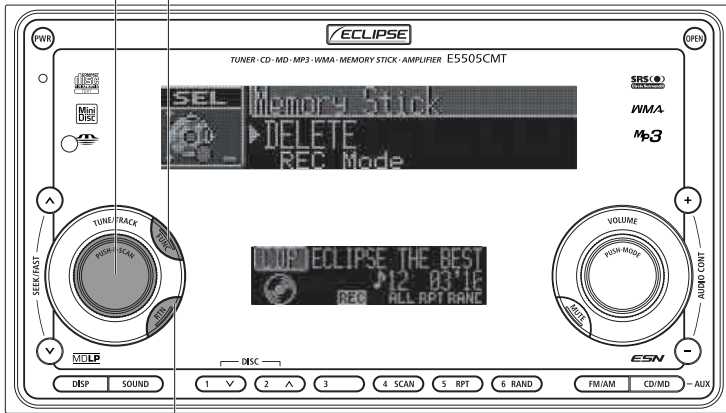
“メモリースティック”への録音が開始されます。
音楽CDから録音する場合、録音方式の設定で録音対象曲を「1 Track」に選択した場合は、[TUNE/TRACK]ボタンで選曲して、録音を開始してください。録音対象曲の演奏が終了すると、録音も終了します。
録音対象曲の設定については、「録音対象曲の選択」(75ページ)を参照してください。
再度[FUNC]ボタンを長めに(1秒以上)押すと録音が中止されます。



ワンポイント

音楽CDから録音する場合、曲の途中で録音を中止すると、その曲は録音されません。

[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン



[RTN]ボタン

録音方式の設定

“MGメモリースティック”の録音方式を切り換えることができます。

- 1** [FUNC] ボタンを短く（1秒未満）押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 2** [TUNE/TRACK] ボタンを回し「Memory Stick」を選択する



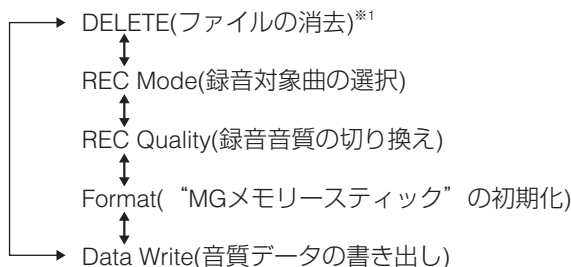
ワンポイント

録音中は“メモリースティック”設定モードを選択することはできません。

- 3** [TUNE/TRACK] ボタンを押す
“メモリースティック”設定モードに切り換わります。

4 [TUNE/TRACK] ボタンを回し設定項目を選択する

ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



※ 1: “メモリースティック”再生時のみ選択できます。再生時以外は表示されません。

5 [TUNE/TRACK] ボタンを押す

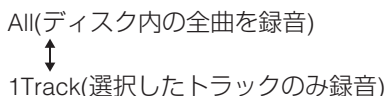
各設定モードに切り換わります。

録音対象曲の選択

録音する曲を選択します。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回し設定項目を選択する

ボタンを回すごとに、録音対象曲モードが次の順に切り換わります。



2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す※ 1

設定内容が反映されます。

3 [RTN] ボタンを押す

“メモリースティック”設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

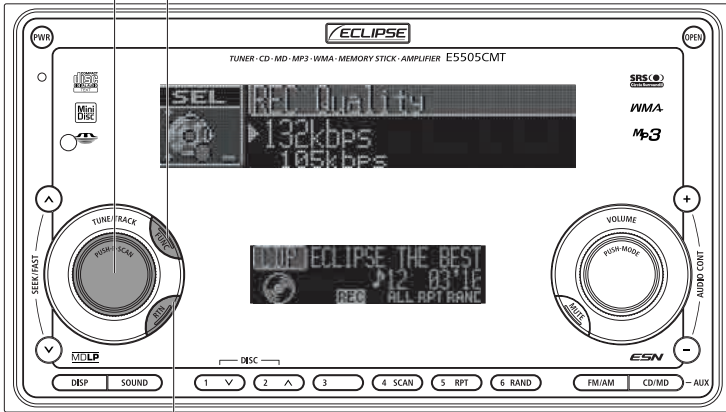
5 [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(3、4の時に [FUNC] ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに [FUNC] ボタン、または [RTN] ボタンでファンクションモードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン



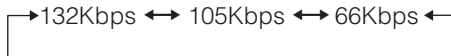
[RTN]ボタン

録音音質の切り換え

録音するときの音質(録音ビットレート)を設定します。録音ビットレートは66Kbps、105Kbps、132Kbpsから選択でき、数字が大きくなるほど、音質は良くなりますが、データ量も大きくなります。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回し録音ビットレートを選択する

ボタンを回すごとに、録音ビットレートが次の順に切り換わります。



2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す※1

設定内容が反映されます。

3 [RTN] ボタンを押す

“メモリースティック”設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

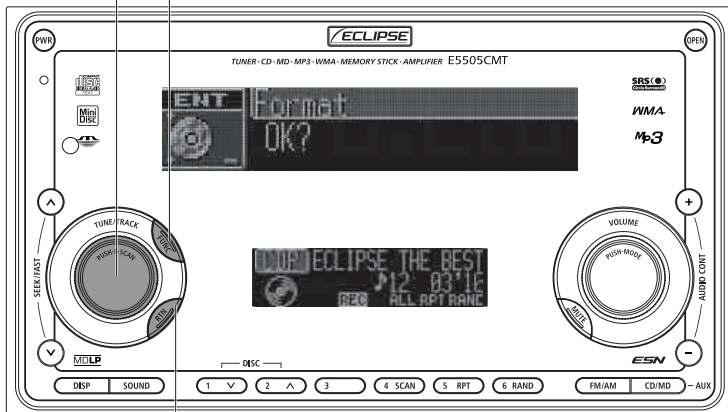
5 [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(**3**、**4**の時に [FUNC] ボタンを押してもファンクションモードは解除されず。)

※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに [FUNC] ボタン、または [RTN] ボタンでファンクションモードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン



[RTN]ボタン

“メモリスティック”をフォーマットする

“MGメモリスティック”のフォーマット(初期化)をすることができます。



ワンポイント

- 新しくご購入されたばかりの“MGメモリスティック”は、そのままでは使用できない場合があります。その場合、本機でフォーマットすることにより、音楽を録音できる状態にする(Hi-Fiディレクトリのフォーマット)ことができます。
- “MGメモリスティック”専用機器以外でフォーマットされた場合、本機で使用できない場合があります。
- フォーマットすると“メモリスティック”内のデータが全て(セキュリティーの登録内容やE-iSERVからダウンロードしたデータも含む)消去されます。
- フォーマット中に本機の電源をOFF、またはエンジンスイッチの操作を行わないでください。データが破損する恐れがあります。

- 1** [FUNC] ボタンを短く(1秒未満)押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 2** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、「Memory Stick」を選択する
- 3** [TUNE/TRACK] ボタンを押す
“メモリスティック”設定モードに切り換わります。
- 4** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、「Format」を選択する

5 [TUNE/TRACK] ボタンを押す

ディスプレイに「OK?」が表示されます。

“メモリースティック”のフォーマットを中止したいときは、[RTN] ボタンを押すと、“メモリースティック”設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。

6 [TUNE/TRACK] ボタンを長めに (2秒以上) 押す

“メモリースティック”がフォーマットされて、“メモリースティック”設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。

7 [RTN] ボタンを押す

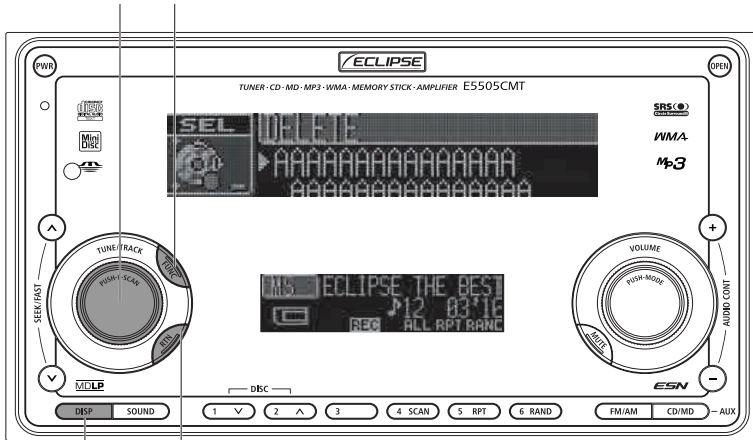
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

8 [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(7の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されず。)

[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン



[DISP]ボタン [RTN]ボタン

ファイルを消去する

“メモリースティック” 再生時に再生中のファイルを消去します。

- 1 [FUNC] ボタンを短く (1 秒未満) 押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 2 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、「Memory Stick」を選択する
- 3 [TUNE/TRACK] ボタンを押す
“メモリースティック” 設定モードに切り換わります。
- 4 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、「DELETE」を選択する
- 5 [TUNE/TRACK] ボタンを押す
ディスプレイに「OK？」が表示されます。
ファイルの消去を中止したいときは、[RTN] ボタンを押すと、
“メモリースティック” 設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6 [TUNE/TRACK] ボタンを長めに (2秒以上) 押す
再生中のファイルが消去されて、“メモリースティック” 設定モードの設定項目の選択表示に戻ります。

7 [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

8 [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(7の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

“メモリースティック” 演奏時の表示を切り換える

“メモリースティック” にタイトル名やアーティスト名、曲名などが記録されているときは、それらを表示させることができます。表示部には、最大15文字まで表示されます。

1 [DISP] ボタンを長めに(1秒以上)押す

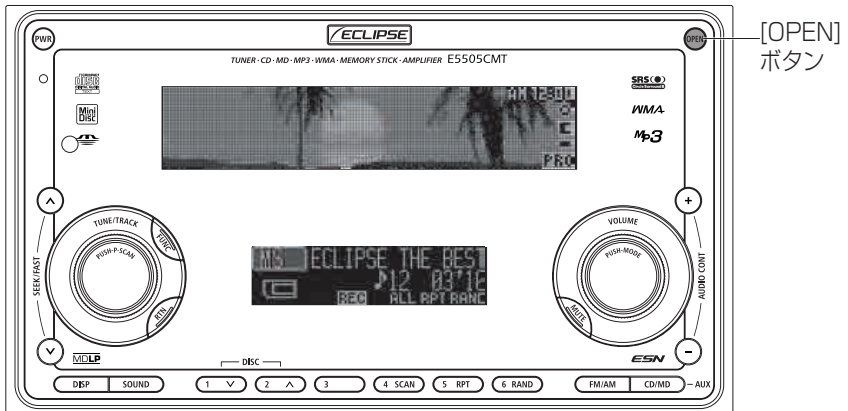
ディスクタイトル、アーティスト名、トラックタイトルの順にスクロール表示されます。

トラックタイトルがスクロール表示された後、固定表示になります。



注意

- 本機の表示部に“メモリースティック”のタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。
- 入力した機器によって、タイトルが正常に表示されないことがあります。
- “メモリースティック”によって全てのタイトル文字が表示されないことがあります。
- 本機で表示することができる文字は、英数字および記号です。それ以外の文字は、* (アスタリスク)で表示されます。



“メモリースティック” を取り出す

- 1 [OPEN] ボタンを押す
前面パネルが開きます。
- 2 “メモリースティック” を軽く1回押して、取り出す
- 3 [OPEN] ボタンを押す
前面パネルが閉じます。



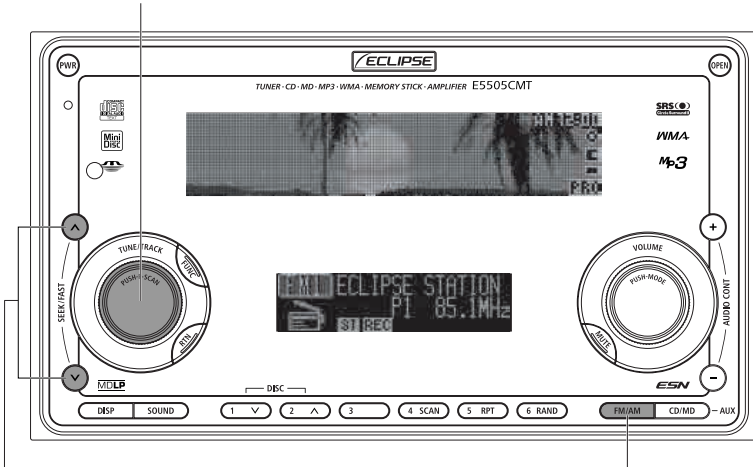
注意

- 前面パネルを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いた前面パネルに体が当たるなどして思わぬけがをするおそれがあります。
- 前面パネルを手で閉閉しないでください。前面パネルが損傷するおそれがあります。
- “メモリースティック” が排出された状態で前面パネルを閉じると“メモリースティック” および前面パネルが損傷するおそれがあります。必ず取り出してから閉じてください。
- “メモリースティック” 録音中は、前面パネルは開きません。
- “メモリースティック” のアクセスランプ点灯中は取り出さないでください。データが破損する恐れがあります。

ラジオ部の操作

本機は、自動と手動の2通りの方法で放送局を記憶することができます。
AM1、2に各6局、FM1、2に各6局の合計24局を記憶することができます。

[TUNE/TRACK]ボタン



[^/v (SEEK/FAST)]ボタン

[FM/AM]ボタン

ラジオを聞く

すでに放送局を記憶させている場合は、任意の番号ボタンを押すと記憶させた放送局を受信することができます。

1 [FM/AM] ボタンを押す

ラジオモードに切り換わります。

2 [FM/AM] ボタンを押してFM/AMバンドを切り換える

ボタンを押すごとにFM1 → FM2 → AM1 → AM2の順に切り換わります。

3 [TUNE/TRACK] ボタンを回す

任意の周波数に合わせます。

右に回す … 周波数の高いほうへ移る

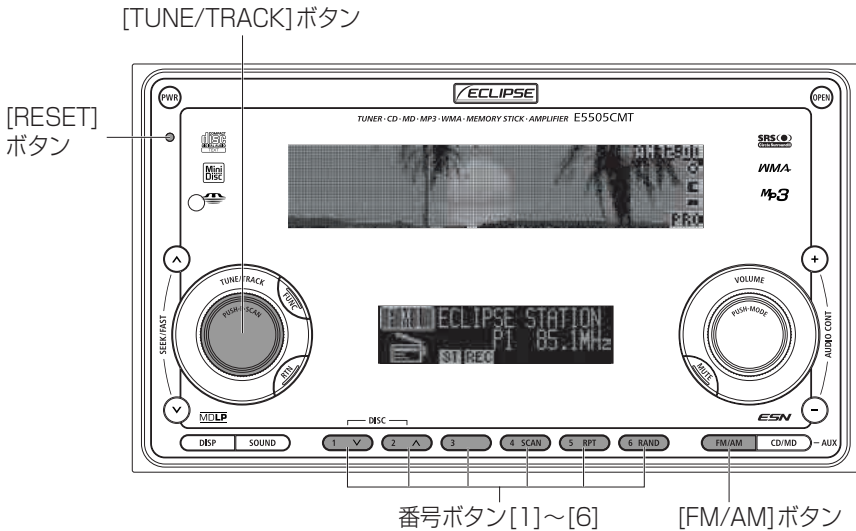
左に回す … 周波数の低いほうへ移る

4 [^/v (SEEK/FAST)] ボタンを押す

電波の強い放送局を自動的に受信します。

[^ (SEEK/FAST)] ボタン …… 周波数の高いほうへ選局

[v (SEEK/FAST)] ボタン …… 周波数の低いほうへ選局



自動的に放送局を記憶させる

[FM/AM] ボタンを押して、FMまたはAM放送を選んでおきます。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを長めに (2秒以上) 押す

「ASM ON」とスクロール表示された後、点滅表示され、受信電波の強い局が周波数の低い方から高い方へ順に番号ボタン[1]~[6]に記憶されます。このボタンをプリセットボタンと呼びます。動作終了後は、「ASM ON」の表示が消え、最後に記憶された放送局を受信し続けます。

以後、ラジオをお聞きになる場合は、プリセットボタンを押してワンタッチで選局できるようになります。



ワンポイント

- ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
- 受信電波が6局未満のときは、残りのプリセットボタンは変更されません。



注意

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断れたとき、または、[RESET] ボタンを操作したときは、プリセットボタンへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。

手動で放送局を記憶させる

[FM AM] ボタンを押して、FM または AM 放送を選んでおきます。

- 1** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、記憶させる周波数に合わせる
- 2** 任意の番号ボタン [1] ~ [6] を長めに (2 秒以上) 押す

選択した放送局が番号ボタンに記憶され、表示部に周波数が表示されます。

このボタンをプリセットボタンと呼びます。

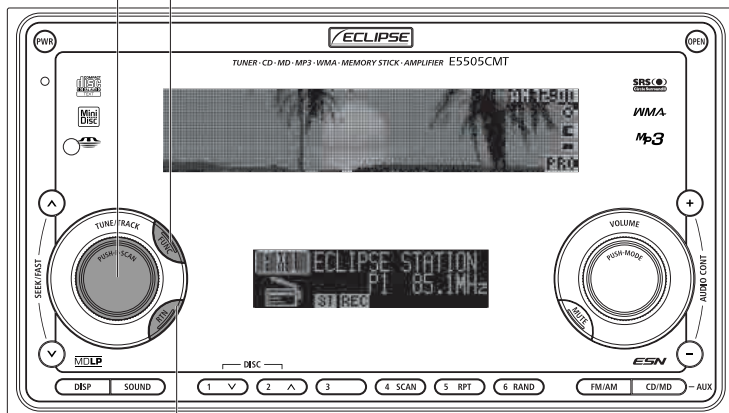
以後、ラジオをお聞きになる場合は、プリセットボタンを押してワンタッチで選局できるようになります。



注意

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたとき、または、[RESET] ボタンを操作したときは、プリセットボタンへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。

[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン



[RTN]ボタン

記憶させた放送局を確認する

自動または手動で記憶させた放送局を呼び出し、5秒間ずつ受信します。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを短く (1 秒未満) 押す

プリセットスキャンが始まります。受信中のプリセットチャンネルの周波数が表示されます。

2 再度 [TUNE/TRACK] ボタンを短く (1 秒未満) 押す

通常の状態に戻ります。

放送局名を表示する (放送局のエリア設定)

受信した周波数に対応する放送局名を表示します。

表示する放送局名は各地域で異なりますのでお使いのエリアを選択してください。



ワンポイント

選択したエリアにその周波数がない場合、放送局名は表示されません。



注意

エリアを選択しても、そのエリアでの周波数をプリセットするものではありません。

1 [FUNC] ボタンを短く (1 秒未満) 押す

ファンクションモードに切り換わります。

- 2** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、「[Station]」を選択する
- 3** [TUNE/TRACK] ボタンを押す※¹
放送局名表示モードに切り換わります。
- 4** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、使用するエリアを選択する
ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。

エリア名	対象となる都道府県
ホッカイドウ	北海道
トウホク	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
カントウ	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野
チュウブ	岐阜、愛知、三重、富山、石川、福井、静岡
キンキ	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
チュウゴク	鳥取、島根、岡山、広島、山口
シコク	徳島、香川、愛媛、高知
キュウシュウ	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
セツテイナシ	

- 5** [TUNE/TRACK] ボタンを押す※¹
設定内容が反映されます。
- 6** [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 7** [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(**6**の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されず。)

※¹: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに [FUNC] ボタン、または [RTN] ボタンでファンクションモードを解除した場合は、設定内容は反映されません。



注意

以下の点にご注意ください。

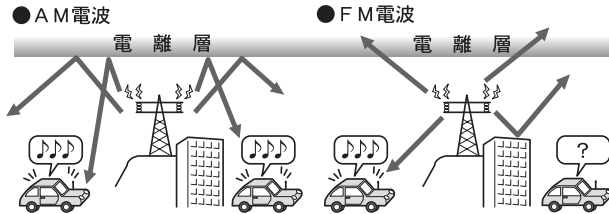
- 500W以下のAM放送局(中継局)および100W以下のFM放送局(中継局)のデータには対応していないため、放送局名が表示されません。
- 設定されているエリア以外の放送局を受信したときは、放送局名が表示されない場合があります。
- 同一エリアに複数の放送局があるときは、次のような表示をする場合があります。
IWATE/NHK……FM岩手とNHK FMの場合
- 放送局によっては、正式な名称を表示しないときがあります。(10文字まで表示します。)
- 本機の放送局名データは、平成16年1月1日現在のものです。

FM放送について

FM放送は、普通のラジオ放送(AM)に比べて、よい音質で聞くことができるうえ、ステレオ受信もできます。しかし、FM電波の性質上、移動する車で受信するには以下の点をご了承ください。

FM電波の直進性

FM電波は、AM電波に比べて周波数が高いため、光に似た性質をもっています。そのため建物や山に電波がさえぎられて、受信できない場合もできます。したがってFM電波の受信範囲は、AM電波に比べてかなり狭くなります。



フェードアウト

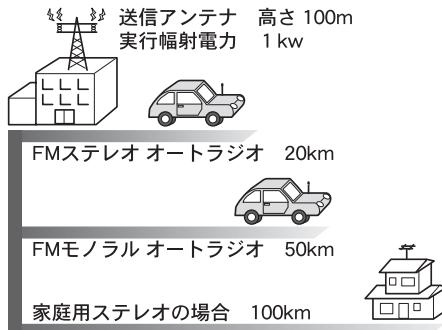
FM放送のように高い周波数の電波は、「物」に反射されやすいという性質をもっています。そのため建物やポール等の障害物の陰を車が通過すると、アンテナに十分な電波が入らなくなり、音が途切れて「シャッ、シャッ」というような雑音が生じる「フェードアウト」(消失)現象が起こることがあります。

FM放送のサービスエリア

家庭用ステレオでFM放送を受信する場合は、アンテナを高くしたり、高感度アンテナを使用できるため、電波が弱くても十分に聞くことができます。

しかし自動車ラジオの場合は、走りながら受信し、アンテナ形状や取り付け位置の制限、車のエンジン雑音の影響などもあって家庭用に比べて良聴地域は狭くなります。

電波を十分にキャッチするために、アンテナは全段のばしてお使いください。

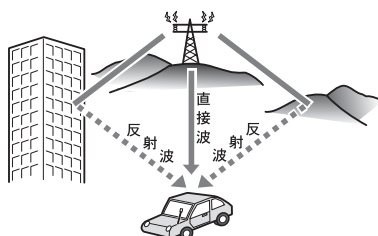


(図の聴取可能範囲は、障害のない平坦地の場合の一例であって、電力、地形等によって大きな差異があります。)

マルチパス

放送局の送信アンテナからの直接波と、建物や山にぶつかって反射した反射波を同時に受信すると、高音域で「ジュル、ジュル」という雑音ができたり、女声のアナウンスがハスキーになったりします。これを「マルチパス」(多重伝播)ひずみといいます。

このような現象は、「フェードアウト」と同様にFM放送のように高い周波数の電波特有の伝わりかたに起因しています。この現象が起こったときは、車を移動させる以外に避けることはできません。



サウンド調整モードの操作

サウンド調整モードについて

本機では通常モード、プロモードの2種類のサウンド調整モードを設けております。

通常モードでは、車室内の音響特性を比較的容易な設定で調整できます。またフロントスピーカー、リアスピーカー、そして必要ならばウーファを追加した基本的なスピーカーシステムに対応しています。

プロモードは、音質特性の各調整項目をより細かいレベルまで調整することができます。またフロント、リア、ノンフェダー出力がHi(高域)、Mid(中域)、Low(低域)出力へ切り換わり、フロント3wayスピーカーシステムにも適した調整が可能です。各モードの詳細については下表および各モードの操作欄を参照ください。

通常モード、プロモード、それぞれのモードで以下の項目を調整することができます。

	通常モード	プロモード
Circle Surround II	○(100ページ参照)	×
パラメトリックイコライザ	○(102ページ参照)	○(122ページ参照)
タイムアライメント	○(簡易) (108ページ参照)	○(133ページ参照)
クロスオーバー	○(113ページ参照)	○(136ページ参照)
マルチハーモナイザ	○(114ページ参照)	○(138ページ参照)
ノンフェダーフェーズ	○(115ページ参照)	○(139ページ参照)
BASS / MID / TREBLE ※1	×	○
ノンフェンダー出力の切り換え	○	○(140ページ参照)
スピーカーレイアウトの切り換え	×	○(141ページ参照)
カスタムモード	×	○(145ページ参照)
E-iSERV連携音響カスタマイズ (タイムアライメント、クロスオーバー)	○(97ページ参照)	○(97ページ参照)
E-iSERV連携音響カスタマイズ (パラメトリックイコライザ)	○(96ページ参照)	○(96ページ参照)

※1 オーディオコントロールモードでの調整(26ページ参照)


SRS Circle Surround II

CS II (SRS Circle Surround II) はモノラルや2チャンネルで収録された音声を4スピーカーシステムで、サラウンド効果を得ることができます。

2つの周波数の差を利用して重低音を感じさせるSRS TruBassと組みあわせることもできます。

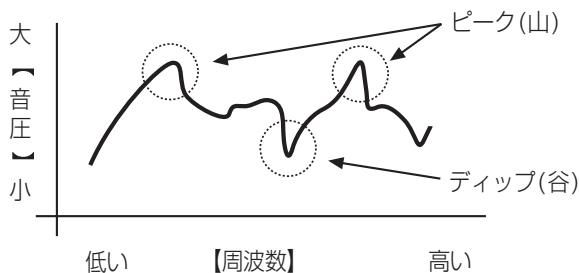
 は SRS Labs, Inc. の商標です。

Circle Surround II 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

Circle Surround II、CS II TruBass、SRS と  記号は SRS Labs, Inc. の商標です。

パラメトリックイコライザ

車室内はシートやガラスなど、さまざまな素材が使われており、それらが音を吸収したり反射したりするため、車室内の周波数特性はピーク(山)やディップ(谷)ができたりしています。



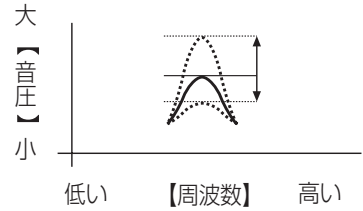
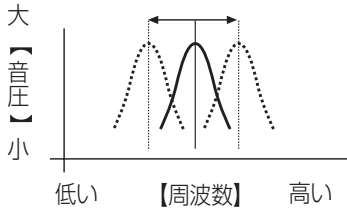
これらのピークやディップを補正し、周波数特性をフラットにするための機能が『イコライザ』です。しかし、通常のグラフィック・イコライザでは、中心周波数、Q(鋭度・帯域幅)が固定されているため、隣接する帯域まで変化してしまい、ピークやディップの特性の乱れを補正するには限界があります。

そこで、中心周波数、Q(鋭度・帯域幅)、ゲインを任意に調整でき、スポット的に狙った帯域だけを微妙に調整することができる機能が『パラメトリック・イコライザ』です。

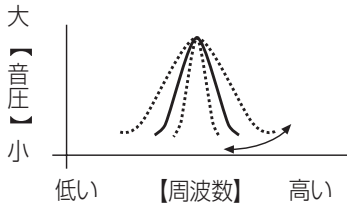
【パラメトリックイコライザの特徴】

①. 中心周波数を可変できる。

②. ゲインを可変できる。



③. Q(鋭度/帯域幅)を可変できる。



本機の通常モードでは、7バンドのパラメトリックイコライザを調整することが可能です。

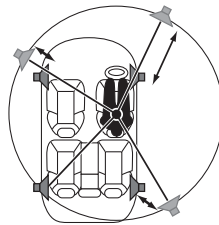
また、プロモードの3-WAYスピーカーシステムでは高域から中域補正用に5バンド、中域から低域補正用に5バンドのパラメトリックイコライザを調整することができ、4スピーカーシステムではフロント、リア補正用に5バンドずつのパラメトリックイコライザを調整することができます。

タイムアライメント

車の場合、スピーカーの取り付け位置と乗車位置の関係は、左右のスピーカーまでの距離が違ふことがほとんどです。このスピーカーまでの距離の違いにより音の到着時間にずれが生じます。その結果、音の定位がずれる(片寄り)・サウンドステージが広がらないなど、不自然な音になってしまいます。

この音の到達時間を補正し、乗車位置に最適になるよう音を定位させ、サウンドステージの広がり感を実現する機能が『タイムアライメント』です。

基本的な調整方法は、各スピーカーまでの距離を実際に測定し、一番遠いスピーカーとの距離差を算出することで、各スピーカーからの音の遅延時間を決定します。



本機の通常モードでは簡易タイムアライメント機能を搭載しており、4項目(ポジションセレクト/車種/ツイータの設定/リアスピーカーの位置設定)を設定するだけで、実際にスピーカーまでの距離を測定しなくてもタイムアライメントの調整を簡易的に行うことが可能です。

またプロモードでは、実際のスピーカーレイアウトに従い、それぞれのスピーカーの遅延時間とレベルを調整することができます。

クロスオーバ

CDなどの音楽ソフトに収録されている周波数帯域は、20Hz～20kHzまでと幅広く、1つのスピーカーでは、この幅広い周波数を再生することは困難です。

そこで複数のスピーカーを用意し、それぞれのスピーカーの周波数帯域(低域・中域・高域など)を分割することで広帯域の再生が可能となります。

取り付けるスピーカーユニットやスピーカーレイアウトによって、各スピーカーの受け持つ周波数帯域を分割し、スピーカーの能力を最大限に引き出し、安定した周波数特性を実現し最適な音響空間を再現するための機能が『クロスオーバ』です。

クロスオーバには高域を再生するためのHPF(ハイパスフィルター)と低域を再生するためのLPF(ローパスフィルター)があります。また、中域を再生するにはHPFとLPFを組み合わせて使用します。



※fc*: カットオフ周波数

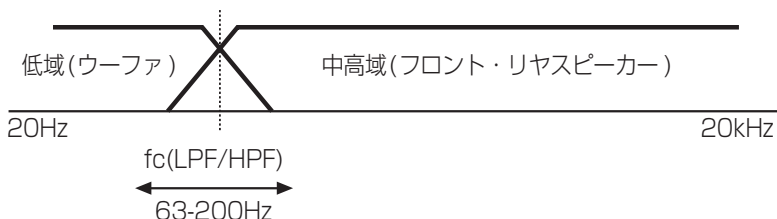
例えば、HPFを調整した場合、その周波数より低い周波数は全く再生されないわけではなく、序々に減衰していきます。この減衰特性を調整する機能が『スロープ』調整です。

フィルターのスロープ特性は、スロープの数値が大きい(例えば12dB/octなど)ほど、傾きが急になり隣の帯域からの音の混ざりが少なくなり、狙った帯域だけを再生することができますが、各スピーカー間の音のつながりが悪くなったり、歪みが発生する場合があります。

- ◆クロスオーバとは、特定の周波数帯域を分割するフィルターの事です。
- ◆HPF(ハイパスフィルター)とは、設定された周波数より低い周波数(低域)をカットし、高い周波数(高域)を通すフィルターです。
- ◆LPF(ローパスフィルター)とは、設定された周波数より高い周波数(高域)をカットし、低い周波数(低域)を通すフィルターです。
- ◆スロープとは、周波数が1オクターブ高く、または低くなったときに減衰する信号レベルです。
数値が大きくなるほど傾きは急になります。また、PASSを選択すると傾きがなくなる(フィルターを通過しない)ため、効果が得られません。

本機の通常モードでは、フロントスピーカーとリヤスピーカー、必要に応じてウーファを追加する基本的なスピーカーシステムに対応しています。この場合のクロスオーバーは、フロント・リヤスピーカーはHPF、ウーファはLPFを調整することにより、フロントまたはリヤスピーカーとウーファの音のつながりをよくすることができます。

また、プロモードでは、フロントスピーカー、リヤスピーカー、ノンフェダー出力がHi、Mid、Low出力に切り換わり、各帯域に応じたスピーカー（高域用：ツィータ、中域用：Mid、低域用：ウーファ）を組み合わせた3Wayで再生するスピーカーシステムに対応しています。この場合のクロスオーバーは高域用スピーカーではHPF、中域用スピーカーではHPF、LPF、低域用スピーカーではLPFで再生帯域を調整し、各スピーカー間の音のつながりをよくすることができます。



マルチハーモナイザ

原音からMP3/WMAやATRAC3に変換するとき、通常人間の耳に聞こえない音域が圧縮されます。マルチハーモナイザはその圧縮された音域をできるだけ原音に戻して再生することができます。クリアで迫力あるサウンドを楽しむことができます。

ノンフェダーフェーズ

ウーファから出力される音の中には、フロント/リヤスピーカーの音と同じ周波数帯域のものがあり、さまざまな車室内条件により、これらの音が互いに打ち消しあってしまうことがあります。この現象を防ぐものがウーファの位相切り替えです。車内条件に合わせて位相をNormal(フロント/リヤスピーカーとウーファの出力タイミングを同じにする)またはReverse(フロント/リヤスピーカーとウーファの出力タイミングをずらす)に設定することができます。

ノンフェダー出力の切り換え

パワーアンプの出力方式(モノラル/ステレオ)を切り換えることができます。接続されているパワーアンプの出力方式に合わせて切り換えてください。

スピーカーレイアウト切り換え

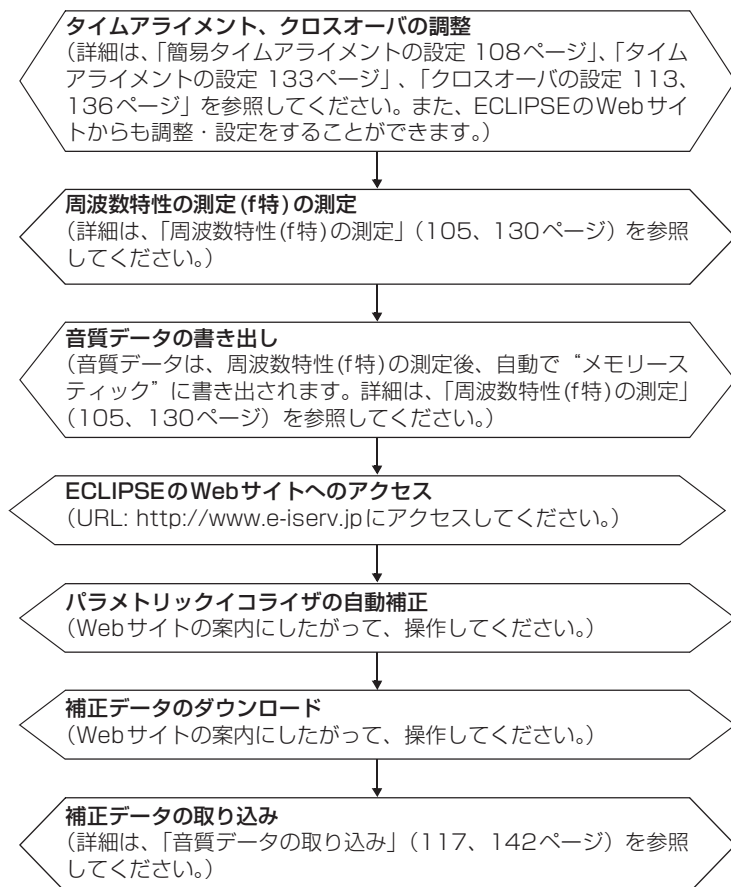
本機のプロモードでは、スピーカーのレイアウト(4スピーカー+サブウーファ/3Wayスピーカー)を切り換えることにより、接続されているスピーカーシステムに合わせた調整をすることができます。

E-iSERV 連携音響カスタマイズ

本機に搭載されているパラメトリックイコライザ、クロスオーバーおよびタイムアライメントの調整は、ECLIPSEのwebサイトからも調整することができます。

●パラメトリックイコライザの自動補正

車室内の周波数特性(f特)の測定結果をもとに、周波数特性の乱れ(ピーク、ディップ)を自動で補正することができます。パラメトリックイコライザの自動補正は次の手順で行います。



●タイムアライメント、クロスオーバ

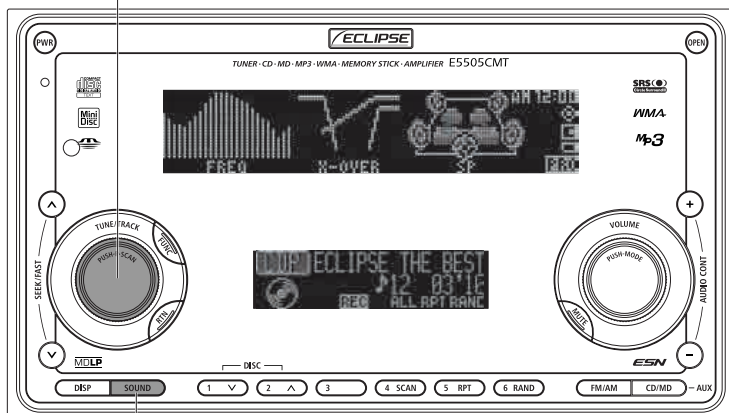
タイムアライメント、クロスオーバの調整は、ECLIPSEのWebサイトからも本機と同様の調整をすることができます。操作手順が画面上に案内されるので、比較的容易に調整をすることができます。ECLIPSEのWebサイトにアクセスして、画面上の案内にしたがって、調整をしてください。その後、“メモリースティック”に調整したデータをダウンロードして、本機に取り込んでください。(調整したデータの取り込みは「音質データの取り込み」(117、142ページ)を参照してください。)

URL : <http://www.e-iserv.jp>

●カスタムモード

ECLIPSEのWebサイトでは、カスタムモードとして、本機で行なうことができる調整よりさらに詳細な調整を行なうことができます。カスタムモードで調整したデータを“メモリースティック”にダウンロードして本機に取り込んでください。(調整したデータの取り込みは「カスタムモードの切り換え」(145ページ)を参照してください。)

[TUNE/TRACK]ボタン



[SOUND]ボタン

サウンド調整モードの切り換え(通常モード↔プロモード)

1 [SOUND] ボタンを5秒以上押す

ボタンを押すごとに通常モード↔プロモードへ切り換わりま

す。
プロモードに切り換えると、表示部に「PRO MODE ON」が

表示されます。
通常モードに切り換えると、表示部に「PRO MODE OFF」が

表示されます。
サウンド調整モードを切り換えるたびに、それぞれのモードで

調整した内容でサウンドが楽しめます。

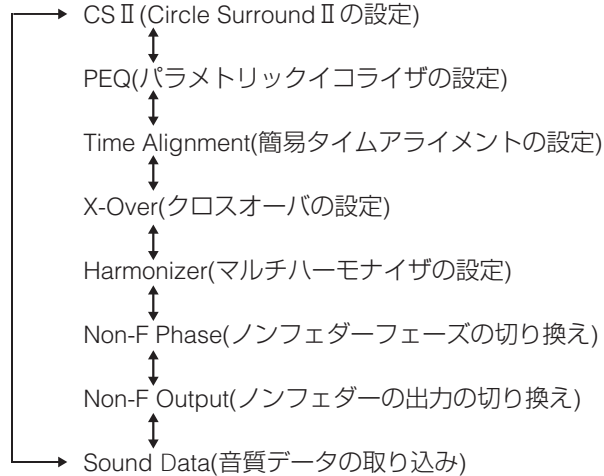


注意

3wayスピーカーシステムを装着している場合、プロモードから通常モードへ切り換えないでください。スピーカーを破損する恐れがあります。

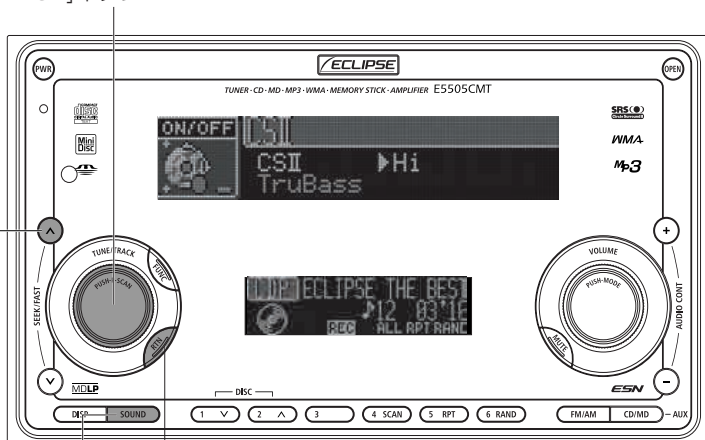
サウンド調整モード(通常モード)での操作

- 1 [SOUND] ボタンを短く(1秒未満)押す**
サウンド調整モード(通常モード)に切り換わります。
- 2 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、設定項目を選択する**
ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



- 3 [TUNE/TRACK] ボタンを押す**
各設定モードに切り換わります。

[TUNE TRACK]ボタン

[∧ (SEEK/
FAST)]
ボタン

[SOUND]ボタン [RTN]ボタン

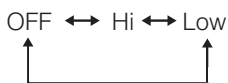
CS II (Circle Surround II) の設定

CS II (SRS Circle Surround II) の効果 (OFF、Low、Hi) を切り換えることができます。

また、SRS TruBassのON/OFFを組み合わせると切り換えることができます。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、CS IIの効果 (OFF/Low/Hi) を切り換える

ボタンを回すごとに、次の順に切り換わります。



2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す※¹

設定内容が反映されます。

3 [∧ (SEEK/FAST)] ボタンを押して、CS II TruBassの効果 (ON/OFF) を切り換える

ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。

4 [RTN] ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

5 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

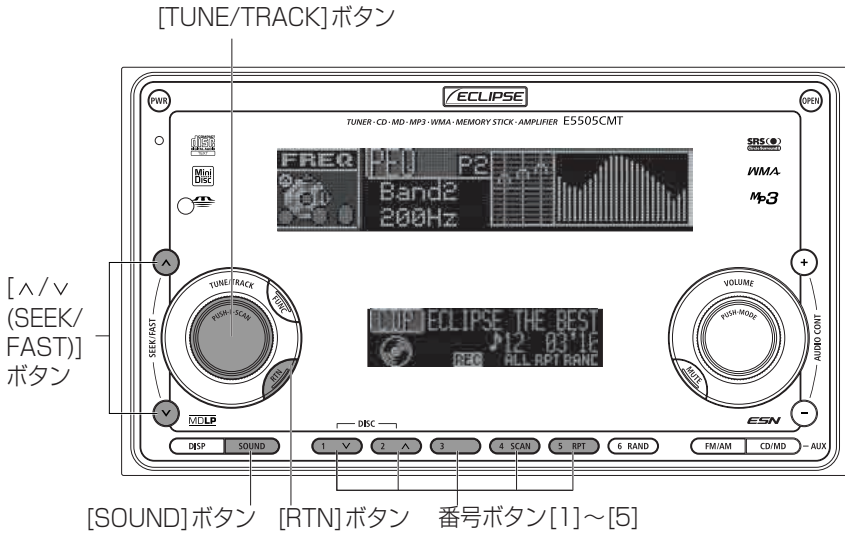
(**4**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに[SOUND]ボタン、または[RTN]ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。



ワンポイント

CS II をOFF以外に設定すると、BAL (BALANCE) および FAD (FADER) の設定は、キャンセルされます。

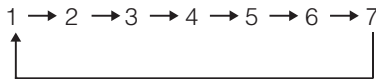


パラメトリックイコライザの設定

7バンドのパラメトリックイコライザを調整することができます。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを押して、パラメトリックイコライザを調整するバンドを選択する

ボタンを押すごとに、次の順に切り換わります。



2 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、パラメトリックイコライザを調整する周波数を選択する

ボタンを回すごとに、各バンドで次の順に切り換わります。

1 : 63Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz

2 : 125Hz ↔ 160Hz ↔ 200Hz

3 : 250Hz ↔ 315Hz ↔ 400Hz ↔ 500Hz

4 : 630Hz ↔ 800Hz ↔ 1kHz ↔ 1.25kHz

5 : 1.6kHz ↔ 2kHz ↔ 2.5kHz ↔ 3.15kHz

6 : 4kHz ↔ 5kHz ↔ 6.3kHz ↔ 8kHz

7 : 10kHz ↔ 12.5kHz ↔ 16kHz

3 [∧/∨(SEEK/FAST)] ボタンを押して、周波数のレベルを調整する

[∧(SEEK/FAST)] ボタン … 大きくなる

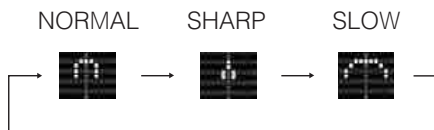
[∨(SEEK/FAST)] ボタン … 小さくなる



ワンポイント

- となり合わせの周波数のレベルを共に最大まで上げると、音が歪む原因となります。
- PEQは、各周波数のレベルが均一になるように調整します。音圧が大きい帯域（ピーク）を小さい帯域に合わせるようにゲインを調整するとより効果的です。

4 番号ボタン [6] を押して、Qカーブパターンを切り換える ボタンを押すごとに、Qカーブパターンが次の順に切り換わります。



5 1～4の操作をくり返して残りのバンドも調整する

6 記憶させる番号ボタン [1]～[5] のいずれかを長めに (2秒以上) 押す

調整したレベルが記憶されます。イコライザを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

パラメトリックイコライザ、タイムアライメントおよびクロスオーバーの調整値を記憶します。

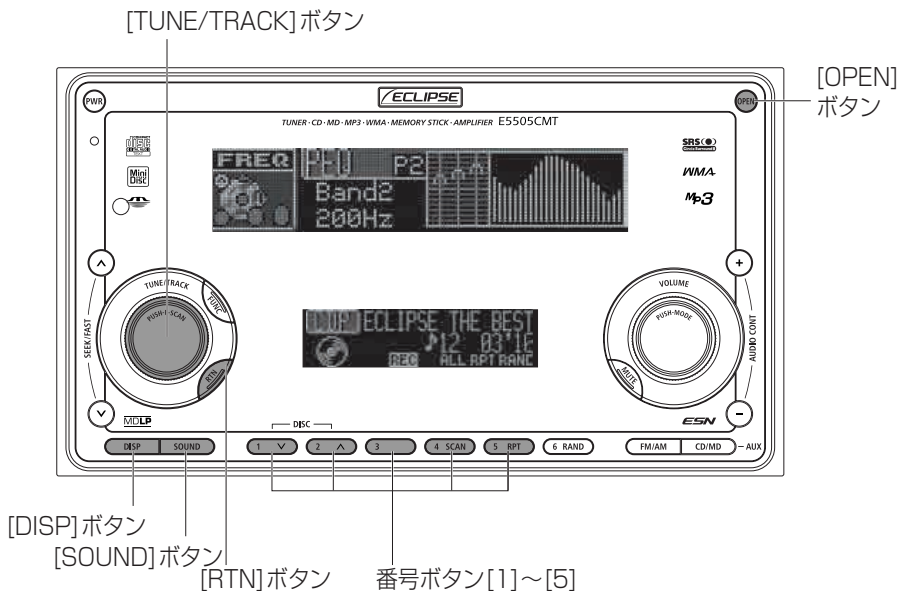
7 [RTN] ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

8 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(7の時に [SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されます。)



記憶したイコライザモードを呼び出す

プリセットボタンを押してあらかじめ記憶したイコライザモードを呼び出します。

- 1** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、PEQを選択する
- 2** [TUNE/TRACK] ボタンを押す
- 3** プリセットボタン[1]~[5]のいずれかを押す
記憶されたプリセットパターンが呼び出されます。
- 4** [RTN] ボタンを押す
通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 5** [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。

(4の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されず。)



ワンポイント

プリセットパターンを呼び出した場合、イコライザモードは

[P ○]

↑ 1~5 (プリセット番号)

と表示されます。

周波数特性 (f特) 測定・表示

車室内の周波数特性 (f特) を測定して、ディスプレイに表示することができます。パラメトリックイコライザを調整するとき、この測定結果を参考にすることができます。また、E-iSERV連携音響カスタマイズでパラメトリックイコライザの自動補正する時にもこの測定結果が必要になります。



ワンポイント

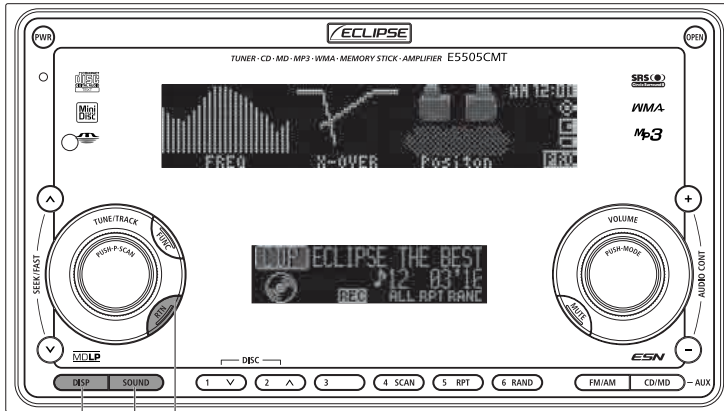
- 周波数特性 (f特) を測定する前に、簡易タイムアライメントの設定 (108ページ) およびクロスオーバーの設定 (113ページ) を行なってください。
- 周波数特性 (f特) 測定時は、CS II およびラウドネスの設定は、自動でキャンセルされます。



注意

- 周波数特性 (f特) 測定中は車外へ出てください。
- 走行中は、周波数特性 (f特) 測定を行なわないでください。計測音により運転の妨げとなり、事故の原因となることがあります。

- 1 付属のマイクを本機のRCAコネクターのL-chに接続する**
マイクの本体は、実際の耳の位置に合わせ、ヘッドレスト等へ取り付けてください。
(取り付ける際は、テープ・ひも等で固定してください。)
- 2 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、PEQを選択する**
- 3 [TUNE/TRACK] ボタンを押す**
パラメトリックイコライザモードに切り換わります。
- 4 [DISP] ボタンを短く (1秒未満) 押す**
測定開始まで10秒間カウントダウンされます。その間に車室内から出てください。
10秒後、ピンクノイズがスピーカーから出力されて、周波数特性 (f特) の測定を開始します。測定中は、「Measuring」がディスプレイに表示されます。測定が終了すると、測定結果がディスプレイに表示されます。測定中にボリュームを調整する ([オーディオコントロール] ボタンを回す) と測定をやり直します。測定を中止する場合は、再度 [DISP] ボタンを押してください。
- 5 [OPEN] ボタンを押して、“メモリースティック” を挿入する**



[RTN] ボタン
[SOUND] ボタン
[DISP] ボタン

6 [DISP] ボタンを長めに（2秒以上）押す

4と同様に周波数特性（f特）の測定が開始されて、“メモリスティック”に測定結果が書き出されます。パラメトリックイコライザ、タイムアライメントおよびクロスオーバーの測定値を書き出します。



ワンポイント

車のドアやウィンドウガラスは、閉めた状態で測定してください。



注意

本機能はf特を簡易的に測定するため、条件によって測定結果に多少の誤差が生じることがあります。また、測定機等を用いた精密な測定には対応していません。

7 [RTN] ボタンを押す

通常モードの選択表示に戻ります。

8 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

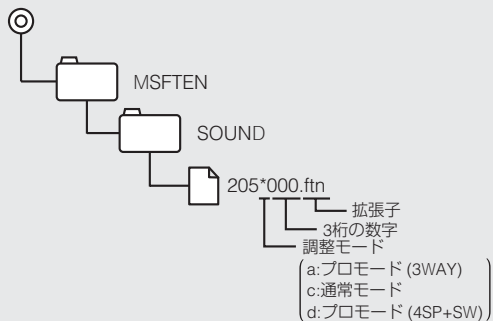
サウンド調整モードが解除されます。

（7の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されます。）

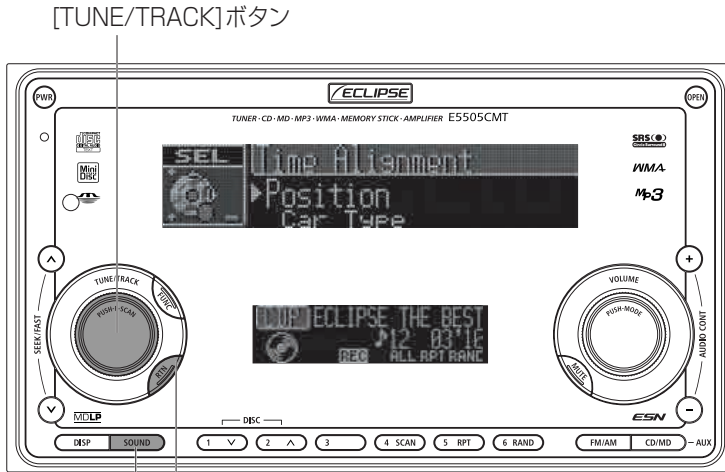


ワンポイント

“メモリースティック”には、次のように書き込まれます。



- E-iSERV 連携音響カスタマイズに必要なフォルダおよびファイルは“メモリースティック”に書き出したときに自動で作成されます。
- E-iSERV ヘデータをアップロードするときは、“メモリースティック”内の **MSFTEN** - **SOUND** にあるファイルを選択してください。

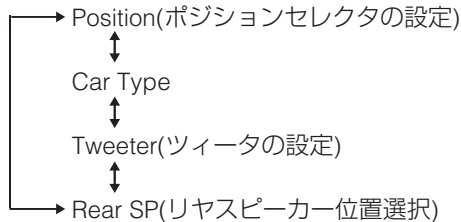


[SOUND]ボタン [RTN]ボタン

簡易タイムアライメントの設定 (TimeAlignment)

各スピーカーから出力される信号を遅延して、各スピーカーから聴取位置までの到達時間を合わせることで、位置特性、周波数特性を補正する機能です。

- 1** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、設定項目を選択する
ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



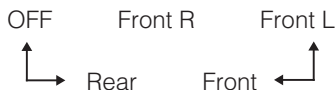
- 2** [TUNE/TRACK] ボタンを押す
各設定モードに切り換わります。

ポジションセレクタの設定 (Position)

聞き手の座席の位置を設定すると、スピーカーから聞き手に音が届くまでの時間を調節し、より自然な音像定位を得られます。本機では4種類のポジションを設定することができます。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回す

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。



2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す※¹

設定内容が反映されます。

3 [RTN] ボタンを押す

タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [RTN] ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

5 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(2、3の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

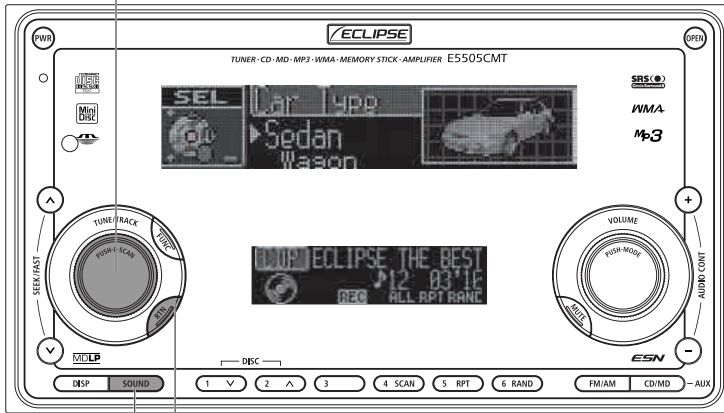
※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに[SOUND] ボタン、または[RTN] ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。



ワンポイント

- CS II が Hi、または Low に設定されている時は、Position を設定することができません。Position を設定する前に CS II を OFF に設定してください。詳細は CS II (Circle Surround II) の設定 (100 ページ) を参照してください。
- ポジションセレクタを設定 (OFF 以外) すると BALANCE/FADER はキャンセルされます。

[TUNE/TRACK]ボタン

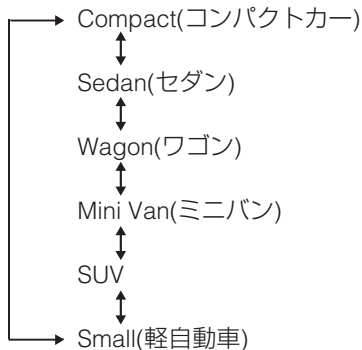


[SOUND]ボタン [RTN]ボタン

車種の選択 (Car Type)

あらかじめ車種別に用意されたタイムアライメントの中から車種に合ったものを選択することで、自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

- 1** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、車種を選択する
ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。



- 2** [TUNE/TRACK] ボタンを押す※¹
設定内容が反映されます。
- 3** [RTN] ボタンを押す
タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [RTN] ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

5 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(**3**、**4**の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

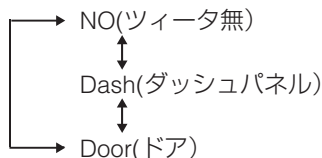
※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに[SOUND] ボタン、または[RTN] ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

ツィータの設定 (Tweeter)

ツィータの設置場所、ツィータの有無を選択することで自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、ツィータの設置場所、ツィータの有無を選択する

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。

**2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す※ 1**

設定内容が反映されます。

3 [RTN] ボタンを押す

タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [RTN] ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

5 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(**3**、**4**の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに[SOUND] ボタン、または[RTN] ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。



ワンポイント

フロントスピーカーがダッシュパネルに取り付けられている場合、ツィータを取り付けていなくてもツィータ設定をDashにすると効果的です。



リヤスピーカー位置選択 (Rear SP)

リヤスピーカーの設置場所を選択することで自動的に最適なタイムアライメントを設定することができます。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、リヤスピーカーの設置場所を選択する

ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。

Door (ドア) ↔ Others (その他)

2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す※ 1

設定内容が反映されます。

3 [RTN] ボタンを押す

タイムアライメントの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [RTN] ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

5 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(3、4の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに[SOUND] ボタン、または[RTN] ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

クロスオーバーの設定 (X-Over)

フロント・リヤスピーカーのHPF(ハイパスフィルター)/ウーファのLPF(ローパスフィルター)の周波数を63Hz~200Hzの範囲で選択することができます。(HPFとLPFのカットオフ周波数は同じです。)

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、カットオフ周波数を選択する

ボタンを回すごとに、周波数が次の順に切り換わります。
63Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔ 125Hz ↔ 160Hz ↔ 200Hz

2 [▲/▼(SEEK/FAST)] ボタンを押して、スロープを設定する

ボタンを押すごとに、スロープが次の順に切り換わります。

PASS → 6dB/oct → 12dB/oct → 18dB/oct → 24dB/oct



ワンポイント

ウーファを接続していない場合は、スロープ調整を「PASS」に設定してください。(スロープを「PASS」以外に設定すると、スピーカーからの低域が遮断されます。)

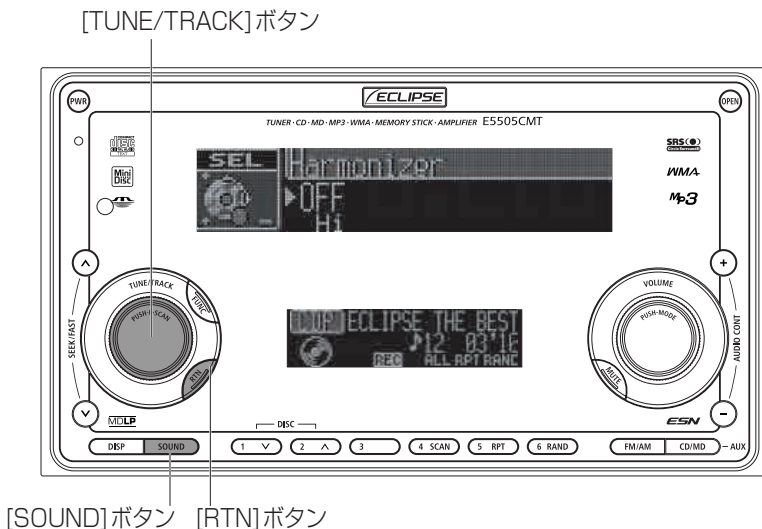
3 [RTN] ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(3の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



マルチハーモナイザの設定 (Harmonizer)

MP3/WMAやATRAC3の圧縮処理により損なわれた音域をできるだけ原音に戻す補正レベルを設定することができます。

- 1 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、補正レベルを選択する
ボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。



- 2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す※ 1
設定内容が反映されます。
- 3 [RTN] ボタンを押す
通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 4 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(3の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに[SOUND] ボタン、または[RTN] ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

ノンフェーダーフェーズの切り換え (Non-F Phase)

位相を切り換えることでフロント・リヤスピーカーとウーファの音のつながりを改善することができます。

位相を切り換え、違和感なく音がつながる方を選んでください。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、**正相 (NORMAL)**、**逆相 (REVERSE)** を選択する

2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す※ 1

設定内容が反映されます。

3 [RTN] ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

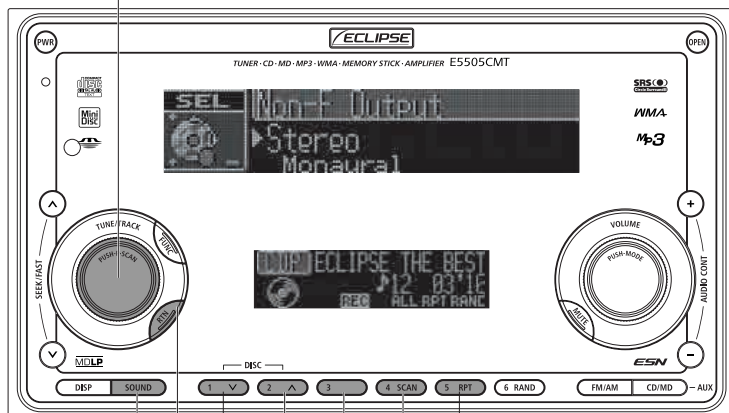
4 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(**3**の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに [SOUND] ボタン、または [RTN] ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

[TUNE/TRACK]ボタン



[SOUND]ボタン [RTN]ボタン 番号ボタン[1]～[5]

NON-FADERの出力切り換え (Non-F Output)

NON-FADER の出力方式をステレオとモノラルに切り換えることができます。接続されているサブウーファの方式に合わせて、切り換えてください。

- 1 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、「Stereo」、または「Monaural」を選択する
- 2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す※¹
設定内容が反映されます。
- 3 [RTN] ボタンを押す
通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 4 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(3の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに[SOUND]ボタン、または[RTN]ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。



Monaural 選択時は、左右の音声出力が左側のみに出力されます。(右側には音声は出力されません。)

音質データの取り込み (Sound Data)

E-iSERV 連携音響カスタマイズから CD-R、または“メモリースティック”にダウンロードした音質データを本機に取り込み、記憶することができます。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、音質データを取り込むメディア (Disc、または MS) を選択する

2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す

前面パネルが自動で開きます。

3 音質データを取り込むメディア (CD-R、または“メモリースティック”) を挿入する

4 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、ファイルを選択する

5 [TUNE/TRACK] ボタンを押して、取り込むファイルを決定する

6 記憶させる番号ボタン [1] ~ [5] のいずれかを長めに (2秒以上) 押す

選択した番号ボタン [1] ~ [5] に音質データが取り込まれます。

CD-R で取り込んだ場合は、取り込み完了後、CD-R が自動で排出されます。

“メモリースティック” で取り込んだ場合は、“メモリースティック” を取り出します。

7 [RTN] ボタンを押す

通常モードの設定項目の選択表示に戻ります。

8 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

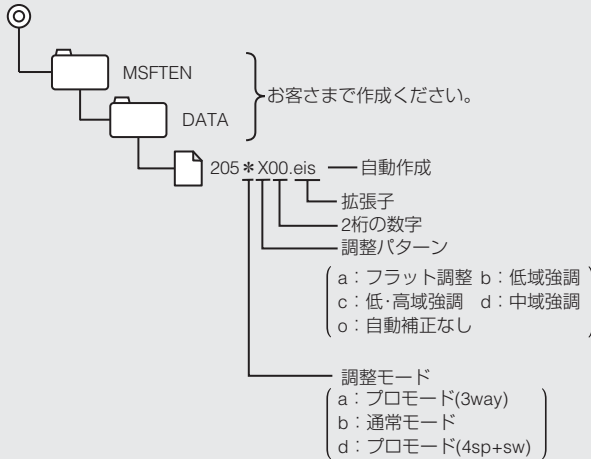
サウンド調整モードが解除されます。

(**7** の時に [SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



< “メモリースティック” を使用する場合 >

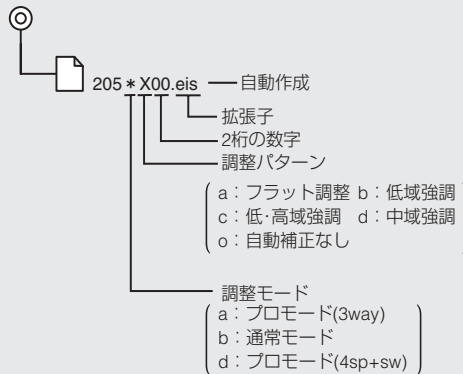
- ECLIPSEのWebサイト (E-iSERV) からダウンロードしたデータは次のようにフォルダを作成して、“メモリースティック” に保存してください。



- 本機に取り込みが可能なファイルは、ECLIPSEのWebサイト (E-iSERV) からダウンロードされたときに自動で作成されます。

< CD-Rを使用する場合 >

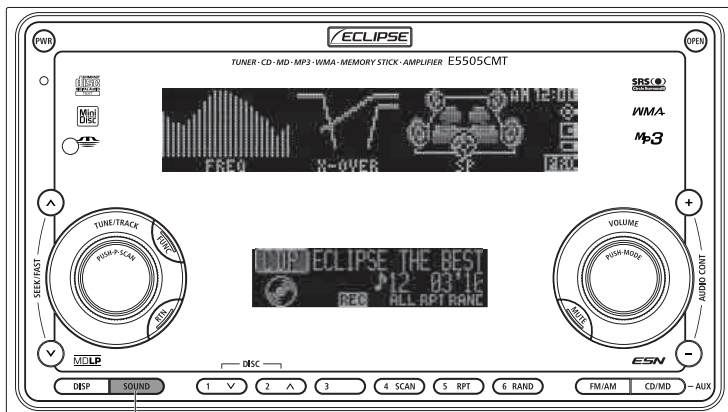
- ECLIPSEのWebサイト (E-iSERV) からダウンロードしたデータは次のようにCD-Rのルートディレクトリに保存してください。



- 本機に取り込むことのできるCD-Rのフォーマットは、次のようになります。

- ・ CD-ROM (MODE1)
- ・ CD-ROM (MODE2_FORM1)

MODE2_FORM2 で書込みした場合は本機に取り込むことができません。



[SOUND]ボタン

サウンド調整モードの切り換え (通常モード↔プロモード)

1 [SOUND] ボタンを5秒以上押す

ボタンを押すごとに通常モード↔プロモードへ切り換わりません。

プロモードに切り換えると、表示部に「PRO MODE ON」が表示されます。

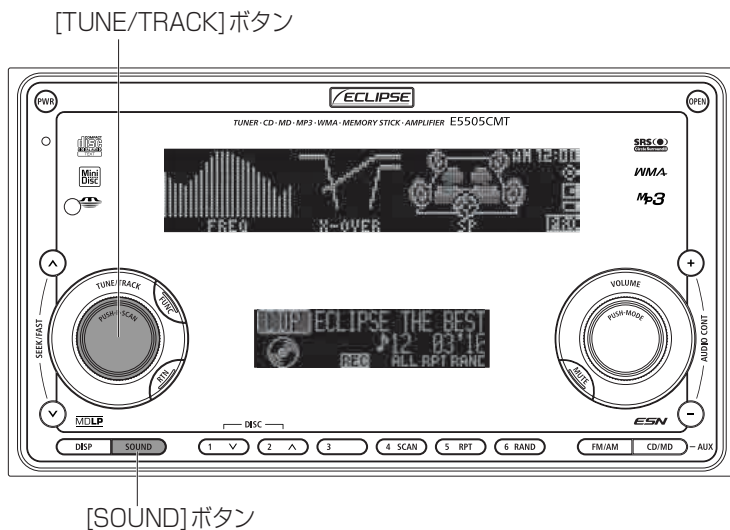
通常モードに切り換えると、表示部に「PRO MODE OFF」が表示されます。

サウンド調整モードを切り換えるたびに、それぞれのモードで調整した内容でサウンドが楽しめます。



注意

3wayスピーカーシステムを装着している場合、プロモードから通常モードへ切り換えないでください。スピーカーを破損する恐れがあります。



サウンド調整モード(プロモード)での操作

1 [SOUND] ボタンを短く(1秒未満)押す

サウンド調整モード(プロモード)に切り換わります。

2 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、設定項目を選択する

ボタンを回すごとに、設定項目が次の順に切り換わります。



3 [TUNE/TRACK] ボタンを押す

各設定モードに切り換わります。

パラメトリックイコライザの設定 (PEQ)

スピーカーレイアウト4SP+SW設定時

スピーカーレイアウトが4 SP+SWで設定されている場合のパラメトリックイコライザは、フロントチャンネルおよびリヤチャンネルに各5バンド(計10バンド)を設定することができます。各バンドに対して、設定することができる周波数は、下表のようになります。

スピーカーレイアウトの設定は、「スピーカーレイアウトの切り換え(SP Layout)」(141 ページ)を参照してください。

チャンネル	バンド	設定可能な周波数 (Hz)
フロント	F1 F2 F3	63, 80, 100, 125, 160, 200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1k, 1.25k, 1.6k, 2.0k, 2.5k, 3.15k, 4.0k, 5.0k, 6.3k, 8.0k, 10k, 12.5k, 16k
	F4 F5	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1k, 1.25k, 1.6k, 2.0k, 2.5k, 3.15k, 4.0k, 5.0k, 6.3k, 8.0k, 10k, 12.5k, 16k
リヤ	R1 R2 R3	63, 80, 100, 125, 160, 200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1k, 1.25k, 1.6k, 2.0k, 2.5k, 3.15k, 4.0k, 5.0k, 6.3k, 8.0k, 10k, 12.5k, 16k
	R4 R5	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1k, 1.25k, 1.6k, 2.0k, 2.5k, 3.15k, 4.0k, 5.0k, 6.3k, 8.0k, 10k, 12.5k, 16k



ワンポイント

同一のバンド内では、同一の周波数を設定することができません。設定したバンドの周波数を変更するか、他のバンドの周波数を別の周波数に設定してください。

本機では、初期設定として、フロント、リヤチャンネルにそれぞれ5バンドが設定されています。(下記表の白部参照)

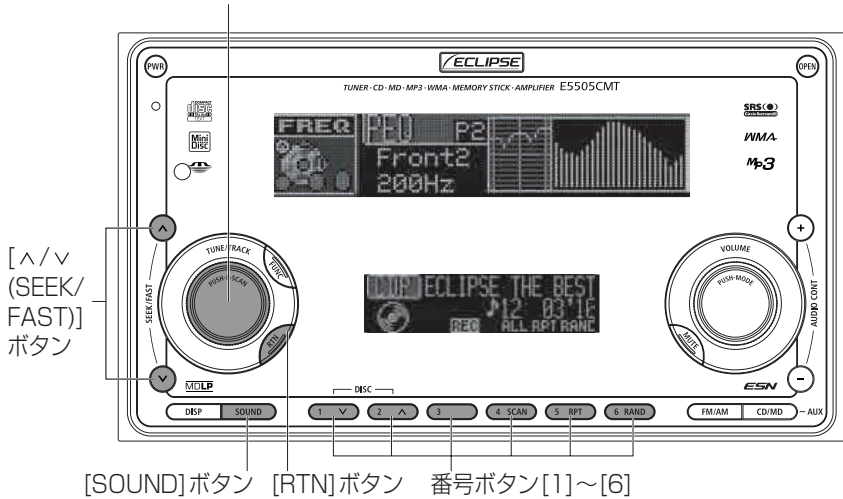
リヤチャンネル

R 1	63 Hz	80 Hz	100 Hz	125 Hz	160 Hz	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz
R 2	63 Hz	80 Hz	100 Hz	125 Hz	160 Hz	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz
R 3	63 Hz	80 Hz	100 Hz	125 Hz	160 Hz	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz
					R 4	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz
					R 5	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz
F 1	63 Hz	80 Hz	100 Hz	125 Hz	160 Hz	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz
F 2	63 Hz	80 Hz	100 Hz	125 Hz	160 Hz	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz
F 3	63 Hz	80 Hz	100 Hz	125 Hz	160 Hz	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz
					F 4	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz
					F 5	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz

フロントチャンネル

例：フロントチャンネルのF 1バンドに周波数2.0kHzを設定する場合。周波数2.0kHzは、F 2バンドに設定されているため、F2バンドをフロントチャンネル内で設定されていない別の周波数に変更する必要があります。変更後、周波数2.0kHzはどのバンドにも設定されていないので、フロントチャンネルのF1バンドに周波数2.0kHzを設定することができます。

[TUNE/TRACK]ボタン



[↑/↓
(SEEK/
FAST)]
ボタン

[SOUND]ボタン [RTN]ボタン 番号ボタン[1]～[6]

1 [TUNE/TRACK]ボタンを押して、調整するチャンネルとバンドを切り換える

ボタンを押すごとに、設定が次の順に切り換わります。
F1 → F2 → F3 → F4 → F5 → R1 → R2 → R3 → R4 → R5 →

2 [TUNE/TRACK]ボタンを回して、調整する周波数を選択する

ボタンを回すごとに、各バンドで周波数が次の順に切り換わります。

F1 ~ F3、R1 ~ 3 : 63Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔
125Hz ↔ 160Hz ↔ 200Hz ↔
250Hz ↔ 315Hz ↔ 400Hz ↔
500Hz ↔ 630Hz ↔ 800Hz ↔
1kHz ↔ 1.25kHz ↔ 1.6kHz ↔
2kHz ↔ 2.5kHz ↔ 3.15kHz ↔
4kHz ↔ 5kHz ↔ 6.3kHz ↔
8kHz ↔ 10kHz ↔ 12.5kHz ↔
16kHz

F4、F5、R4、R5 : 200Hz ↔ 250Hz ↔ 315Hz ↔
400Hz ↔ 500Hz ↔ 630Hz ↔
800Hz ↔ 1kHz ↔ 1.25kHz ↔
1.6kHz ↔ 2kHz ↔ 2.5kHz ↔
3.15kHz ↔ 4kHz ↔ 5kHz ↔
6.3kHz ↔ 8kHz ↔ 10kHz ↔
12.5kHz ↔ 16kHz

3 [∧/∨(SEEK/FAST)] ボタンを押して、周波数のレベルを調整する

[∧(SEEK/FAST)] ボタン … 大きくなる

[∨(SEEK/FAST)] ボタン … 小さくなる

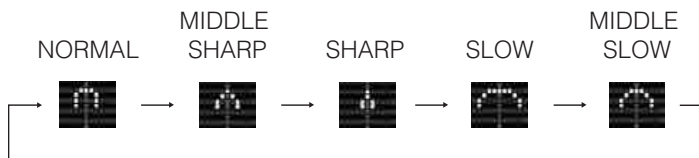


ワンポイント

- となり合わせの周波数のレベルを共に最大まで上げると、音が歪む原因となります。
- PEQは、各周波数のレベルが均一になるように調整します。音圧が大きい帯域（ピーク）を小さい帯域に合わせるようにゲインを調整するとより効果的です。

4 番号ボタン [6] を短く (1 秒未満) 押して、Qカーブパターンを切り換える

ボタンを押すごとに、Qカーブパターンが次の順に切り換わります。



5 1～4の操作をくり返して残りのバンドも調整する

各バンドで同じ周波数は選択できません。

6 記憶させる番号ボタン [1]～[5]のいずれかを長めに(2秒以上) 押す

調整したレベルが記憶されます。イコライザを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

7 [RTN] ボタンを押す

プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。

8 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(7の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されず)

スピーカーレイアウト3WAY設定時

スピーカーレイアウトが3WAYで設定されている場合のパラメトリックイコライザは、Midチャンネル(63Hz～16kHzに25の周波数)、Hiチャンネル(200Hz～16kHzに20の周波数)に各5バンド(計10バンド)を設定することができます。本機では、初期設定として、Mid、Hiチャンネルのそれぞれに5バンドが設定されています。(下記表の白部参照。)

スピーカーレイアウトの設定は、「スピーカーレイアウトの切り換え(SP Layout)」(141 ページ)を参照してください。



ワンポイント

Hiチャンネル(H1～H5バンド)内では、同一の周波数を設定することができません。設定したバンドの周波数を変更するか、他のバンドの周波数を別の周波数に設定してください。

Midチャンネル

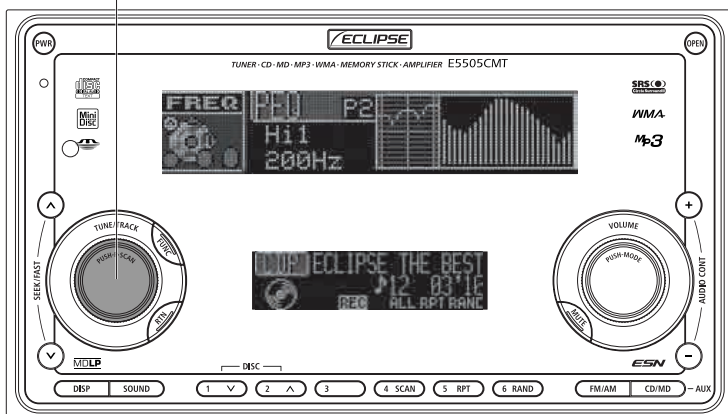
M 1	63 Hz	80 Hz	100 Hz	125 Hz	160 Hz	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz
M 2	63 Hz	80 Hz	100 Hz	125 Hz	160 Hz	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz
M 3	63 Hz	80 Hz	100 Hz	125 Hz	160 Hz	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz
M 4	63 Hz	80 Hz	100 Hz	125 Hz	160 Hz	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz
M 5	63 Hz	80 Hz	100 Hz	125 Hz	160 Hz	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz

H 1	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz
H 2	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz
H 3	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz
H 4	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz
H 5	200 Hz	250 Hz	315 Hz	400 Hz	500 Hz	630 Hz	800 Hz	1.0k Hz	1.25k Hz	1.6k Hz	2.0k Hz	2.5k Hz	3.15k Hz	4.0k Hz	5.0k Hz	6.3k Hz	8.0k Hz	10k Hz	12.5k Hz	16k Hz

Hiチャンネル

例：HiチャンネルのH2バンドに周波数2.0kHzを設定する場合。周波数2.0kHzは、H1バンドに設定されているため、H1バンドをHiチャンネル内で設定されていない別の周波数に変更する必要があります。変更後、周波数2.0kHzはどのバンドにも設定されていないので、HiチャンネルのH2バンドに周波数2.0kHzを設定することができます。

[TUNE/TRACK]ボタン



1 [TUNE/TRACK] ボタンを押して、調整するチャンネルとバンドを切り換える

ボタンを押すごとに、設定が次の順に切り換わります。

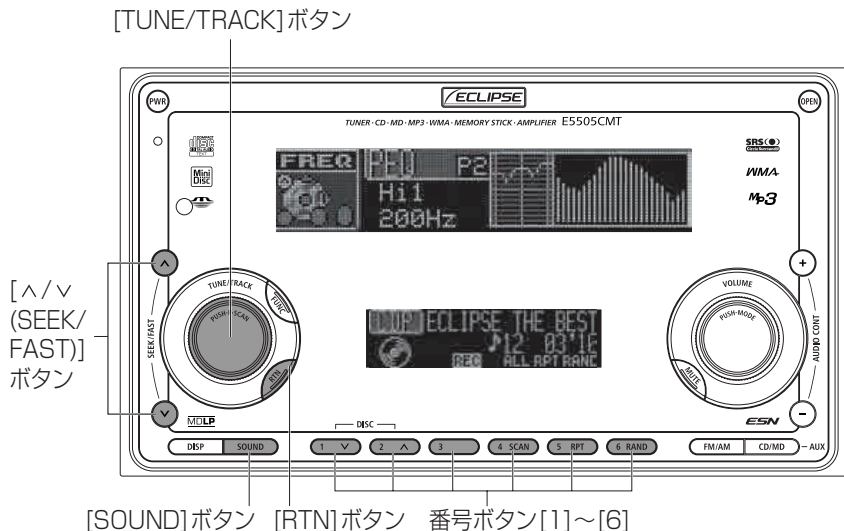
Hi1 → Hi2 → Hi3 → Hi4 → Hi5 → Mid1 → Mid2 → Mid3 → Mid4 → Mid5 →

2 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、調整する周波数を選択する

ボタンを回すごとに、各チャンネルで周波数が次の順に切り換わります。

Mid : 63Hz → 80Hz → 100Hz → 125Hz → 160Hz → 200Hz → 250Hz → 315Hz → 400Hz → 500Hz → 630Hz → 800Hz → 1kHz → 1.25kHz → 1.6kHz → 2kHz → 2.5kHz → 3.15kHz → 4kHz → 5kHz → 6.3kHz → 8kHz → 10kHz → 12.5kHz → 16kHz →

Hi : 200Hz → 250Hz → 315Hz → 400Hz → 500Hz → 630Hz → 800Hz → 1kHz → 1.25kHz → 1.6kHz → 2kHz → 2.5kHz → 3.15kHz → 4kHz → 5kHz → 6.3kHz → 8kHz → 10kHz → 12.5kHz → 16kHz →



3 [∧/∨(SEEK/FAST)] ボタンを押して、周波数のレベルを調整する

[∧(SEEK/FAST)] ボタン…大きくなる
[∨(SEEK/FAST)] ボタン…小さくなる

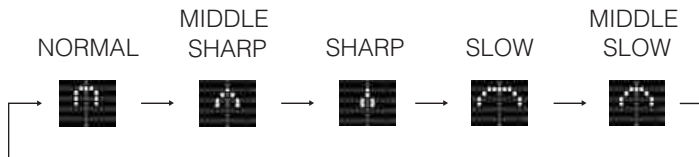


ワンポイント

- となり合わせの周波数のレベルを共に最大まで上げると、音が歪む原因となります。
- PEQは、各周波数のレベルが均一になるように調整します。音圧が大きい帯域（ピーク）を小さい帯域に合わせるようにゲインを調整するとより効果的です。

4 番号ボタン [6] を短く (1 秒未満) 押して、Qカーブパターンを切り換える

ボタンを押すごとに、Qカーブパターンが次の順に切り換わります。



5 1～4の操作をくり返して残りのバンドも調整する 各バンドで同じ周波数は選択できません。

- 6 記憶させる番号ボタン[1]～[5]のいずれかを長めに(2秒以上) 押す
調整したレベルが記憶されます。イコライザを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。
- 7 [RTN] ボタンを押す
プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 8 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(7の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

記憶したイコライザモードを呼び出す

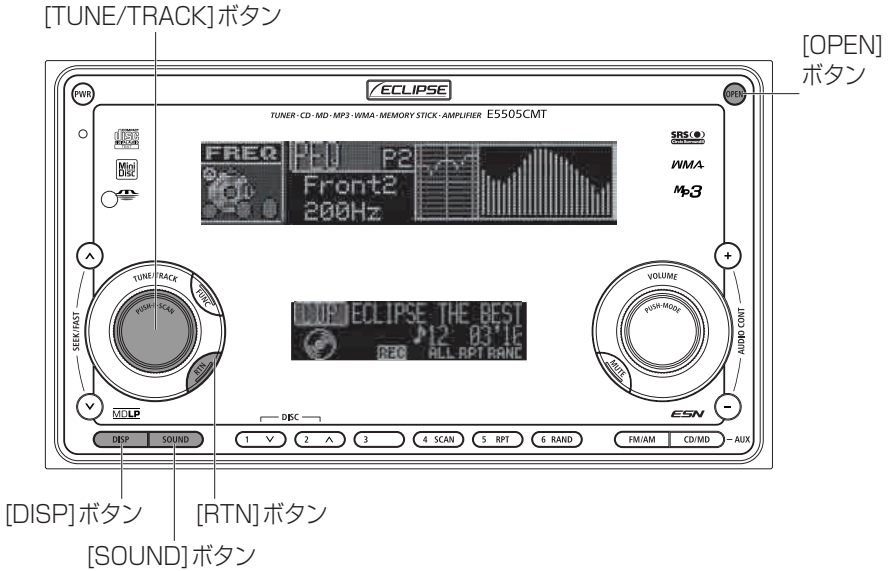
プリセットボタンを押してあらかじめ記憶したイコライザモードを呼び出します。

- 1 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、PEQを選択する
- 2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す
- 3 プリセットボタン[1]～[5]のいずれかを押す
記憶されたプリセットパターンが呼び出されます。
- 4 [RTN] ボタンを押す
プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 5 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(4の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)



ワンポイント

プリセットパターンを呼び出した場合、イコライザモードは
「P ○」
↑ 1～5 (プリセット番号)
と表示されます。



周波数特性 (f特) 測定・表示

車室内の周波数特性 (f特) を測定して、ディスプレイに表示することができます。パラメトリックイコライザを調整するとき、この測定結果を参考にすることができます。また、E-iSERV 連携音響カスタマイズでパラメトリックイコライザの自動補正する時にもこの測定結果が必要になります。



ワンポイント

周波数特性 (f特) を測定する前に、タイムアライメントの設定 (133ページ) およびクロスオーバーの設定 (136ページ) を行なってください。



注意

- 周波数特性 (f特) 測定中は車外へ出てください。
- 走行中は、周波数特性 (f特) 測定を行なわないでください。計測音により運転の妨げとなり、事故の原因となることがあります。

- 1** 付属のマイクを本機のRCAコネクターのL-chに接続する
マイクの本体は、実際の耳の位置に合わせ、ヘッドレスト等へ取り付けてください。
(取り付ける際は、テープ・ひも等で固定してください。)
- 2** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、PEQを選択する
- 3** [TUNE/TRACK] ボタンを押す
パラメトリックイコライザモードに切り換わります。

4 [DISP] ボタンを短く (1秒未満) 押す

測定開始まで10秒間カウントダウンされます。その間に車室内から出てください。

10秒後、ピンクノイズがスピーカーから出力されて、周波数特性 (f特) の測定を開始します。測定が終了すると、測定結果がディスプレイに表示されます。測定中にボリュームを調整する ([オーディオコントロール] ボタンを回す) と測定をやり直します。測定を中止する場合は、再度 [DISP] ボタンを押してください。

5 [OPEN] ボタンを押して、“メモリースティック” を挿入する**6 [DISP] ボタンを長めに (2秒以上) 押す**

4と同様に周波数特性 (f特) の測定が開始されて、“メモリースティック” に測定結果が書き出されます。



ワンポイント

車のドアやウインドウガラスは、閉めた状態で測定してください。



注意

本機能は f 特を簡易的に測定するため、条件によって測定結果に多少の誤差が生じることがあります。また、測定機等を用いた精密な測定には対応していません。

7 [RTN] ボタンを押す

プロモードの選択表示に戻ります。

8 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

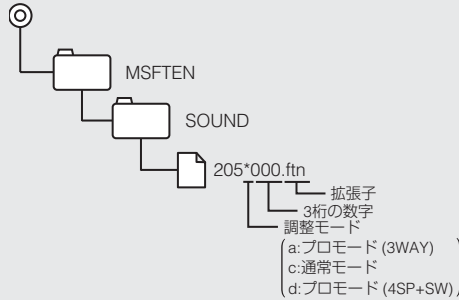
サウンド調整モードが解除されます。

(**7**の時に [SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されます。)



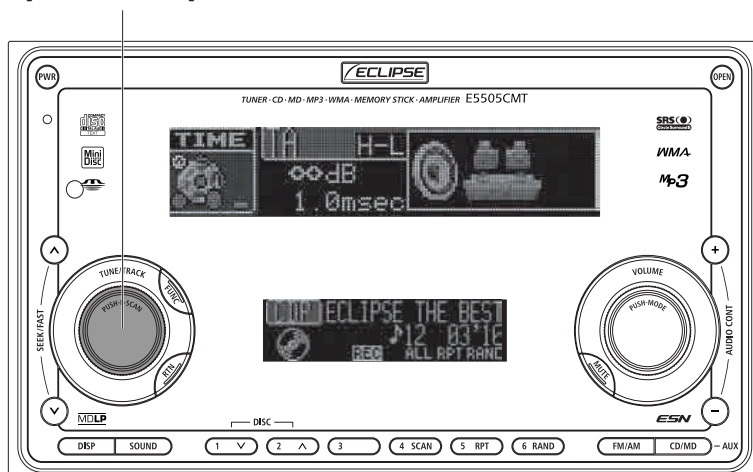
ワンポイント

“メモリースティック”には、次のように書き込まれます。



- E-iSERV 連携音響カスタマイズに必要なフォルダおよびファイルは“メモリースティック”に書き出したときに自動で作成されます。
- E-iSERVへデータをアップロードするときは、“メモリースティック”内の **MSFTEN** - **SOUND** にあるファイルを選択してください。

[TUNE/TRACK] ボタン



タイムアライメントの設定 (TimeAlignment)

それぞれのスピーカーごとに音の遅延時間とレベルを調整することで、リスニングポジションによる音の定位のズレを補正することができます。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを押して、調整するスピーカーを切り換える

ボタンを押すごとに、設定が次の順に切り換わります。

スピーカーレイアウト4SP+SW設定時：

FR→FL→RR→RL→SW→

スピーカーレイアウト3WAY設定時：

Hi-R→Hi-L→Mid-R→Mid-L→Low-R→Low-L

2 [TUNE/TRACK] ボタンを回し一番遠いスピーカーに合わせて、音の到達遅延時間を調整する

遅延時間は0.0～10.0ms(0.1ms毎)で調整することができます。

右に回す……時間が増える

左に回す……時間が減る

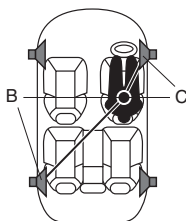
遅延時間の算出方法は下記を参照してください。

$$A = (B - C) / 34$$

A:遅延時間 (ms)

B:リスニングポジションから一番遠いスピーカーまでの距離 (cm)

C:リスニングポジションから調整する各スピーカーまでの距離 (cm)

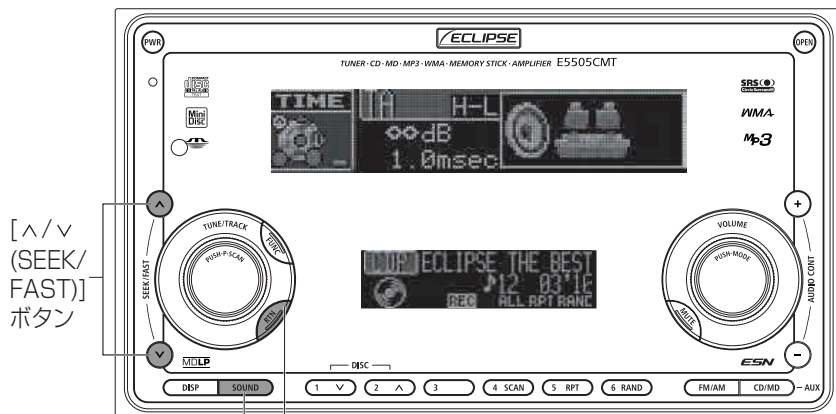


(例)リスニングポジション：運転席(右)

B : 200(cm)

C : 50(cm)

遅延時間 = $200(\text{cm}) - 50(\text{cm}) / 34 \div 4.4(\text{ms})$



[SOUND] ボタン [RTN] ボタン

3 [^/v (SEEK/FAST)] ボタンを押しスピーカーのレベルを調整する

各スピーカーのレベルは0～-30dB、-∞で調整することができます。

[^ (SEEK/FAST)] ボタン…大きくなる

[v (SEEK/FAST)] ボタン…小さくなる

4 1～3の操作をくり返してその他のスピーカーを調整する

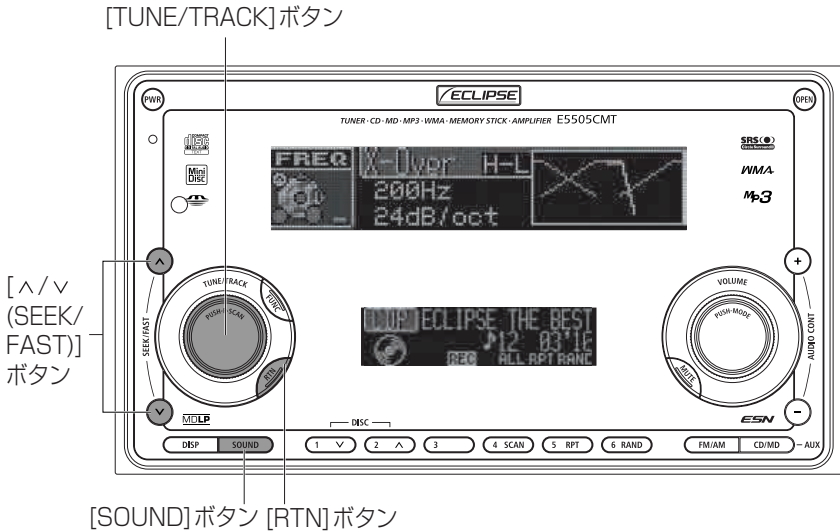
5 [RTN] ボタンを押す

プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。

6 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(5の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されず。)



クロスオーバーの設定(X-Over)

スピーカーレイアウトが4SP+SWで設定されている場合は、フロント・リヤスピーカーのHPF（ハイパスフィルター）とサブウーファのLPF（ローパスフィルター）を調整することにより、各スピーカー間の音のつながりをよくすることができます。また、スピーカーレイアウトが3WAYで設定されている場合は、高域用スピーカーではHPF、中域用スピーカーではHPF、LPF、低域用スピーカーではLPFを調整し、各スピーカー間の音のつながりをよくすることができます。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを押して、調整するチャンネルを切り換える

ボタンを押すごとに、設定が次の順に切り換わります。

スピーカーレイアウト4SP+SW設定時：

Front → Rear → Woofer

スピーカーレイアウト3WAY設定時：

Hi → M-LPF → M-HPF → Low

2 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、カットオフ周波数を選択する

ボタンを回すごとに、周波数が次の順に切り換わります。
スピーカーレイアウト4SP+SW設定時：

Front/Rear

63Hz→80Hz→100Hz→125Hz→160Hz→
200Hz→250Hz→315Hz→400Hz→500Hz→
630Hz→800Hz→1kHz→1.25kHz→1.6kHz→
2kHz→2.5kHz→3.15kHz→4kHz→
5kHz→6.3kHz→8kHz→10kHz

Woofer

63Hz→80Hz→100Hz→125Hz→160Hz→200Hz→

スピーカーレイアウト3WAY設定時：

Hi/M-LPS

200Hz→250Hz→315Hz→400Hz→500Hz→
630Hz→800Hz→1kHz→1.25kHz→1.6kHz→
2kHz→2.5kHz→3.15kHz→4kHz→
5kHz→6.3kHz→8kHz→10kHz

Low/M-HPS

63Hz→80Hz→100Hz→125Hz→160Hz→200Hz→

3 [▲/▼(SEEK/FAST)] ボタンを押して、スロープを設定する

[▲(SEEK/FAST)] ボタン…スロープをゆるくする

[▼(SEEK/FAST)] ボタン…スロープをきつくする

スロープはPASS、6dB/oct、12dB/oct、18dB/oct、
24dB/octから選択することができます。

4 [RTN] ボタンを押す

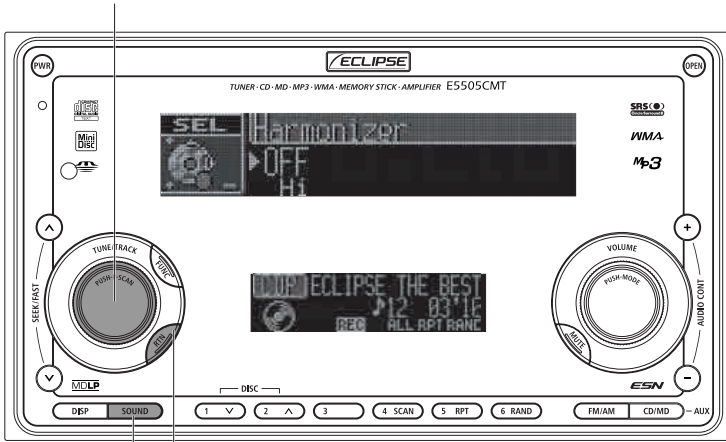
プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。

5 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(4の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

[TUNE/TRACK] ボタン

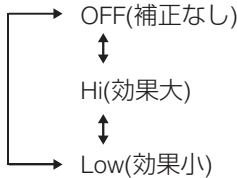


[SOUND] ボタン [RTN] ボタン

マルチハーモナイザの設定 (Harmonizer)

MP3/WMAやATRAC3の圧縮処理により損なわれた音域をできるだけ原音に戻す補正レベルを設定することができます。

- 1 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、補正レベルを選択するボタンを回すごとに、設定が次の順に切り換わります。



- 2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す※¹

設定内容が反映されます。

- 3 [RTN] ボタンを押す

プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。

- 4 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(**3**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに[SOUND]ボタン、または[RTN]ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

ノンフェーダーフェーズの切り換え (Non-F Phase)

位相を切り換えることでフロント・リヤスピーカーとウーファの音のつながりを改善することができます。位相を切り換え、違和感なく音がつながる方を選んでください。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、正相 (NORMAL)、逆相 (REVERSE) を選択する

2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す※¹

設定内容が反映されます。

3 [RTN] ボタンを押す

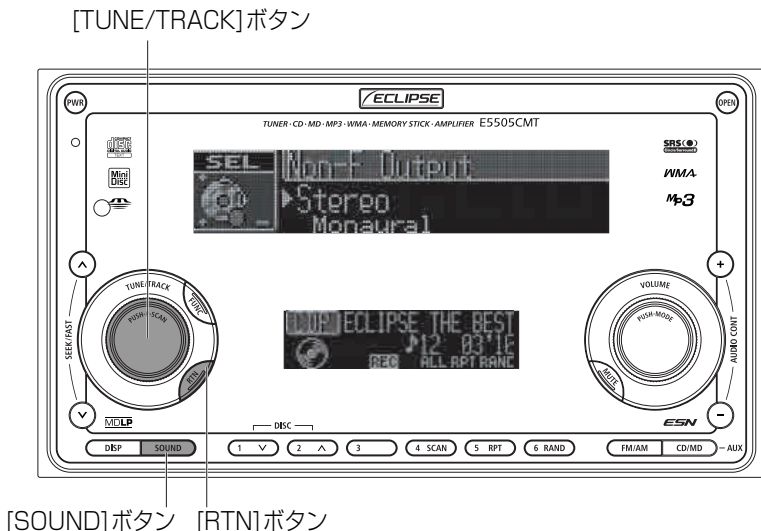
プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。

4 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。

(**3**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

※¹: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに[SOUND]ボタン、または[RTN]ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。



NON-FADERの出力切り換え (Non-F Output)

NON-FADER の出力方式をステレオとモノラルに切り換えることができます。接続されているサブウーファの方式に合わせて、切り換えてください。

- 1** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、「Stereo」、または「Monaural」を選択する
- 2** [TUNE/TRACK] ボタンを押す※¹
設定内容が反映されます。
- 3** [RTN] ボタンを押す
プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 4** [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。

(**3**の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに[SOUND] ボタン、または[RTN] ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。



ワンポイント

Monaural 選択時は、左右の音声出力が左側のみに出力されます。(右側には音声は出力されません。)

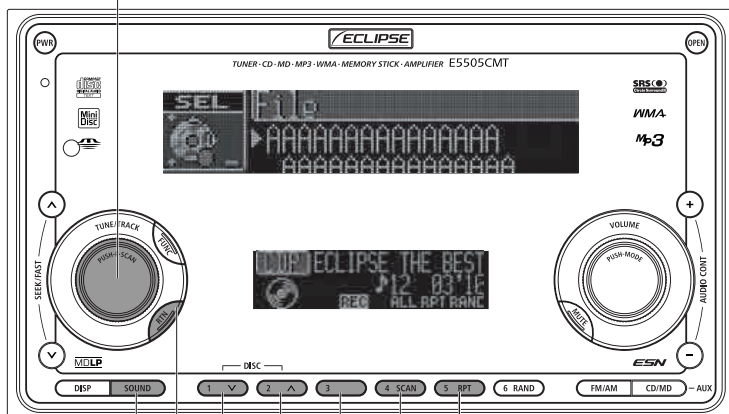
スピーカーレイアウトの切り換え (SP Layout)

接続されているスピーカーの種類によって4スピーカーシステムと3WAYスピーカーシステムを切り換えます。(PEQ、タイムアライメント、クロスオーバーの調整を行う前に切り換えてください。)

- 1** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、「3WAY」、または「4SP+SW」を選択する
- 2** [TUNE/TRACK] ボタンを長めに (5秒以上) 押す※¹
「OK?」と表示されます。※¹
- 3** [TUNE/TRACK] ボタンを押す
設定内容が反映されます。
- 4** [RTN] ボタンを押す
プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 5** [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。
(**4**の時に[SOUND]ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

※¹: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに[SOUND]ボタン、または[RTN]ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

[TUNE/TRACK]ボタン



[SOUND]ボタン [RTN]ボタン 番号ボタン[1]~[5]

音質データの取り込み (Sound Data)

E-iSERV 連携音響カスタマイズからDISC、または“メモリースティック”にダウンロードした音質データを本機に取り込み、記憶することができます。

- 1 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、音質データを取り込むメディア (DISC、またはMS) を選択する
- 2 [TUNE/TRACK] ボタンを押す
前面パネルが自動で開きます。
 - DISCを選択した場合
前面のパネルが自動的に開きます。CDが既に挿入されているときは、CDが自動で排出されます。
 - Memory Stickを選択した場合
対象データの入った“メモリースティック”が挿入されていないときは、前面のパネルが自動的に開きます。
- 3 音質データを取り込むメディア (DISC、または“メモリースティック”) を挿入する
- 4 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、ファイルを選択する
選択されたファイルは、文字が反転します。
- 5 [TUNE/TRACK] ボタンを押して、取り込むファイルを決める

6 記憶させる番号ボタン[1]～[5]のいずれかを長めに(2秒以上) 押す

選択した番号ボタン[1]～[5]に音質データが取り込まれます。

取り込み完了後、プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。

DISCで取り込んだ場合は、取り込み完了後、DISCが自動で排出されます。

“メモリースティック”で取り込んだ場合は、“メモリースティック”を取り出します。

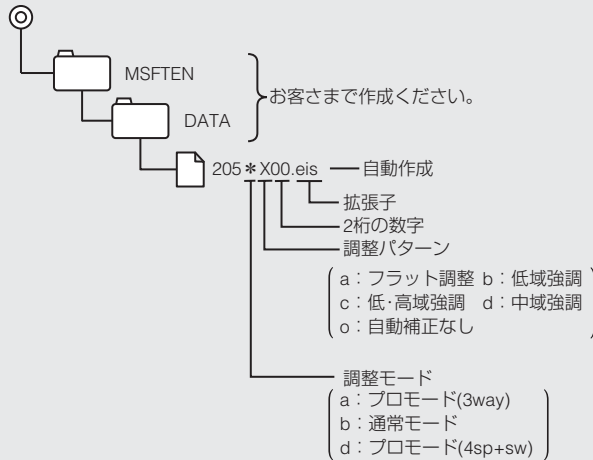
7 [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す

サウンド調整モードが解除されます。



< “メモリースティック” を使用する場合 >

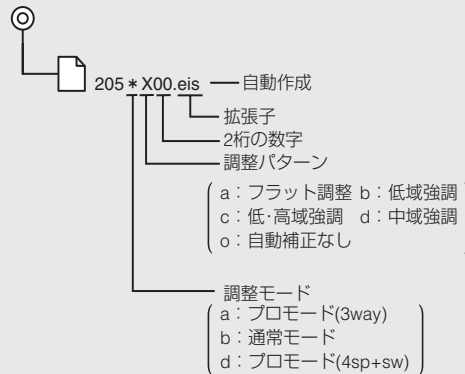
- ECLIPSE の Web サイト (E-iSERV) からダウンロードしたデータは次のようにフォルダーを作成して、“メモリースティック” に保存してください。



- 本機に取り込みが可能なファイルは、ECLIPSEのWebサイト (E-iSERV) からダウンロードされたときに自動で作成されます。

< CD-Rを使用する場合 >

- ECLIPSE の Web サイト (E-iSERV) からダウンロードしたデータは次のようにCD-Rのルートディレクトリに保存してください。

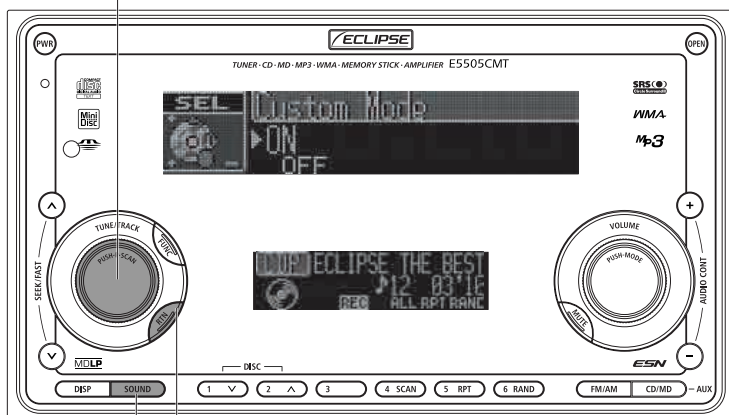


- 本機に取り込むことのできるCD-Rのフォーマットは、次のようになります。

- ・ CD-ROM (MODE1)
- ・ CD-ROM (MODE2_FORM1)

MODE2_FORM2 で書込みした場合は本機に取り込むことができません。

[TUNE/TRACK] ボタン



[SOUND] ボタン [RTN] ボタン

カスタムモードの切り換え (Custom Mode)

E-iSERV (Web サイト) のカスタムモードで手動調整した値 (PEQ、タイムアライアメント、クロスオーバーの設定値) を “メモリスティック” にダウンロードして、本機に呼び出すことができます。

- 1** [TUNE/TRACK] ボタンを回して、「ON」、または「OFF」を選択する
- 2** [TUNE/TRACK] ボタンを押す※¹
設定内容が反映されます。
- 3** [RTN] ボタンを押す
プロモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 4** [SOUND]、または [RTN] ボタンを押す
サウンド調整モードが解除されます。

(**3**の時に[SOUND] ボタンを押してもサウンド調整モードは解除されません。)

※ 1: [TUNE/TRACK] ボタンを押さずに[SOUND] ボタン、または[RTN] ボタンでサウンド調整モードを解除した場合は、設定内容は反映されません。

ESN セキュリティーの操作

ESNについて

本機は、ESN(ECLIPSE Security Network) 機能を搭載しています。ESNは、あらかじめ本機に登録した音楽CD(Key CD)、暗証番号(4桁)や、暗証番号が記録された“メモリースティック”が必要になります。これらのいずれかが無いと、車両の整備などでバッテリーとの接続が外されたときや、エンジンスイッチをOFFにしたとき、再度バッテリーの接続や、エンジンスイッチをACC、またはONにしても全ての機能が動作しなくなります。ESNは、次のいずれかの方法で設定、解除をすることができます。

●**Key CD セキュリティー** (148ページ) :

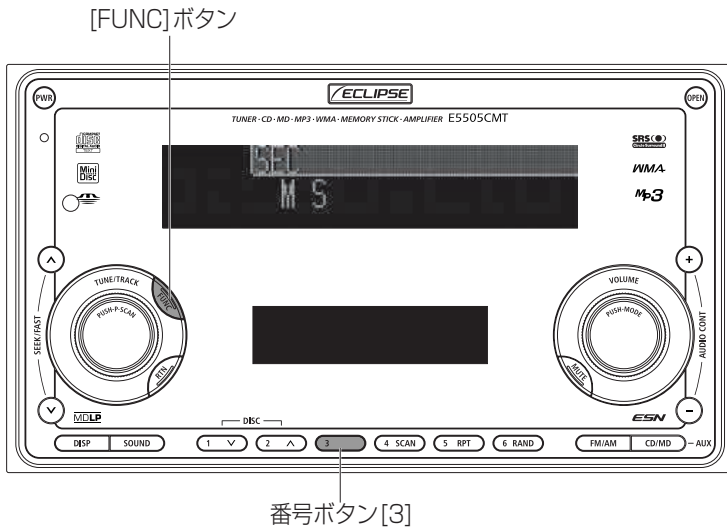
お手持ちの音楽CDを「Key CD」として、本機に登録して、そのCDでセキュリティーの設定、解除を行います。

●**“メモリースティック” セキュリティー** (151ページ) :

“メモリースティック”および本機に暗証番号を登録して、“メモリースティック”、または暗証番号と本機との照合によりセキュリティーの設定、解除を行います。

●**ACC セキュリティー** (158ページ) :

“メモリースティック”セキュリティーが設定されているときのみ使用することができます。ACCセキュリティーを設定すると、エンジンスイッチのOFF後、再度エンジンスイッチをACCにした場合、全ての機能が無効になります。



セキュリティタイプ(Key CDセキュリティ、“メモリースティック”セキュリティ)の切り換え

セキュリティタイプ(Key CDセキュリティ、“メモリースティック”セキュリティ)を切り換えることができます。初期状態では、Key CDセキュリティを設定することができる状態になっています。

- 1 本機の電源がスタンバイ状態になっていることを確認する
- 2 番号ボタン[3]および[FUNC]ボタンを同時に2秒以上押す
ボタンを押すごとにKey CDセキュリティ(TOC)と“メモリースティック”セキュリティ(MS SEC)が切り換わります。



すでにセキュリティが設定されているときは、切り換えをすることはできません。



ESN(Key CDセキュリティー)の操作

Key CDの登録

お手持ちの音楽CDをKey CDとして本機に登録します。

- 1** 本機の電源がスタンバイ状態になっていることを確認する
- 2** 番号ボタン[6]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押す
ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されて、表示が「DISC」に切り換わります。



ワンポイント

- すでにCDが挿入されている場合、ディスプレイに「SEC」が表示された後、CDが排出されます
- すでにセキュリティーが設定されているときは、Key CDを登録することはできません。

- 3** CDを挿入する
ディスプレイに「SEC」が表示されて、Key CDが登録されます。その後、CDが排出されます。



ワンポイント

- CD-R/RW、CCCD(コピーコントロールCD)およびMP3やWMAのCD-ROMは、使用することができません。
- CDに問題がある場合、CDが排出されて、ディスプレイに「ERR」が表示されます。再度CDを挿入してみてください。
- 2回続けて、ディスプレイに「ERR」が表示されると、「CHANGE」が2秒間表示されます。この場合は他の音楽CDで試してください。
- セキュリティーが設定されると本機の電源が ALL OFF、またはエンジンスイッチがOFFのときは、セキュリティーインジケータを点滅させることができます。「セキュリティーインジケータの表示」(159ページ)を参照してください。
- 登録したKey CDは、登録を解除する時などに必要になります。登録したCD(アルバム名)を忘れた時の確認用にメモしておくことをお勧めします。

Key CD登録の解除

Key CDの登録を解除して、セキュリティーが動作しない状態にします。

- 1** 本機の電源がスタンバイ状態になっていることを確認する
- 2** 番号ボタン[6]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押す
ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されて、表示が「DISC」に切り換わります。



ワンポイント

すでにCDが挿入されている場合、ディスプレイに「SEC」が表示された後、CDが排出されます。

- 3** Key CDを挿入する
ディスプレイに「CANCEL」が表示されて、Key CDが排出されます。Key CDの登録は解除されます。



ワンポイント

Key CD以外のCDを挿入した場合、登録の解除はキャンセルされます。その時、ディスプレイに「ERR」が2秒間表示されて、CDの再生が始まります。

Key CDの変更

本機に登録されているKey CDを他のCDに変更することができます。

- 1** Key CDの登録を消去する
「Key CD登録の解除」(前項目)を参照してください。
- 2** 別のKey CDを登録する
「Key CDの登録」(前ページ)を参照してください。



動作ロック状態の解除

車両の整備などでバッテリーとの接続が断たれた場合、ESN機能が動き動作ロック状態になります。(Key CDが登録されている場合のみ)この場合、再度電源をONにしても通常に動作しません。動作ロック状態を解除するには、次の操作が必要になります。

1 バッテリー接続後、本機の電源をONにしたとき、ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されます。その後、ディスプレイに「DISC」が表示されます

2 Key CDを挿入する

挿入したCDがKey CDと認識された場合、ディスプレイに「OK」が2秒間表示されて、動作ロック状態が解除されます。その後、CDの再生が始まります。



ワンポイント

- 挿入したCDがKey CDと認識されなかった場合、CDが排出された後、ディスプレイに「ERR_」(ERRおよびエラー回数)が2秒間表示されます。
- ディスプレイに「ERR5」(エラー回数 5 回目)が表示されると、「HELP」が表示されて、CDが排出されます。この場合は、お客様相談窓口までご連絡ください。(ご連絡先は、「アフターサービスについて」(184ページ)を参照してください。)
- 複製されたCDでは動作ロック状態を解除することができません。

ESN(“メモリースティック” セキュリティー)の操作

“メモリースティック” セキュリティーは、暗証番号を本機および“メモリースティック”に登録します。その“メモリースティック”、または暗証番号で動作ロック状態の解除を行います。

暗証番号の登録

- 1 本機の電源がスタンバイ状態になっていることを確認する
- 2 番号ボタン[1]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押しディスプレイに「SEC」が2秒間表示されて、表示が「MS」に切り換わります。



ワンポイント

- すでに“メモリースティック”が挿入されている場合は、ディスプレイに「MS EJECT」が表示されます。この場合、“メモリースティック”を取り出してください。
- すでにセキュリティーが設定されているときは、暗証番号を登録することはできません。

- 3 “メモリースティック”を挿入する
ディスプレイに「- - - -」(暗証番号入力表示)が表示されます。
- 4 番号ボタン[1]～[4]を押して、暗証番号を入力する
暗証番号は、0～9、A～Fの数字およびアルファベットを4桁入力します。各番号ボタンを押すごとに、0～9、A～Fの数字およびアルファベットが順番に切り換わります。各番号ボタンの数字(1～4)が入力する桁数(1桁目～4桁目)になります。
- 5 [FUNC]ボタンを1秒以上押し
本機に暗証番号が登録されて、セキュリティーが設定されます。また、“メモリースティック”には登録した内容が暗号化されて、書き込まれます。



ワンポイント

- 音楽データなどが混在している“メモリースティック”で登録した場合は、登録データを消去しないように注意してください。

- 6 “メモリースティック”を取り出す



ワンポイント

- 登録した暗証番号および“メモリースティック”は、登録を解除する時などに必要になります。登録した暗証番号および“メモリースティック”を忘れた時の確認用にメモしておくことをお勧めします。



“メモリスティック” セキュリティーの解除

本機に登録した暗証番号、または登録時に使用した“メモリスティック”との照合により、セキュリティーを解除することができます。

セキュリティー機能の解除は、暗証番号を本機に直接入力する方法と、暗証番号の登録時に使用した“メモリスティック”で解除する方法と2通りあります。

暗証番号入力でセキュリティーを解除する

- 1 本機の電源がスタンバイ状態になっていることを確認する
- 2 番号ボタン[1]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押しディスプレイに「SEC」が2秒間表示されて、表示が「- - - -」（暗証番号入力表示）に切り換わります。
- 3 番号ボタン[1]～[4]を押して、本機に登録した暗証番号を入力する

暗証番号は、0～9、A～Fの数字およびアルファベットを4桁入力します。各番号ボタンを押すごとに、0～9、A～Fの数字およびアルファベットが順番に切り換わります。各番号ボタンの数字(1～4)が入力する桁数(1桁目～4桁目)になります。

4 [FUNC] ボタンを1秒以上押す

本機との照合で暗証番号が一致した場合は、ディスプレイに「CANCEL」が表示されて、セキュリティーが解除されます。



本機との照合で暗証番号が一致しなかった場合は、ディスプレイに「ERR」が表示されて、セキュリティーは解除されないまま、通常の動作に戻ります。

“メモリースティック”でセキュリティーを解除する

1 本機の電源がスタンバイ状態になっていることを確認する**2 番号ボタン[1]および[FUNC]ボタンを同時に1秒以上押す**
ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されて、表示が「- - - -」（暗証番号入力表示）に切り換わります。**3 [CD/MD] ボタンを押す**

ディスプレイに「MS」が表示されます。再度[CD/MD]ボタンを押すと、表示が「- - - -」（暗証番号入力表示）に戻ります。



すでに“メモリースティック”が挿入されている場合は、ディスプレイに「MS EJECT」が表示されます。この場合は、“メモリースティック”を取り出してください。

4 “メモリースティック”を挿入する

登録データの読み込みが始まります

5 本機との照合で“メモリースティック”の登録内容が一致した場合、ディスプレイに「CANCEL」が表示されます
セキュリティーが解除されて、通常の動作に戻ります。

- 読み込みに失敗、または他の“メモリースティック”を挿入した場合は、ディスプレイに「ERR」が表示されます。この場合、“メモリースティック”を取り出して、“メモリースティック”を確認してください。
- セキュリティーの登録内容が記録された“メモリースティック”をフォーマットすると、この方法では解除することができなくなります。

6 “メモリースティック”を取り出す



暗証番号の変更

本機に登録されている“メモリースティック”および暗証番号を他の“メモリースティック”および暗証番号に変更して登録させることができます。

1 本機に登録されている暗証番号を消去する

「“メモリースティック”セキュリティの解除」(152ページ)を参照してください。

2 変更する暗証番号および“メモリースティック”を再登録する

「暗証番号の登録」(151ページ)を参照してください。

動作ロック状態の解除

車両の整備などでバッテリーとの接続が断たれた場合、またはACCセキュリティが設定された状態でエンジンスイッチをOFFにしたときは、ESNのセキュリティ機能は動作ロック状態になります。(暗証番号が登録されている場合のみ)この場合、再度電源をONにしても通常に動作しません。動作ロック状態を解除するには、次の操作が必要になります。動作ロック状態の解除は、暗証番号を本機に直接入力して解除する方法と、暗証番号の登録時に使用した“メモリースティック”で解除する方法と2通りあります。

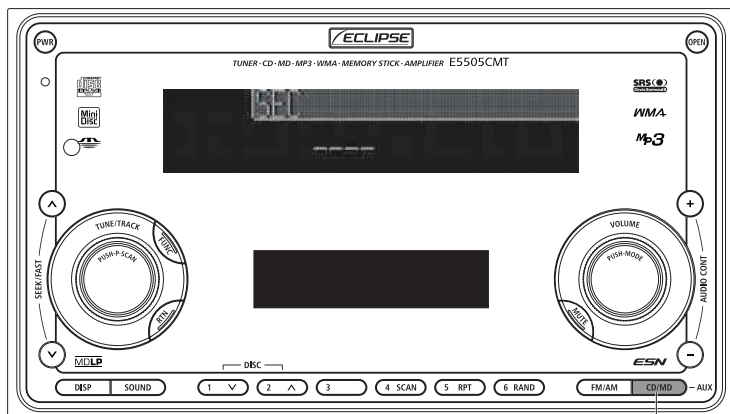
暗証番号入力で動作ロック状態を解除する

- 1** 本機の電源をONにしたとき、ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されます。その後、「- - - -」（暗証番号入力表示）が表示されます
- 2** 番号ボタン [1] ～ [4] を押して、本機に登録した暗証番号を入力する
暗証番号は、0～9、A～Fの数字およびアルファベットを4桁入力します。各番号ボタンを押すごとに、0～9、A～Fの数字およびアルファベットが順番に切り換わります。各番号ボタンの数字(1～4)が入力する桁数(1桁目～4桁目)になります。
- 3** [FUNC] ボタンを1秒以上押す
本機との照合で暗証番号が一致した場合は、ディスプレイに「OK」が表示されて、動作ロック状態が解除されます。



ワンポイント

- 本機との照合で暗証番号が一致しなかった場合は、ディスプレイに「ERR」（ERRおよびエラー回数）が2秒間表示されて、「- - - -」（暗証番号入力表示）が表示されます。この場合、暗証番号を確認して再度、入力してください。
- ディスプレイに「ERR5」（エラー回数5回目）が表示されると、「HELP」が表示されます。この場合は、お客様相談窓口までご連絡ください。（ご連絡先は、「アフターサービスについて」（184ページ）を参照してください。）



[CD/MD] ボタン

“メモリスティック”で動作ロック状態を解除する

- 1 本機の電源をONにしたとき、ディスプレイに「SEC」が2秒間表示されます。その後、「- - - -」（暗証番号入力表示）が表示されます
- 2 [CD/MD] ボタンを押す
ディスプレイに「MS」が表示されます。再度[CD/MD] ボタンを押すと、表示が「- - - -」（暗証番号入力表示）に戻ります。



ワンポイント

すでに“メモリスティック”が挿入されている場合は、ディスプレイに「MS EJECT」が表示されます。この場合、“メモリスティック”を取り出してください。

- 3 登録した“メモリスティック”を挿入する
登録データの読み込みが始まります。



ワンポイント

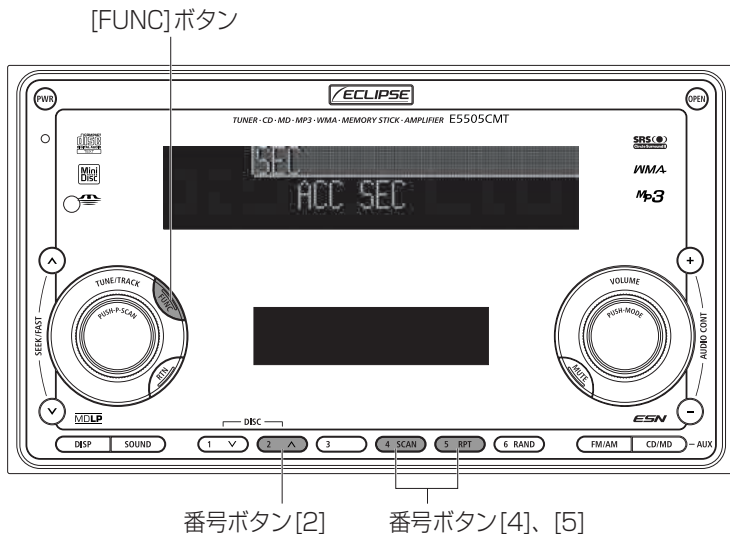
挿入した“メモリスティック”に問題がある場合は、ディスプレイに[ERR]が2秒間表示された後、「EJECT」が表示されます。この場合、“メモリスティック”を取り出して、確認してください。

4 本機との照合で“メモリースティック”の登録内容が一致した場合、ディスプレイに「OK」が2秒間表示されて、通常の動作に戻ります



ワンポイント

- 挿入した“メモリースティック”が登録したものと認識されなかった場合、ディスプレイに「ERR_」(ERRおよびエラー回数)が2秒間表示されて、「- - -」(暗証番号入力表示)が表示されます。“メモリースティック”を確認して、**2**からの操作を繰り返してください。
- セキュリティの登録内容が記録された“メモリースティック”をフォーマットすると、この方法では解除することができなくなります。
- ディスプレイに「ERR5」(エラー回数5回目)が表示されると、「HELP」が表示されます。この場合は、お客様相談窓口までご連絡ください。(ご連絡先は「アフターサービスについて」(184ページ)を参照してください。)



ACCセキュリティの設定

ACCセキュリティは、“メモリースティック”セキュリティで暗証番号が登録されている場合、エンジンスイッチOFF後、再度エンジンスイッチをACCにすると、動作ロック状態になります。

- 1 本機の電源がOFFになっていることを確認する
- 2 暗証番号が登録されている状態で、番号ボタン[5]および[FUNC]ボタンを同時に2秒以上押す

ディスプレイに「ACC SEC」が表示され、ACCセキュリティ機能が設定されます。

再度、番号ボタン[5]および[FUNC]ボタンを同時に2秒以上押すとACCセキュリティの設定は解除されます。



ワンポイント

- エンジンスイッチ OFF 後、再度エンジンスイッチを ACC にすると、動作ロック状態となります。通常の動作に戻すには、動作ロック状態の解除が必要です。動作ロック状態の解除は、「動作ロック状態の解除」(154ページ)を参照してください。
- 車両の整備などで、バッテリーとの接続が断たれたときは、ACC セキュリティーの設定は解除されます。

セキュリティインジケータの表示

Key CDセキュリティ、または“メモリースティック”セキュリティが設定されている時、本機の電源、またはエンジンキーをOFFにすると、セキュリティインジケータが点滅します。また、点滅のON、OFFを切り換えることができます。

1 本機の電源がスタンバイ状態になっていることを確認する

2 番号ボタン[2] および [FUNC] ボタンを同時に 1 秒以上押す

ボタンを押すごとにセキュリティインジケータのON、OFFが切り換わります。ON、OFFを切り換えたときは、ディスプレイに「IND. ----」、または「IND. FLASH」が表示されます。
「IND. ----」…… セキュリティインジケータは点滅されません
「IND. FLASH」… セキュリティインジケータは点滅されます

電子シリアルナンバー (Electronic Serial Number) の表示

1 本機の電源がスタンバイ状態になっていることを確認する

2 番号ボタン[4] および [FUNC] ボタンを同時に 1 秒以上押す

「ESN」がディスプレイに表示された後、8桁の数字が表示されます。この数字はその機器の電子シリアルナンバー (Electronic Serial Number : ESN) です。本人のものと証明することができます。

(別売)CDオートチェンジャー/MDチェンジャーを接続したときの操作

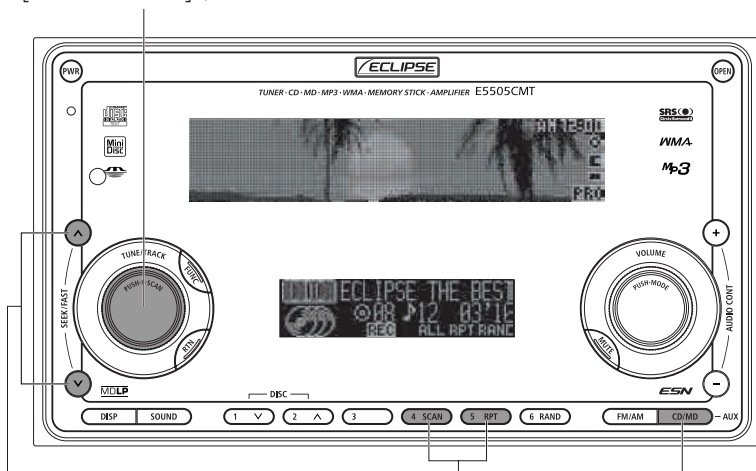
CDオートチェンジャーおよびMDチェンジャーを接続したときの操作手順を説明します。MP3/WMAファイルが収録されているCDや長時間モード(MDLPモード)で録音されたMDは、録音方式が異なりますので、再生できません。(無音状態となります)



ワンポイント

- MDのグループ機能には対応していません。
- CD TEXTは表示できません。

[TUNE/TRACK]ボタン



[\wedge / \vee (SEEK/FAST)]ボタン

番号ボタン[4]、[5]

[CD/MD]ボタン

CDオートチェンジャー/MDチェンジャーモードに切り換える

別売のCDオートチェンジャーやMDチェンジャーにディスクが挿入されている場合、再生中のディスクの演奏が終了すると、自動的に次のディスクを再生します。この時CD→MD、MD→CDといったディスクモードの切り換えは行われません。

1 [CD/MD]ボタンを押しCDチェンジャーモードまたはMDチェンジャーモードに切り換える

ボタンを押すごとにCDプレーヤー (CDP) → CDオートチェンジャー (CDC) → MDプレーヤー (MDP) → MDチェンジャー (MDC) → “メモリースティック” プレーヤー (MS) の順に切り換わります。

ディスクが挿入されていない、または接続されていない機器は、飛ばして切り換わります。



CDやMDにキズや汚れがあると、演奏中に音が途切れることがあります。

次の曲に進む/曲の頭に戻る

1 [TUNE/TRACK] ボタンを回す

右に回す …… 次の曲に進む

左に回す …… 演奏中の曲の頭(繰り返し回すと前の曲)に戻る

早送り・早戻しする

1 [∧/∨ (SEEK/FAST)] ボタンを押しつづける

[∧ (SEEK/FAST)] ボタン …… 早送りする

[∨ (SEEK/FAST)] ボタン …… 早戻しする

曲の始まりを演奏する (SCAN)

1 番号ボタン [4] を押す

演奏しているCD、MD全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。

「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、挿入している全CD、MDの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

再度番号ボタン [4] を押すと解除されます。

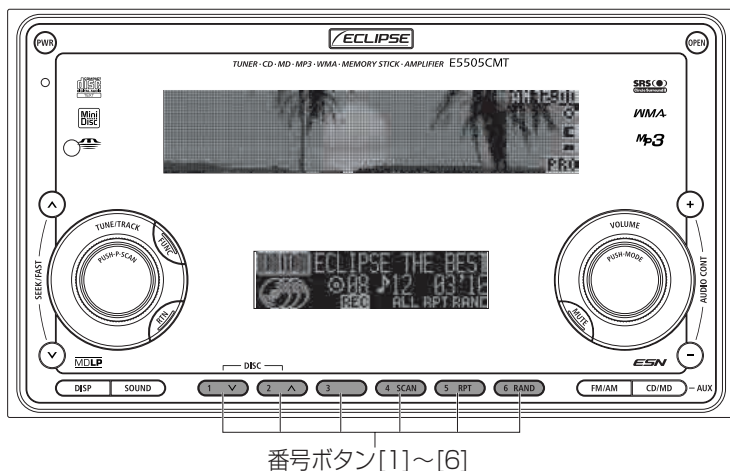
繰り返し演奏する (REPEAT)

1 番号ボタン [5] を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。

「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中のCD、MD内の全曲を繰り返し再生します。

再度番号ボタン [5] を押すと解除されます。



番号ボタン[1]~[6]

ランダム 曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)

1 番号ボタン[6]を押す

演奏中のCD、MD内の曲を順不同に演奏します。
「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、挿入している全CD、MD内の曲を順不同に演奏します。
再度番号ボタン[6]を押すと解除されます。



ワンポイント

- RANDOMを選択中に、番号ボタン[5]を押すと、再生中の曲が繰り返し演奏されます。また、再生中にもう一度番号ボタン[5]を押すと、RANDOMに戻ります。
繰り返し再生される曲は下記になります。
 - ・曲を再生しているとき：再生している曲を繰り返し演奏します。
 - ・次の曲に切り換わる時：切り換わる次の曲を演奏します。
- まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- 「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「ALL-SCAN」、「RPT」、「ALL-RPT」、「RAND」、「ALL-RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

次のディスクに進む/前のディスクに戻る

1 番号ボタン[1]または[2]を押す

番号ボタン[1]……ディスク番号が上のディスク(次のディスク)へ移る

番号ボタン[2]……ディスク番号が下のディスク(前のディスク)へ移る

演奏するディスクを指定する

挿入しているディスクのうち、お聞きになりたいディスクをダイレクトに指定することができます。

挿入できるディスク数に合わせ、MDは最高3枚、CDは最高12枚から選択することができます。

1 [TUNE/TRACK] ボタンを押す

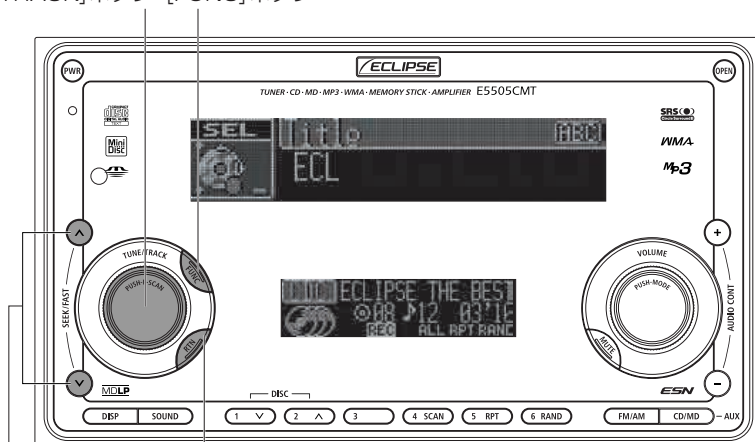
2 番号ボタン[1]～[6]のいずれかを押す

MDの場合、番号ボタン[1]～[3]までが対応しています。

番号ボタン	1	2	3	4	5	6
ディスク番号	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12

ディスク番号7～12を指定するときは、番号ボタンを長めに(1秒以上)押ししてください。

[TUNE/TRACK]ボタン [FUNC]ボタン



[^/∨(SEEK/FAST)]ボタン [RTN]ボタン

CDのタイトルを設定する

CDにタイトルをつけ、表示させることができます。



ワンポイント

- 最大で30枚分のタイトルを記憶させることができます。
- タイトルは、最大15文字まで入力できます。
- CD TEXTにタイトルまたは曲名が記録されているときは、この機能はご使用になれません。

タイトルを設定したいディスクを選んでから以下の動作を行ってください。

- 1 [FUNC] ボタンを短く (1秒未満) 押す**
ファンクションモードに切り換わります。
- 2 [TUNE/TRACK] ボタンを回し「Title」を選択して、[TUNE/TRACK] ボタンを押す**
ディスクタイトル設定モードになります。
- 3 [^ (SEEK/FAST)] ボタンを押して、入力する文字の種類を選択する**

ボタンを押すごとに、「ABC」(大文字アルファベット)、「アイウ」(カナ)、「123」(数字)、「!」#」(記号)の順に表示が切り換わります。

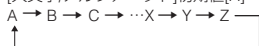
4 [TUNE/TRACK]、または [V (SEEK/FAST)] ボタンを押して、入力する文字位置を選択する

点滅している位置に文字が入力されます。
[TUNE/TRACK] ボタン …… 1 文字進む
[V (FAST)] ボタン …… 1 文字削除

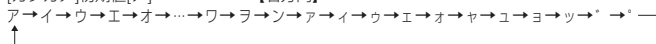
5 [TUNE/TRACK] ボタンを回して、文字を選択する

右に回す …… 次の文字に進む
左に回す …… 前の文字に戻る

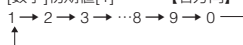
[大文字/アルファベット]初期値[A] 【右方向】



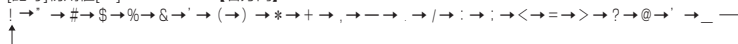
[カタカナ]初期値[ア] 【右方向】



[数字]初期値[1] 【右方向】



[記号]初期値[!] 【右方向】



- 入力する文字の種類を変更するときは、**3** ~ **5** の手順を繰り返してください。
- 文字は最大 12 文字まで入力できます。

6 [RTN] ボタンを押す

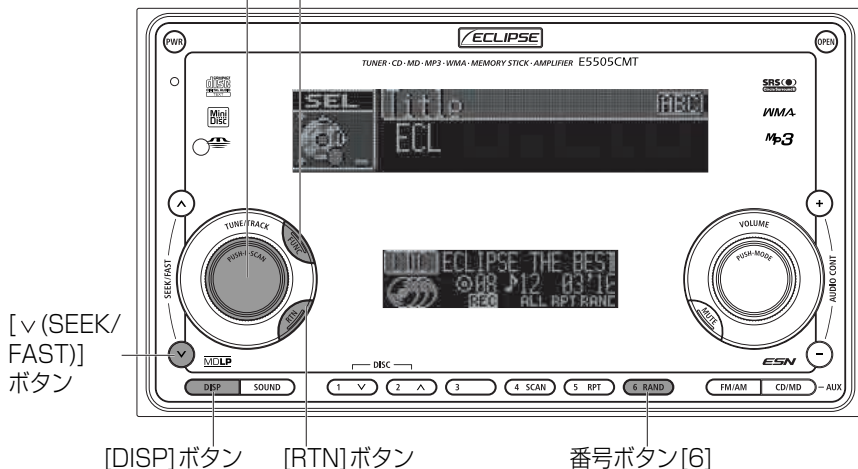
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。

7 [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す

ファンクションモードが解除されます。

(**6**の時に[FUNC] ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

[TUNE/TRACK] ボタン [FUNC] ボタン



設定したタイトルを変更する

- 1** [FUNC] ボタンを押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 2** [TUNE/TRACK] ボタンを回し「Title」を選択して、[TUNE/TRACK] ボタンを押す
ディスクタイトル設定モードになります。
- 3** [TUNE/TRACK] ボタン、または [v (SEEK/FAST)] ボタンを押して、変更したい文字を点滅させる
[TUNE/TRACK] ボタン …… 1文字進む
[v (FAST)] ボタン …… 1文字削除
- 4** [TUNE/TRACK]、または [v (SEEK/FAST)] ボタンを押して、入力する文字位置を選択する
右に回す …… 次の文字に進む
左に回す …… 前の文字に戻る
- 5** [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 6** [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(6の時に [FUNC] ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

設定したタイトルを削除する

- 1 [FUNC] ボタンを押す
ファンクションモードに切り換わります。
- 2 [TUNE/TRACK] ボタンを回し「 Title 」を選択して、[TUNE/TRACK] ボタンを押す
ディスクタイトル設定モードになります。
- 3 「DELETE」と表示が出るまで番号ボタン[6]を押す
- 4 [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードの設定項目の選択表示に戻ります。
- 5 [FUNC]、または [RTN] ボタンを押す
ファンクションモードが解除されます。
(4の時に[FUNC]ボタンを押してもファンクションモードは解除されません。)

MD演奏時の表示を切り換える

MDにタイトル名や曲名などが記録されているときは、それらを表示させることができます。表示部には、最大15文字まで表示されます。ディスクタイトルやトラックタイトルが記録されていない場合、NO TITLEと表示されます。

- 1 [DISP] ボタンを長めに(1秒以上)押す
ディスクタイトルがスクロール表示された後にトラックタイトルがスクロール表示されます。
トラックタイトルがスクロール表示された後、固定表示になります。



注意

- 本機の表示部にMDのタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。
- 入力した機器によって、タイトルが正常に表示されないことがあります。
- ディスクによって全てのタイトル文字が表示されないことがあります。
- 本機で表示することができる文字は、英数字および記号です。それ以外の文字は、* (アスタリスク)で表示されます。

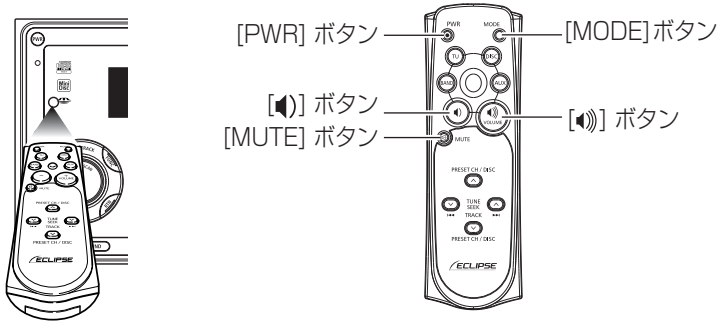
リモコンの操作

使用上の注意

- リモコンは小型で軽量なため取り扱いには注意してください。落としたりぶつけたりすると、破損したり、電池の消耗を早めたり、誤動作の原因になります。
- リモコンは湿気、ほこりを避け、ショックを加えたり、水などをかけたりしないでください。
- ダッシュボードなど直射日光のあたる場所には置かないでください。
- 運転の妨げにならないようにご使用ください。

清掃について

- リモコンのお手入れの際は、乾いた布(汚れがひどい場合は水を少しつけて強くしぼった布)で拭いてください。ベンジン、シンナー類を使うと、ケースや塗装が変質しますので、絶対に使用しないでください。



電源を入れる/切る

1 [PWR] ボタンを押す

ボタンを押すごとに電源が入ったり、切れたりします。



本体の[PWR]ボタンを長めに(2秒以上)押してALL OFF状態になっている場合は、リモコンによる操作はできません。

音量を調節する

1 [音量] ボタンまたは [音量] ボタンを押す

[音量] ボタン……音量が上がる

[音量] ボタン……音量が下がる

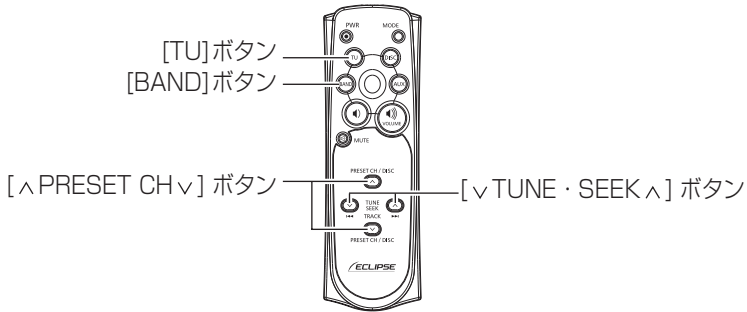
瞬時に消音する

[MUTE] ボタンを押すごとに、瞬時に消音したり、元に戻したりすることができます。

機能を切り換える

1 [MODE] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ラジオ→ディスクモード→AUXの順に切り換わります。



ラジオ利用時の操作

FM AMを切り換える

1 [BAND]、または [TU] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、FM1 → FM2 → AM1 → AM2の順に切り換わります。

放送局を選ぶ(自動・手動)

ボタンを短く(1秒未満)押すと手動で、長めに(2秒以上)押すと自動で放送局を選べます。

1 [∨TUNE・SEEK∧] ボタンを押す

[∧]ボタン …… 周波数の高い方へ選局

[∨]ボタン …… 周波数の低い方へ選局

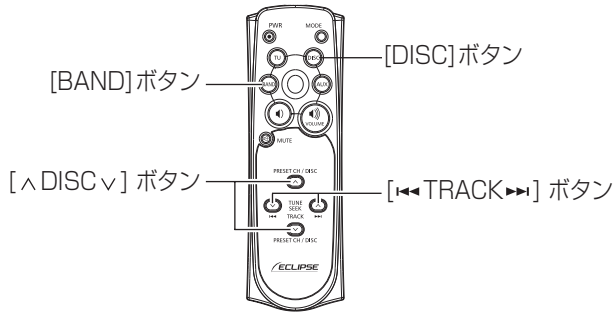
記憶済みの放送局を選ぶ

本体で記憶させた6つの放送局(プリセット選局)から呼び出します。(「手動で放送局を記憶させる」85ページ参照)

1 [∧PRESET CH∨] ボタンを押す

[∧]ボタン …… プリセット番号の高い方へ選局

[∨]ボタン …… プリセット番号の低い方へ選局



CD、MD、“メモリスティック” 利用時の操作

次の曲に進む/曲の頭に戻る

- 1 [TRACK] ボタンを押す
 [] ボタン…… 次の曲に進む
 [] ボタン…… 演奏中の曲の頭に戻る



ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(∧方向)または早戻し(∨方向)します。

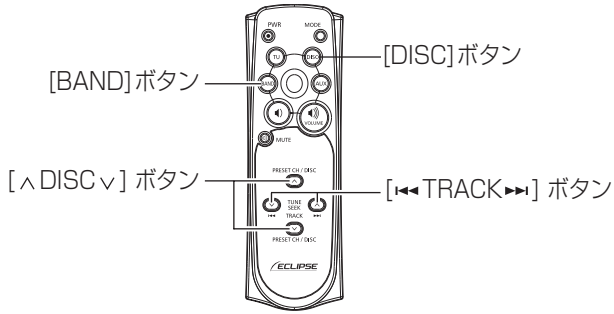
次のディスクに進む/前のディスクに戻る

CD(MD)チェンジャー接続時のみ

- 1 [DISC] ボタンを押す
 [∧] ボタン …… ディスク番号が上のディスク(次のディスク)へ移動
 [∨] ボタン …… ディスク番号が下のディスク(前のディスク)へ移動

ディスクモードを切り換える

- 1 [BAND]、または [DISC] ボタンを押す
 CD(MD)チェンジャーを接続しているときは、ボタンを押すごとに、CDプレーヤー(CDP)→CDオートチェンジャー(CDC)→MDプレーヤー(MDP)→MDチェンジャー(MDC)→“メモリスティック”プレーヤー(MS)の順に切り換わります。
 このとき、ディスクが挿入されていない、または接続されていない機器は、飛ばして切り換わります。



MP3/WMA 利用時の操作

次のファイルに進む/ファイルの頭に戻る

- 1 [◀TRACK▶] ボタンを押す
 - [▶] ボタン …… 次のファイルに進む
 - [◀] ボタン …… 演奏中のファイルの頭に戻る



ワンポイント

ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り (▶方向) または早戻し (◀方向) します。

次のフォルダに進む/前のフォルダに戻る

- 1 [∧DISC∨] ボタンを押す
 - [∧] ボタン …… 次のフォルダに進む
 - [∨] ボタン …… 前のフォルダに戻る

ディスクモードを切り換える

- 1 [BAND]、または [DISC] ボタンを押す

CD(MD)チェンジャーを接続しているときは、ボタンを押すごとに、CDプレーヤー(CDP)→CDオートチェンジャー(CDC)→MDプレーヤー(MDP)→MDチェンジャー(MDC)→“メモリースティック”プレーヤー(MS)の順に切り換わります。

このとき、ディスクが挿入されていない、または接続されていない機器は、飛ばして切り換わります。

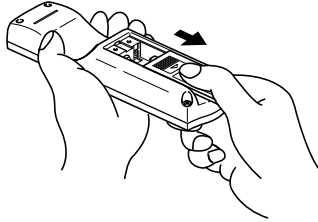
電池を交換する



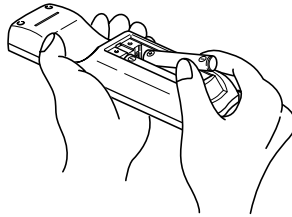
事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、単4形(マンガン電池)を2個ご使用ください。

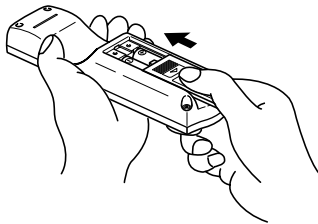
1 リモコンの裏ボタンを押しながら矢印の方向に開きます



2 電池2個をそれぞれ電池収納部の表示どおりにセットする

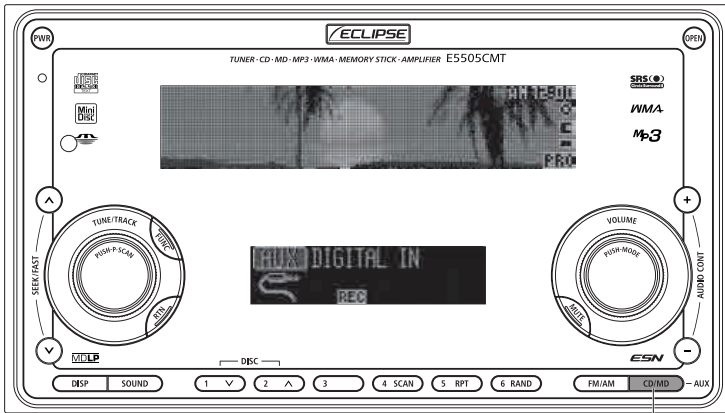


3 裏ボタンを矢印の方向に押しつけて電池ケースを閉める



- 電池の寿命は約1年間です。リモコンの効きが悪くなった場合は、電池の寿命が考えられますので新しい電池と交換してください。
- 電池の+と-を間違わないよう注意してください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 万一、電池の液もれがおこったときは、電池収納部についた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

その他の操作



[CD/MD]ボタン

ポータブルオーディオ機器をAUX端子に接続する

市販のRCAピンプラグコードを使用して、本機背面のAUX端子とポータブルオーディオ機器のオーディオ出力(LINE)またはヘッドフォン端子を接続してください。

- 1 接続したポータブルオーディオ機器の電源を入れ、再生状態にする
- 2 [CD/MD] ボタンを長めに(1秒以上)押ししてAUXモードに切り換える

AUXモードに切り換わると「AUX」と表示され、接続されたオーディオ機器の再生音がスピーカーから出力されます。



- AUXモードに切り換えてからポータブルオーディオ機器の電源を切り換えたり、プラグコードを抜き挿しすると、ノイズが発生しスピーカー破損の原因となる場合がありますので、必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り換えてから行ってください。
- 接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意ください。
- ポータブルオーディオ機器を車載でご利用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱説明書をよくお読みになり、車載での使用に問題がないことをご確認のうえでご使用ください。

困ったときは

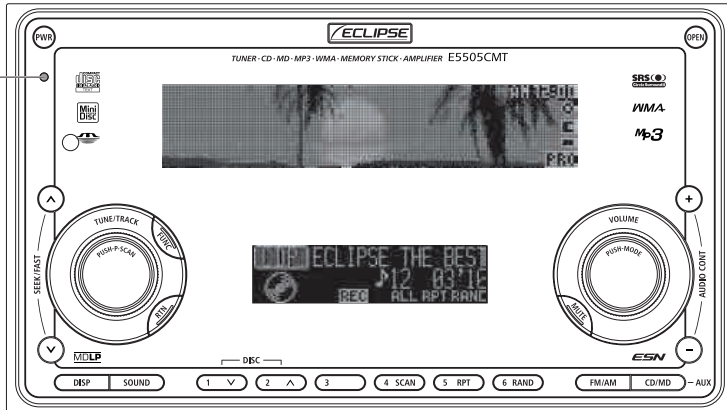
お問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。



注意

ボタンを押しても正常に動作しない、ディスプレイが誤表示するなどの異常が発生したときは、先端の尖ったもので[リセット]ボタンを押してください。

[リセット]
ボタン



[リセット]ボタンを押すと記憶させた内容は消去され、すべての設定が工場出荷時の値に戻ります。



ワンポイント

CD-R、または“メモリースティック”から取り込んだディスプレイデータは消去されません。

インフォメーションが点滅する

インフォメーション(「INFO No.」)が表示されたときは、下表を参考に対処してください。

また、症状が改善されない場合は、機器の故障が考えられます。お買い求めの販売店にご相談ください。

表示内容	インフォメーション	対処
INFO 1	CDオートチェンジャーのシャッターが開いている	シャッターを閉めてください。
INFO 2	マガジンにディスクが入っていない	ディスクを入れてください。
INFO 3	ディスクの信号面に紙やシールが貼ってあったり、キズやホコリがある	ディスククリーナ等で中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。
INFO 4※	無録音のディスクが入っている	録音済みのディスクを入れてください。
INFO 5	メカトラブル	イジェクトボタンを押して一度ディスクまたはマガジンを出し、再度ディスクまたはマガジンを挿入して再生してください。 イジェクトしてもディスクまたはマガジンが出ないときや再生できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
INFO 6	内部が高温になった	しばらく待ち、温度が下がってから再生をはじめてください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
INFO 7	内部電源が異常になっている	ACCを一度OFFにし、再度ONにしてから操作してください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
INFO 8※	ディスクの交換トラブルが発生している	ディスクを再度挿入するか、取り出してください。

※この内容は、MDのみ適用されます。

表示内容	インフォメーション	対処
CHECK	“メモリースティック”の認証中	“メモリースティック”の認証にしばらく時間がかかります。しばらく待ち、表示が消えてからお使いください。
MSINFO 1	“MGメモリースティック”が入っていない	“MGメモリースティック”を入れてください。
MSINFO 2	対応していないフォーマットの“メモリースティック”を挿入した	本機でフォーマットしてください。
MSINFO 3	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチがロックされている	誤消去防止スイッチのロックを解除してください。
MSINFO 4	“メモリースティック”の容量が一杯になった	不要なデータを削除してから、再度録音を開始してください。
MSINFO 5	“メモリースティック”に最大曲数(400曲)を超えて録音しようとした	不要なデータを削除してから、再度録音を開始してください。
MSINFO 6	対応していない“メモリースティック”を挿入した	本機で使用できる“メモリースティック”を確認してください。
MSINFO 7	再生可能な音楽データがない	音楽データが入っている“MGメモリースティック”を挿入してください。
MSINFO 8	再生制限付きのデータを制限を超えて再生しようとした	再生制限を超えた音楽データは再生できません。再度、データを入手してから再生してください。
MSINFO 9	再生中の再生制限付きの音楽データが制限を超えてしまった	再生制限を超えた音楽データは再生できません。再度、データを入手してから再生してください。
FILE ERR	ファイルエラー	対応しているファイルが入っている“メモリースティック”を挿入してください。
REC ERR	音楽CDなどから録音されたCD-R、CD-RWを“MGメモリースティック”に録音しようとした	本機はSCMS/SDMI規格に対応しており、音楽CDなどからデジタル録音されたCD-R、CD-RWからは録音できません。
PROTECT	プロテクト録音(ライセンス管理)されたWMAファイルしかDISC内にはないとき	プロテクト録音(ライセンス管理)されたWMAファイルは再生できません。
NO SUPPORT	対応外のDISCを挿入したとき	対応外のMP3/WMAファイルは再生できません。(詳細は、60、61ページを参照してください。)

	症状	原因	処置	参照ページ
共通	音が出ない。 音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げてください。	25
		ミュート(MUTE)が働いていませんか。	ミュート(MUTE)を解除してください。	25
		フェダーやバランスが片寄った設定になっていませんか。	フェダー、バランスを適正な位置に調整してください。	28
		その他、音声信号配線の線噛みや断線、スピーカの故障やコネクタ抜けなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	電源が入らない。	一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	メモリした周波数やタイトルが消えてしまう。	お車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度メモリし直してください。	53、84、164
		一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
	ガイドトーン(操作音)が出ない。	ガイドトーンの設定がOFFになっていませんか。	ガイドトーンを設定し直してください。	42

	症状	原因	処置	参照ページ
ラジオ	放送を受信できない。 雑音が入る。	アンテナが収納された状態ではありませんか。	アンテナを伸ばしてください。	—
		アンテナコードは抜けていませんか。	アンテナコードを接続してください。	—
		周波数は正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直してください。	85
		放送サービスエリアを外れていませんか。	移動先の地域の放送周波数にセットし直してください。 (放送サービスの無い地域もありますので、ご注意ください。)	85
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用していますか。	機器の使用を停止すれば解消されます。 常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—

	症状	原因	処置	参照ページ
CD	ディスクが入らない。 ディスクを入れても すぐ排出される。 または、ディスクが 排出されない。 ディスクチェンジが できない。	ディスクにラベルや シールなどを貼り付 けていませんか。	ディスクにはラベル やシールなどを貼り 付けないでください。	13
		ディスクにバリや変 形、破損箇所はあり ませんか。	他のディスクに入れ 替えてみてください。 バリのあるディスク は、バリを取り去っ てご使用ください。 変形や破損したディ スクはご使用になら ないでください。	13
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚 れはありませんか。	他のディスクに入れ 替えてみてください。 キズのあるディスク は、ご使用にならな いでください。	12
		取付け角度は適正で すか。 取付けにガタはあり ませんか。	ご購入の販売店にて 点検を行ってください。	—
		悪路を走行されてい ませんか。	悪路を走行中の使用 は、できる限り避け てください。	11
		その他、ディスクに 記録されている音楽 ソースの音質やトラ ブルなどが考えられ ます。	ご購入の販売店にて 点検を行ってください。	—

	症状	原因	処置	参照ページ
MD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに排出される。	ディスクカートリッジの向きに誤りはありませんか。	正しい向きにセットし直してください。	22
		ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていますか。	ディスクカートリッジのラベルを整えてください。	15
		ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。変形や破損したディスクは、ご使用にならないでください。	—
		無録音のディスクを使用していますか。	録音済みのディスクをご使用ください。	—
	ディスクが排出できない。 ディスクチェンジができない。	ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。変形や破損したディスクは、ご使用にならないでください。	—
		ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていますか。	ディスクカートリッジのラベルを整えてください。 排出できない場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	15
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚れはありませんか。 取付け角度は適正ですか。	他のディスクに入れ替えてみてください。キズのあるディスクは、ご使用にならないでください。	—
		取付けにガタはありませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—
		悪路を走行されていませんか。	悪路を走行中の使用は、できる限り避けてください。	11
		その他、録音に使用された機器の調子が悪い、録音ソース(CD、MDなど)の音質やトラブルなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	—

仕様について

本機の仕様は、次のようになっています。

CD部

周波数特性	20Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	98dB
S/N比	100dB(JIS-A)
チャンネルセパレーション	85dB
高調波歪み率	0.008%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

MD部

周波数特性	20Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	98dB
S/N比	100dB(IHF-A ネットワーク)
高調波歪み率	0.008%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

ラジオ部・FM

受信周波数	76.0～90.0MHz
実用感度	13dBf(新IHF)
周波数特性	30Hz～15kHz
ステレオセパレーション	38dB

ラジオ部・AM

受信周波数	522～1629kHz
実用感度	20 μ V(S/N 20dB)

共通部

周波数特性	20Hz～20kHz
S/N比	108dB(JIS-A)
調整周波数	プロモードOFF Bass 80Hz ± 12dB MID 630Hz ± 12dB TREBLE 10kHz ± 12dB チャンネルデバイダ クロスポイント周波数 63～200Hz, 1/3octステップ スロープ 6/12dB/oct プロモードON チャンネルデバイダ クロスポイント周波数 63～200Hz, 1/3octステップ スロープ 6/12/18/24dB/oct
ラウドネス	・ 100Hz : + 10dB ・ 10kHz : + 6dB
最大出力	50W × 4
適合負荷インピーダンス	AMPOUT 4Ω(各チャンネル)/ PREOUT 10kΩ(各チャンネル)
LINE OUT出力レベル	500mV/-20dB
電源電圧	DC13.2V(11～16V)、⊖アース専用
消費電流	1W × 4出力時 約3A、最大約12A
寸法	178mm(幅) × 100mm(高さ) × 165mm(奥行)
重量	本体約2.7kg
保存温度範囲	-40℃～+85℃
動作温度範囲	-20℃～+65℃

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

アフターサービスについて

1. この商品には保証書を添付しております。
保証書は販売店でお受けとりの際、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
3. 調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に本書の「困ったときは」(175ページ)を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪いときは、次により修理をお申しつけください。
 - ◆ 修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。
 - ◆ 保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
 - ※ 修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。
 - ◆ 保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますのでお求めの販売店にお持ち込みください。
4. 出張による修理、点検は行っておりません。
5. この商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

<商品に関するお問い合わせ先>アフターサービスについて

<商品のアフターサービスに関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ>
 ※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

【お客様相談窓口】

富士通テン（株）本社	0120-022210
北海道全域	(011) 821-2221
東北、関東、甲信越地区	(03) 3366-3833
中部、北陸地区	(052) 581-8726
近畿、中国、四国地区	(078) 682-2245
九州全域、沖縄	(092) 511-3252

受付時間：午前 10:00～12:00 午後 1:00～5:00
 (土・日・祝日などを除く)

<商品のご購入、組み合わせ等に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ>

富士通テン東日本（株）	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、 甲信越地区
北海道支社	〒003-0809 札幌市白石区菊水9条2丁目1番地	(011)821-2221	北海道全域
北関東支店	〒329-0201 栃木県小山市大字栗宮1851番地1	(0285)22-6410	栃木、埼玉、群馬、茨城
東北支店	〒983-0841 仙台市宮城野区原町2丁目3番48号 (イワイビル)	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部（株）	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	愛知、岐阜、三重
北陸支店	〒921-8005 金沢市間明町2丁目147 (セレッソワン101)	(076)292-1685	福井、石川、富山
静岡支店	〒424-0886 静岡市清水草薙2丁目23番23号 (セピアコート)	(0543)49-5666	静岡
富士通テン西日本（株）	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、滋賀、 奈良、和歌山
中国支店	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
四国支店	〒760-0078 高松市今里町1丁目28番13号	(087)863-7020	四国地区
九州支社	〒815-0032 福岡市南区塩原2丁目7番7号	(092)511-3210	福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、沖縄
鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町16番10号（スカイビル）	(099)250-4737	鹿児島、宮崎

MEMO

富士通テン株式会社

本社/〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1-2-28
TEL. (078) 671-5081 (代表)
0120-022210 (お客様相談窓口)

www.fujitsu-ten.co.jp